

# 太宰府・佐野地区遺跡群13

佐野土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書  
殿城戸遺跡第7次調査

2002

太宰府市教育委員会

【太宰府・佐野地区遺跡群 13】

殿城戸 7 次正誤表

頁	誤	正
17 (一番下行)	上面かなりの	上面はかなりの
33 (上から 11 行目)	無く	なく
44-5、45-35、46-10、52-5、56-最下行	打ち掻く	打ち欠く
58-2、59-12・16、60-26・27、68-2		
72-18		
45 (下から 8 行目)	立ち上がるり、	立ち上がる。
58 (下から 12 行目)	内湾しながらに伸び、	内湾しながら伸び、
69 図中	暗茶灰土 6	暗茶灰土 7
69 図中	暗茶灰土 7	暗茶灰土 6
図版 28-68	7SI185 茶灰色土	7SI180 茶灰色土

# 太宰府・佐野地区遺跡群13

佐野土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書  
殿城戸遺跡第7次調査

2002

太宰府市教育委員会



殿城戸7次調査区全景（北東より）



7SD100（方形区画溝）と7SB210（掘立柱建物）（北より）





7SD100南辺溝 遺物出土状況



同遺構出土土器

## 序

本書は、太宰府市の大字大佐野・向佐野地区で行われている佐野土地区画整理事業に伴う発掘調査のうち、平成12年度に実施いたしました殿城戸遺跡の第7次調査についてまとめたものです。主に弥生時代から古墳時代の集落跡が見つかっており、周辺の調査と合わせて考えますと当時の生活の様子が明らかになってきております。なかでも直線的に方形に区画された古墳時代の溝は太宰府市で初めて確認され、土地利用の在り方に貴重な資料を与える結果となりました。

発掘調査は記録的な酷暑が続く中で行われましたが、多くの作業員の皆さんや関係各位の協力のもと無事に終了することができました。厚く御礼申し上げます。

本報告が、学術研究ひいては文化財の保護、啓発活動の一助になれば幸いに存じます。

平成14年3月  
太宰府市教育委員会  
教育長 關 敏治

## 例言

- 1、本書は、太宰府市教育委員会が平成13年度に佐野土地区画整理事業に伴って実施した殿城戸遺跡第7次調査の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2、遺構の実測には国土調査法第Ⅱ座標系を利用した。したがって本書に示される方位は特に注記のない限りG.N.(座標北)を示し、本文中に記される遺構の角度及び距離等もこれを基準としたものである。
- 3、遺構実測及び写真撮影は、調査担当者の他、井上信正・坂本雄介・島純子・中村陽子・長直信(福岡大学学生)が行った。また、全体図の作成にあたっては(株)アジア航測による航空写真測量(1/50)を用いた作図を行っている。調査区全景の空中写真は(有)空中写真企画が行った。
- 4、遺物の実測は担当者のほか長直信・松隈里恵子・森部順子・境一美が行った。
- 5、図版の浄書は担当者のほか坂本雄介・深江暁子・松本理栄子・酒井三保子が行った。
- 6、遺物の写真撮影はフォトハウスおか(代表岡紀久夫)が行った。
- 7、出土した金属製品の保存処理は、下川可容子、安芸朋江が担当した。
- 8、本書に掲載される遺構番号は、以下の要領で理解される。なお遺構の性格を表記する記号については、SB掘立柱建物跡、SA欄列跡、SI住居跡、SK土坑、ST墳墓、SD溝、SXその他の遺構などであり詳細は『佐野地区遺跡群I』に記載している。



- 9、本書の執筆及び編集については山村信榮の助言を得て佐藤道文が行った。
- 10、出土遺物および図面、写真等の記録は太宰府市教育委員会が保管している。
- 11、本書で用いる分類は以下の文献に記載されている。

### 弥生後期土器

太宰府市教育委員会『大宰府・佐野地区遺跡群XI』(2001) p80  
土師器・須恵器

太宰府市教育委員会『大宰府条坊跡Ⅱ』(1983)

太宰府市教育委員会『宮ノ本遺跡I-竈跡篇-』(1992)

### 陶磁器

太宰府市教育委員会『大宰府条坊跡XV』(2000)

### 12. 参考文献

柳田康雄「三・四世紀の土器と鏡」『森貞次郎博士古稀記念論集』(1982)

久住猛雄「北部九州における庄内式併行期の土器様相」『庄内式土器研究XIX』(1999)  
『古墳時代の研究6』(1991)

### 13、本書に用いる古式土師器の時代区分

布留式古相・・・柳田編年のⅡa、b期 久住編年のⅡA～ⅡB期  
布留式中相・・・柳田編年のⅡc期 久住編年のⅡC期に該当する。

## 目次

### 第1章

1	はじめに	1
2	調査の概要	11
3	層位など	11

### 第2章 遺構

1	掘立柱建物跡	13
2	住居跡	17
3	井戸	23
4	溝状遺構	25
5	方形区画溝	29
6	土坑	29
7	焼土坑	37
8	墳墓	39
9	その他の遺構	39

### 第3章 遺物

1	掘立柱建物出土遺物	41
2	住居跡出土遺物	42
3	井戸出土遺物	49
4	溝状遺構出土遺物	51
5	方形区画溝出土遺物	51
6	土坑出土遺物	56
7	焼土坑出土遺物	62
8	墳墓出土遺物	63
9	その他の遺構出土遺物	63
10	表土出土遺物	67
11	褐色土出土遺物	67
12	暗灰茶色土出土遺物	68

### 第4章

1	殿城戸遺跡7次調査の小结	72
2	方形区画溝7SD100について	74

## 第1章

### 1. はじめに

殿城戸遺跡第7次調査区は、天拝山から北に向かって派生する丘陵裾部、東西方向の谷状平地を挟み宮ノ本丘陵に對置する位置にあり、標高は約40mである。本調査区周辺は殿城戸遺跡、脇道遺跡として過去数次にわたる調査が行われている。古墳時代初頭の集落跡が確認されたものとして殿城戸遺跡2・3次調査、脇道遺跡3次調査、そして、本調査区の北側に広がる沖積平野に位置する尾崎遺跡でも同時期と考えられる集落跡が見つかっている。調査区北側の丘陵地には宮ノ本古墳群が、東側には天拝山から派生する低丘陵先端に古剣塚古墳群が築造されており、ともに古墳時代初頭の所産とされる。今回の調査で確認された同時期の集落跡は、現地形上最も西南端部に位置している。

殿城戸遺跡第7次調査は、太宰府市が昭和63年度からおこなっている佐野地区の区画整理事業に伴って行われたものである。調査地点は福岡県太宰府市大字大佐野183番地、184番地の1である。字は「殿城戸」（「とのきど」または「とのきど」と称され、地元ではこの水田地について「ヨコマクラ」という名称が使用されている。現地での調査は平成12年4月3日から10月9日まで実施し、9月30日には近隣住民に対して現地説明会を行った。

調査組織は以下の通りである。

#### （平成12/2000年度）調査

総括	教育長	長野治己（～12月24日） 關 敏治（12月25日～）
庶務	教育部長	白石純一
	文化財課長	津田秀司（～3月31日） 木村和美（4月1日～）
調査	文化財保護係長	和田敏信
	文化財調査係長	山本信夫（～10月23日） 神原 稔（11月1日～）
	事務主査	藤井泰人
	主任主事	野寄美希
	嘱 託	鈴木弘江
	技術主査	城戸康利
	主任技師	山村信榮（調査担当） 中島恒次郎 井上信正 高橋 学 宮崎亮一
	技師（嘱託）	下川可容子 森田レイ子 佐藤道文（調査担当）



Fig1 調査区周辺古地形図 (S=1/15000)

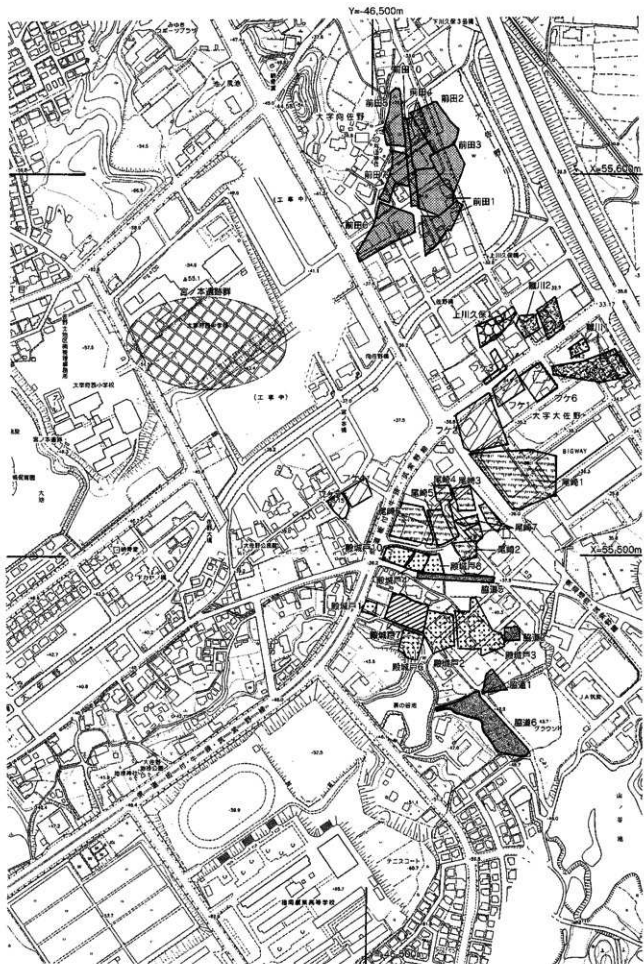


Fig2 調査地周辺の既調査地 (S=1/5000)

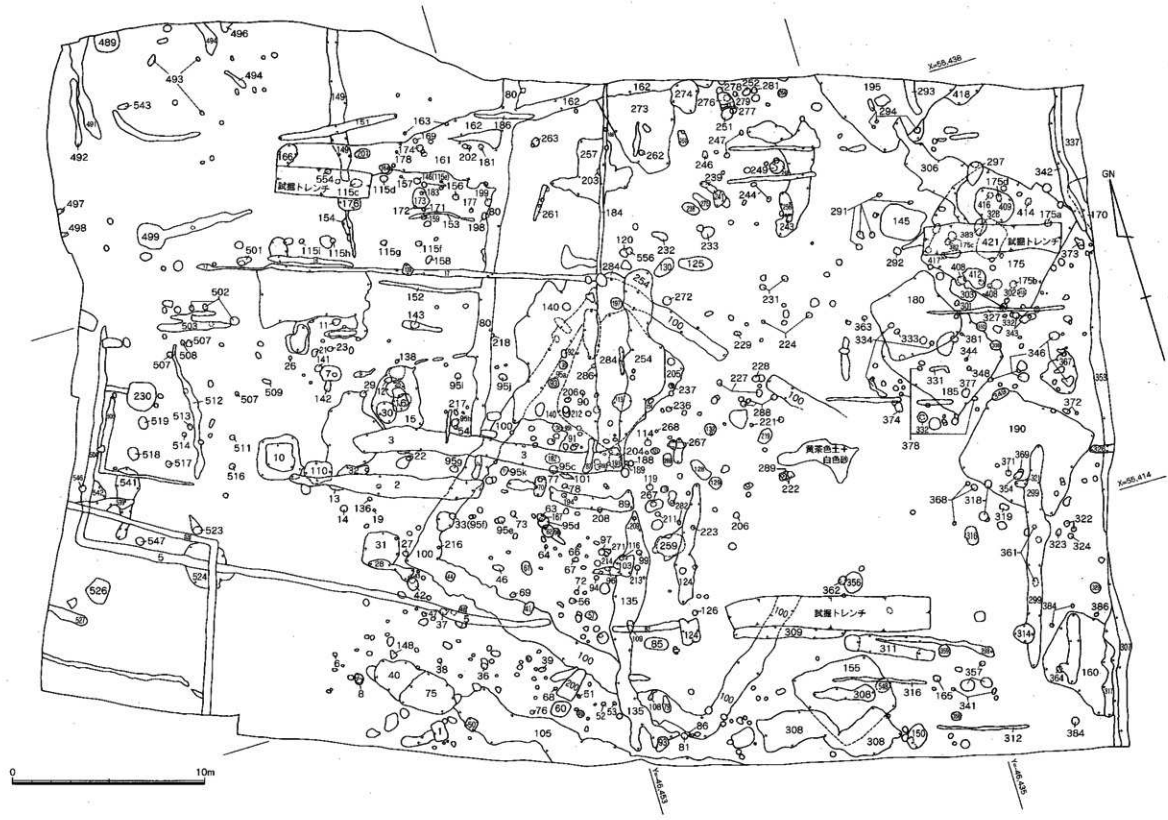


Fig3 遺構略測図1面目 (S=1/200)





Fig.4 遺構全体図1面目 (S=1/300)



Fig5 遺構略測図2面目 (S=1/200)

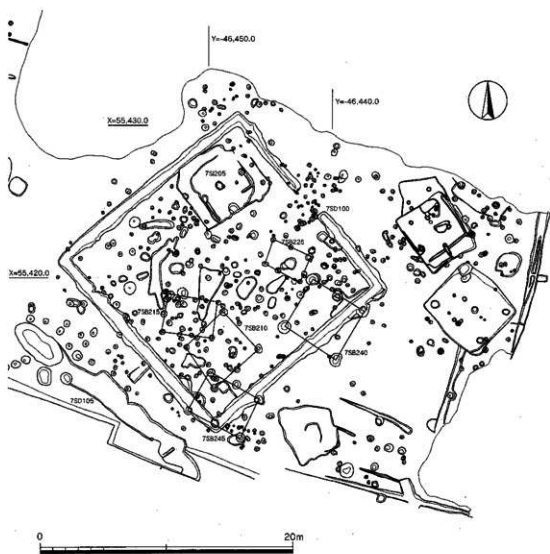


Fig6 遺構全体図2面目 (S=1/300)

(平成13/2001年度) 整理・報告

総括	教育長	關 敏治
庶務	教育部長	白石純一
	文化財課長	木村和美
	文化財保護係長	和田敏信
	文化財調査係長	神原 稔
	事務主査	藤井泰人
	主任主事	大石敬介
	主任主査	城戸康利
	主任技師	山村信榮 (整理担当)
		中島恒次郎
		井上信正
		高橋 学
		宮崎亮一
技師 (嘱託)		下川可容子 (保存処理担当)
		森田レイ子
		佐藤道文 (整理担当)

## 2. 調査の概要

### 検出遺構

今回の調査では、中世(南北朝期以降)の掘立柱建物跡、井戸跡、溝状遺構、平安時代の墳墓、古墳時代初頭の方形区画溝跡、住居跡、土坑、古墳時代中期の住居跡、弥生時代から古墳時代初頭の掘立柱建物跡などが主な遺構として確認された。特に古墳時代の方形区画溝、住居、土坑はその配置される状況から有機的関係が窺える。

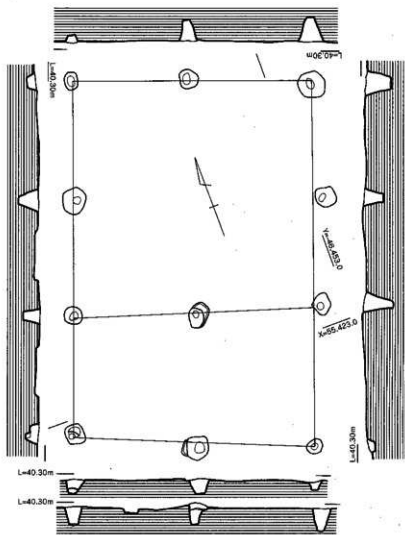


Fig7 土層分布図 (S=1/800)

## 3. 層位など

調査前状況が水田であり、表層には近代から現代にわたっての耕作土層がみられる。これら水田層を除去すると褐色土、暗灰茶色土の遺物包含層が確認された。この遺物包含層は主に調査区の中央部分に堆積している。褐色土(第1面)は出土遺物から13世紀後半までに堆積したものと判断され、中世の掘立柱建物跡、溝群はこの遺物包含層を掘り込む形で検出されることから、それ以後に構築されたと推定できる。暗灰茶色土からの出土遺物は6世紀中頃から後半のものが多いが、その中に8世紀中頃から後半の須恵器が少量だが看取され、このことから判断すると6世紀後半から8世紀中頃から後半にかけて堆積したものと考えられる。これら遺物包含層を除去すると、橙色を呈す粘質土、花崗岩風化土を主体とした層が確認され、この層の上面で弥生中期後半から古墳時代初頭の遺構が検出された(第2面)。

7SB095



7SB115

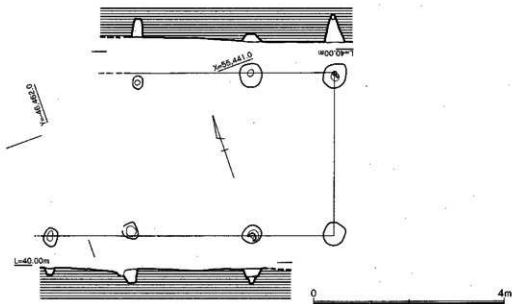


Fig8 7SB095 · 115実測図 (S=1/80)

## 第2章 遺構

### 1 掘立柱建物跡

7SB095 (Fig8、写真図版3-6) 調査区の中央部分で検出され、遺物包含層の褐色土層から掘り込まれている。梁行3間 (7.4m)、桁行2間 (5.0m) の掘立柱建物であり、ほぼ中央部分に間仕切りと思われる柱穴が存在する。柱穴径は約0.15~0.4m、深さは約0.15~0.4mを測る。柱掘り方は全体的に小掘りである。土層観察から径約0.1mの柱が推測される。時期は褐色土層との切り合い関係から13世紀後半以降のものと考えられる。

7SB115 (Fig8) 調査区の北西部分で検出した。遺物包含層の暗灰茶色土を掘り込んで構築される。梁行3間+ $\alpha$  (6.0+m)、桁行1間 (3.5m) の掘立柱建物である。一部柱穴が試掘時のトレンチによる削平で確認できず全体規模は不明である。柱穴径は0.2m~0.5mで、深さは0.2m~0.6mを測る。時期は不明であるが、埋土が表層の耕作土壌の色に近い灰色土を主体とすることから近世以降の可能性が考えられる。

7SB210 (Fig9、写真図版4-7) 遺物包含層の褐色土層除去後に、調査区南側で検出した。方形区画溝7SD100の内部に構築され、陸橋部から中心軸をずらして南東隅部分に築かれている。梁行2間、桁行

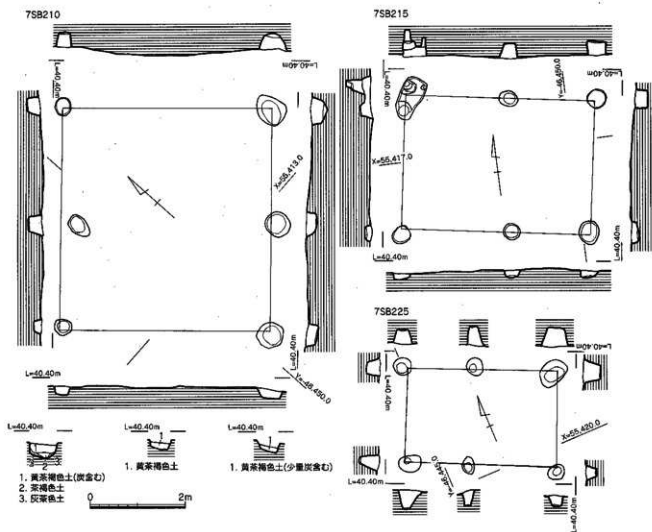


Fig9 7SB210・215・225実測図 (S=1/80)

1間で各柱間は南北2.4m×2.1m、東西4.4mで、主軸は東に48°56′振れる。柱穴径は0.35～0.6mを測り、土層観察から柱痕を抜き取った痕跡が確認される。主軸の方向から7SD100の付属施設と判断している。遺物は古式土師器の坏が出土している。

7SB215 (Fig9) 遺物包含層である褐色土層除去後に確認されたもので、調査区の南側部分で検出した。梁行2間 (4m)、桁行1間 (3.1m) を呈し、柱穴径0.3m～0.4m、深さ0.1m～0.5mを測る。遺物

7SB240

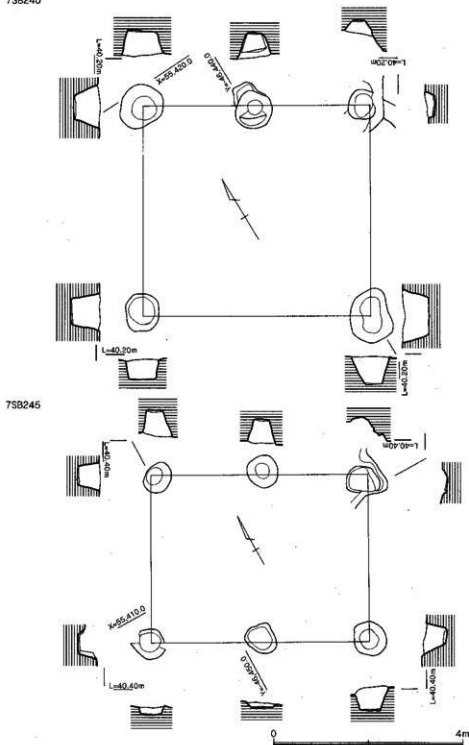


Fig10 7SB240・245実測図 (S=1/80)

7SI155

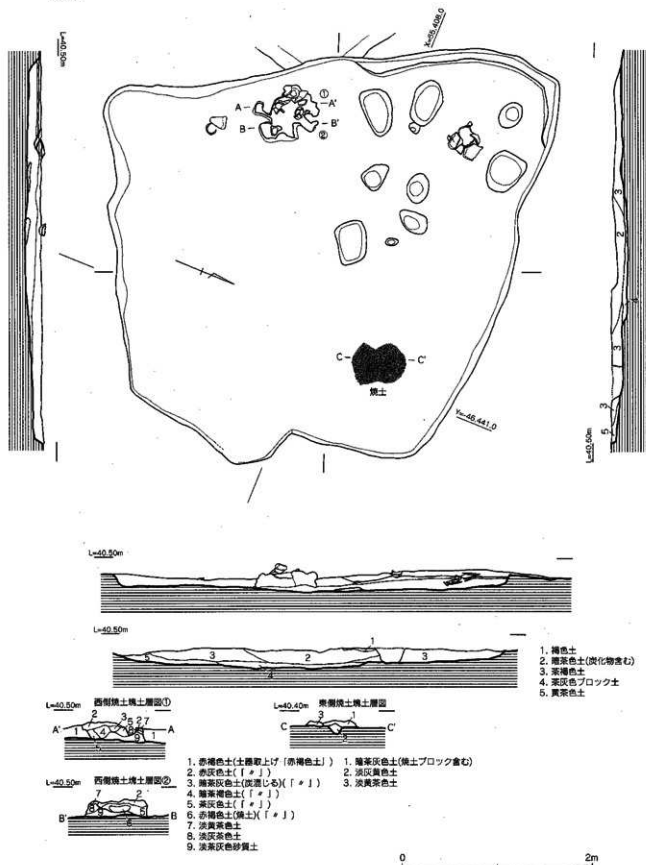


Fig11 7SI155実測図・土層図 (S=1/40)



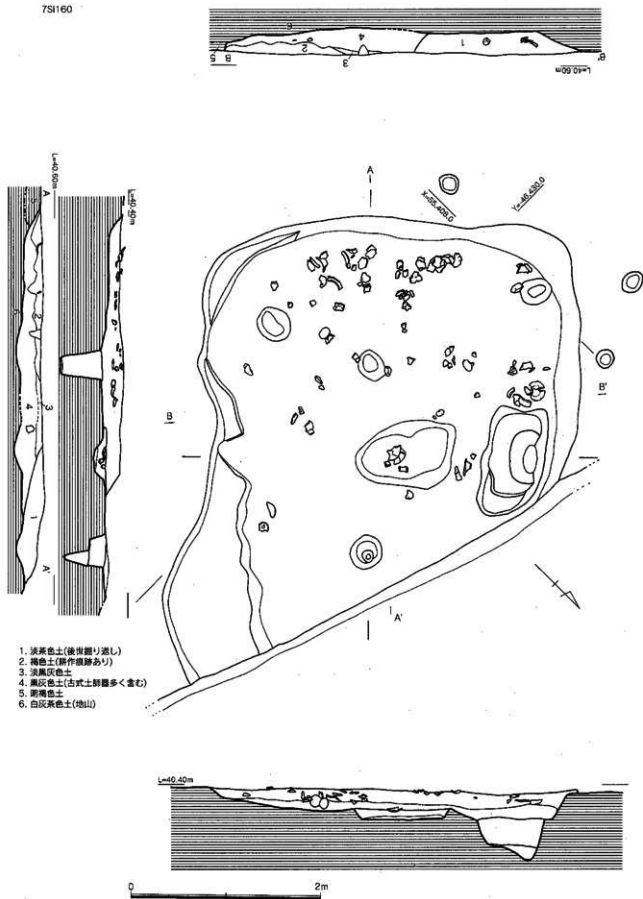


Fig12 7SI160実測図・土層図 (S=1/40)

の出土が無いため時期は不明であるが、弥生中期末～後期初頭に比定される7SI235より切り合い上新しいことから、弥生後期の範疇と考えられる。

7SB225 (Fig9) 遺物包含層である褐色土層除去後に確認され、調査区の中央部分で検出した。梁行2間 (3.3m)、桁行1間 (2.1m) を呈し、柱穴径0.3m～0.6m、深さ0.2m～0.4mを測る。やや小規模な建物である。主軸の方向は7SB240、7SB245とは同じで、同時期の可能性が高い。

7SB240 (Fig10) 遺物包含層除去後に確認されたもので、梁行2間 (4.8m)、桁行1間 (4.4m) を呈す。しっかりとした掘り方を有し、柱穴径0.5m～1.1m、深さ0.2m～0.5mを測る。土層観察から柱痕跡がみられ、0.3mの柱材が使用されていたことが窺える。時期は、切り合い上7SD100より古く、遺物の中に布留式系、山陰系の土器を含むことから布留式古相段階と考えられる。

7SB245 (Fig10) 遺物包含層除去後に検出。梁行2間 (4.6m)、桁行1間 (3.5m) を呈し、柱穴径0.7m、深さ0.1m～0.6mを測る。7SB240同様しっかりとした掘り方を有し、主軸もほぼ同じ方向に向いていること、また布留式系土器の破片が認められることから布留式古相段階のものと考えられる。

## 2 住居跡

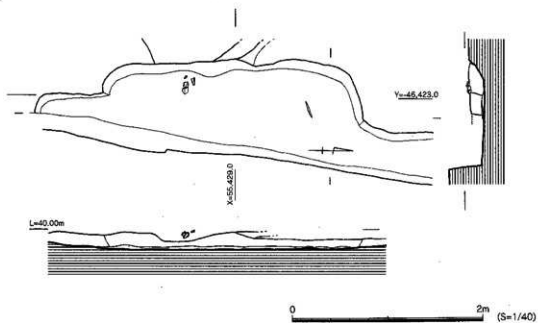
7SI155 (Fig11、写真図版4・8・9) 調査区の南東隅部分で検出された約5m×約3mを測る、不整形な方形プランを呈すものである。北西隅にピット群があるが、本遺構に帰属するものか不明である。西側、北東部分には炭化物を含む焼土塊が確認される。西側の焼土塊から出土した遺物は赤褐色土で取り上げている。西側の焼土塊は当初カマドを想定していたが、土層の堆積状況、平面観察から炉の可能性が高いと思われる。この焼土塊は白色粘土ブロック・焼土が散乱した状態で、所々に石が据えられていた。この石は支脚として機能していたと考えられるが、被熱痕が確認されないことから明確ではない。また、南側には丸底壺が置かれており、住居使用時の痕跡が窺える。住居掘方の埋土は大きく暗茶色土、茶褐色土、茶灰色ブロック土の3層に分かれ、遺物の多くは茶褐色土より出土している。また、焼土塊検出状況から貼床 (茶灰色ブロック土) が行われていた可能性が高く、調査段階では気付かず掘り下げている。茶褐色土から須恵器破片出土していること、甕や甔の形態などから5世紀後半頃のものと考えられる。

7SI160 (Fig12、写真図版5) 調査区の南東隅部分で確認され、規模は長軸は4m+a、短軸3.8mの平面長方形を呈す。中央部分に炉跡がみられ、北東部にはいわゆる「屋内貯蔵穴」が存在する。現状から主柱穴2本で構成されていると考えられる。土層の堆積状況は黒灰色土単一層で、一部には後世の掘り返し、耕作痕跡がみられる。遺物は、布留式系の甕、高坏片、ほぼ完形の布留式系の長頸壺などが出土している。これらの土器は、住居が埋没していく段階で竈地を土器廃棄の場として利用していたことによるものと考えられる。時期は布留式中相段階と判断され、同時期に機能していた7SD100と何らかの関係があると思われる。

7SI170 (Fig13、写真図版6-12) 調査区北東隅部分で確認され、7SD337の下位から検出された。調査区外へと延びるため全体規模は不明だが、南北2.55m、東西0.9m+aで、方形プランを有すものと考えられる。当初、竪穴住居と認識せずに掘り下げたため土層の記録は残していない。須恵器坏蓋が床面より浮いた状態で出土しており埋没過程で廃棄された可能性が高い。刀子は床面直上から出土しており住居が機能していた時期に近いと判断される。以上のことから、5世紀後半頃には埋没していたと考えられる。

7SI175 (Fig13、写真図版6-13) 本調査区内で最も大きく、約6.2m×約7mを測り、北東部分で確認された。不整形な方形プランを有し、西側で一部やや張り出している。上面かなりの削平を受けており、

7SI170



7SI175

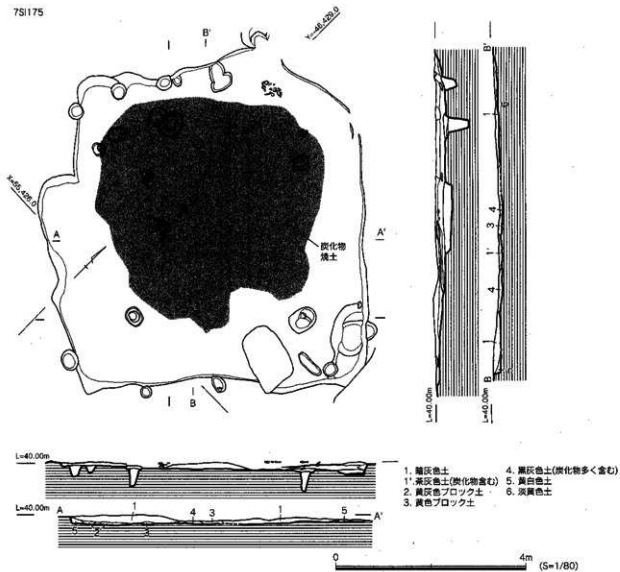
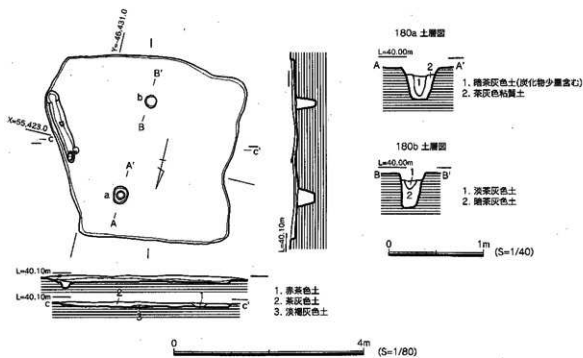


Fig13 7SI170 (S=1/40)・175実測図・土層図 (S=1/80)

7SI180



7SI185

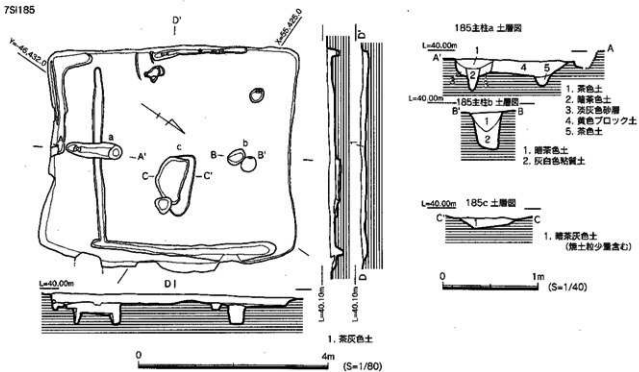


Fig14 7SI180・185実測図・土層図 (S=1/80、各付帯施設土層図はS=1/40)

深さ約0.05m～0.15mである。主柱穴4本で構成され、その周囲には約1.2m～2mの空地が見られる。ベット状遺構等の付帯施設があったと思われる。床面からは約2.2m×約1.8mの土坑（7SK421）が検出され、炭化物、焼土ブロックなどを含むことから炉の可能性がある。

各土層の出土遺物を見ると、5世紀以降のタイプの土器と弥生後期の土器のものが混在しており、埋没過程でかなりの時間幅があったと思われる。不整形な平面形態と合わせて考えると、異なる時期の遺構が切り合っていたと考えられる。

7SI180 (Fig14, 写真図版7-14) 調査区の東側で検出され、約3.9m×約3.5mを測り、平面不整形な方形プランを呈す。主柱穴2本で構成される。埋土はほぼ茶灰色土層の単一層で、この茶灰色土上面より焼成痕跡が確認されたが本遺構に伴うものかは不明である。内部施設として東側に短い壁溝が存在し、この壁溝上面から土師器の甕底部が出土しており、5世紀以降に埋没したものと考えられる。

7SI185 (Fig14, 写真図版7-15) 7SI180に切られる形で検出された。約5m×約4.6mの平面方形プランを有す。埋土は茶灰色土単一層である。床面からは壁溝、間仕切り溝、炉跡等の付属施設が確認される。炉は浅く窪みのような状態で、土層、床面の状況から使用頻度は少ないと思われる。間仕切り溝はL字状を呈す。東側では約0.6m～1.2mの空地があり、その空間を2分割するように短い溝が掘られている。住居内を内区と外区に区分し、外区をまた溝で仕切って利用していたと考えられる。出土遺物には布留式系竈などが見られることから7SD100と同時期の古墳時代初頭の所産と判断される。

7SI190

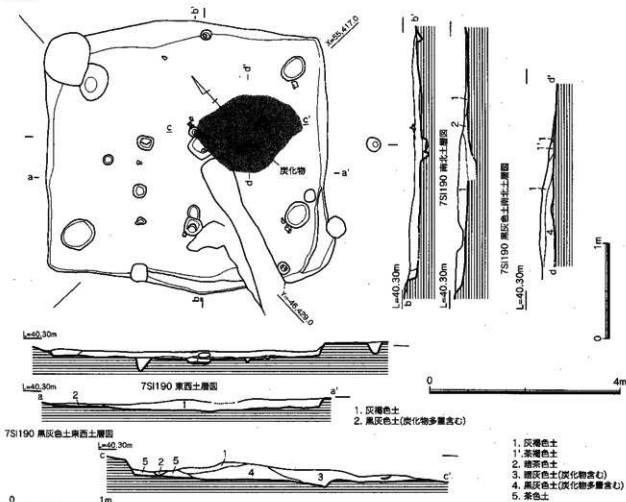
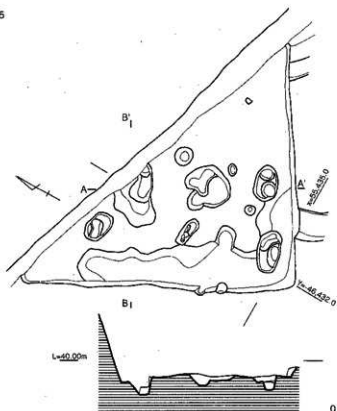


Fig15 7SI190実測図・土層図 (S=1/80)・黒灰色土土層図 (S=1/40)

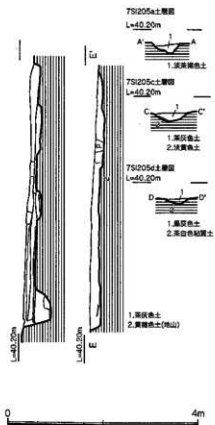
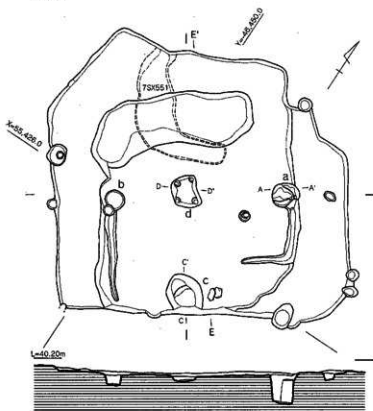
7S1195



1. 黑灰色土
2. 灰褐色土
3. 灰茶褐色土

0 4m

7S205



7S205a土層圖

L=40.00m

1. 灰茶褐色土

7S205c土層圖

L=40.00m

1. 黑灰色土

2. 灰黃色土

7S205d土層圖

L=40.00m

1. 黑灰色土

2. 黑白色粘壤土

1. 黑灰色土

2. 黃褐色土(地山)

0 4m

Fig16 7S1195・205実測図・土層図 (S=1/80)

7SI235

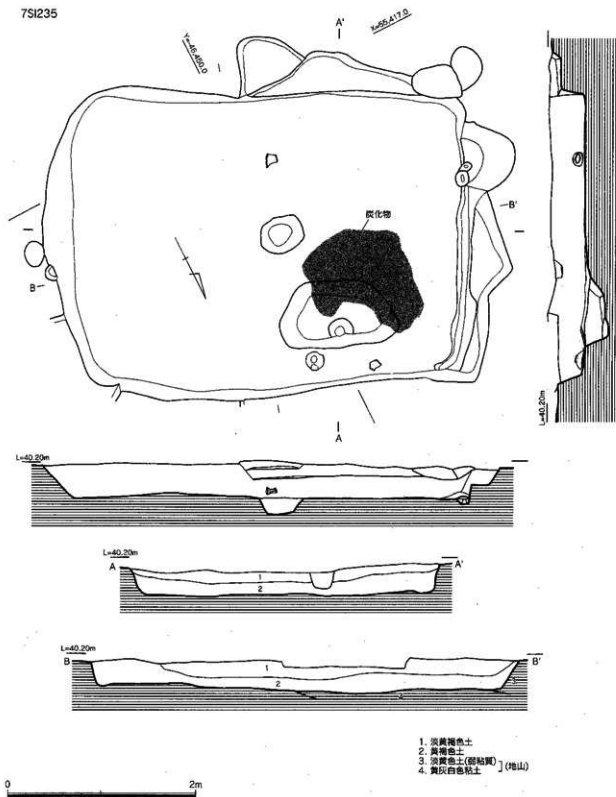


Fig17 7SI235遺構圖・土層圖 (S=1/40)

7SI190 (Fig15、写真図版8-16) 調査区東側中央で検出され、約5.5m×約5.5mのほぼ正方形プランを有す。貼床は行われておらず、付属施設としては、中央部分に円形の浅い窪みがあり、炭化物を含むことから炉と考えられる。主柱穴と判断されるピットは確認できなかった。

また、炭化物が集中する箇所があり、その部分には棒状のもので突いた痕跡が認められ、床面は被熱で変色している。土層観察から炭化物が確認できるのは一部のみで他の部分では見られない。このことから焼失家屋とは考え難く、住居が廃絶された後の場の利用として注目される。

出土遺物には小型特殊器台、小型丸底壺などが見られ、7SI185同様、7SD100と同時期の古墳時代初頭の所産と考えられる。

7SI195 (Fig16、写真図版8-17) 調査区の北側、7SI175に隣接した状況で検出され、調査区外へと続く。現状約6m×約5m+aの方形プランを有す。主柱穴と思われるピットが2基確認でき、恐らく4本柱で構築されたと考えられる。南壁沿いに幅約0.8m程の浅い溝のようなものが見られるが住居に付属するものかは不明である。黒灰色土より手持ちヘラケズリを施された土師器坏、壺などが出土しており6世紀代には埋没していたと考えられる。

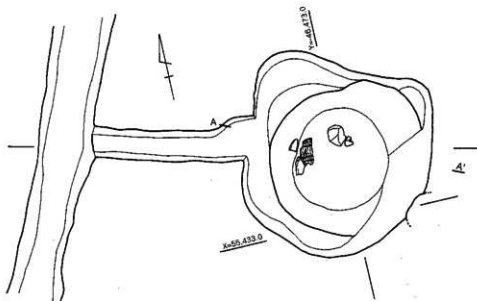
7SI205 (Fig16、写真図版9-18) 褐色土、暗灰茶色土などの包含層を除去後、調査区のほぼ中央付近で検出された。規模は約6.1m×約5.5mを測り、一部削平を受けているがほぼ方形プランを呈す。長軸方向に2本の主柱穴を有し、その中間部分に浅いすり鉢状の掘り方をもつ土坑があり、内部四隅には杭痕のようなものが確認された。埋土に炭化物を含むことから炉と考えられる。杭痕の存在から囲炉裏の様な縁があったことも想定される。床面は地山をそのまま利用している。北側と東側、西側にベッコ状遺構と思われる高まりが存在するが、積み土は行われておらず地山を削りだして構築している。また、ベッコ状遺構に沿って短い溝が掘られているが、内部に杭や板などの痕跡は確認されなかった。中央北側には幅の広い溝状の窪み(7SX551)が住居床面から検出された。この部分から出土する遺物は弥生後期ものが出土し、住居に先行する遺構の可能性はある。

7SI235 (Fig17、写真図版9-19) 褐色土、暗灰茶色土などの包含層を除去後、調査区中央で検出された。長軸約5m、短軸約3.2mの長方形プランを有する。中央部分に主柱穴と思われるピットが確認される。ピット北西側には1.2m×0.6mの床面から掘り込まれた土坑がある。プラン中央やや北寄りに口縁部から胴部を半分に分かれた壺が底を上にした状態で出土した。一部炭化物が集中する部分がみられ、この厚さ2~3cmの炭化物は住居床面から連続して土坑床面にまで達している。この付近の土壌は褐色化していたが、被熱で変化したか否かは判別できなかった。時期は出土した土器が須玖Ⅱ式に相当することから判断すると弥生中期末から後期初頭の段階に埋没したものと考えられる。

### 3 井戸

7SE010 (Fig18、写真図版10) 調査区西側で検出された。プランは北辺部がやや膨らみ不整形な方形を呈し、長軸約2.4m、短軸約2.2m、深さ約1.35mを測る。土層堆積状況から水溜め機能があったと考えられる。埋土は大きく砂質土層→ブロック土層→有機質土層→粘質土層→砂質土層の5層に分かれる。12層から6層は自然堆積層であり、5層と6層の境目の不整合面は掘り返しによるものと考えられる。平面プランの北辺の乱れはこの状況に対応する現象とも考えられる。また、15層と12~14層の部分の不整合は、15層が裏込め土壌と考えられることから井戸枠は後時的に抜き取られた可能性がある。埋土中より出土する木片にはいずれも加工痕は認められないが土層の状況から内部に施設があったと推測できる。遺物の多くは有機質土層(8~12層)から出土しており、土師器小皿b、瓦質土器鉢鉢、漆器破片などが見られる。小皿bが出土していることから、13世紀後半から14世紀前半の段階に7SE010の埋没





7SE010

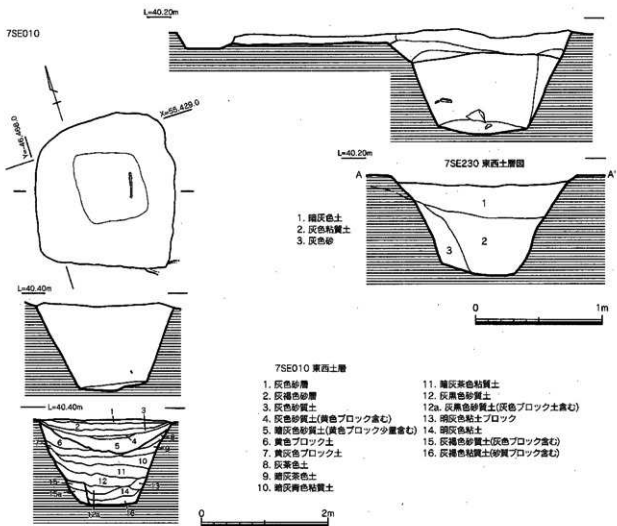


Fig18 7SE010 (S=1/60)・230 (S=1/30) 実測図・土層図

が始まったと考えられる。

7SE230 (Fig18、写真図版11-22) 調査区の西側で検出され、約1.5m×約1.5mの隅丸方形を有し、深さ約0.8mを測る。埋土は砂質土層、粘質土層、砂層に分けられる。遺物は粘質土層から下駄が出土している。7SE230は7SD005と連結しており、その構造から、7SD005から流れる水を7SE230に溜めていたと考えられ、7SE230は農業用水用の溜め井の機能を果たしていたと思われる。

灰色粘質土から上田分類の龍泉窯系青磁碗D類が出土しており15世紀代には埋没していたと判断される。

#### 4 溝状遺構

7SD002 (Fig4) 調査区中央で確認され、長さ約10m、幅約0.5～1.1m、深さ約5～10cmを測る。埋土はほぼ灰色土単一層である。近世、近代の遺物を含む7SD003と埋土が類似することから近世以降の所産と考えられる。

7SD003 (Fig4) 調査区中央、7SD002に平行して検出される。長さ約14.4m、幅約1.2～1.5m、深さ約5～10cmを測る。埋土は7SD002同様、灰色土単一層である。肥前系磁器の端反碗が出土しており近世末以降の所産と考えられる。

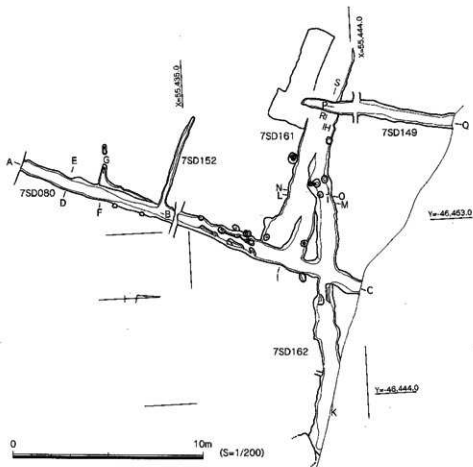
7SD005 (Fig4、20) 調査区中央から西側にかけて検出され、L字状を呈す。深さは約5cm～20cm程しか無く、上面は削平を受けている。埋土は大きく灰色砂、黒灰色砂質土、シルト質土に分けられ、堆積状況から水の流れがあったことが窺える。土地の区割りを目的としたものと思われるが、調査区の西側で7SE230と連結していることから排水等の機能も有していたと考えられる。出土遺物中に土師質の播り鉢が見られることから中世の段階のものと思われる。

7SD080 (Fig19、写真図版11-23) 調査区はほぼ中央を南から北へと縦断する溝である。途中7SD161、162と合流する。幅約0.7m、深さ約0.1～0.4mを測る。埋土は、褐色土、暗灰色土、淡灰色土からなる自然堆積層であるが、一部5層から9層にかけて不整合な堆積を示す。溝底面が所々バウンドしており、また、抉れたような痕跡が確認できることから水流があったと考えられる。南から北に向かって床面レベルは低くなっていることから水流の方向も南から北へと流れていたと推測される。16世紀代に比定される7SD161、162と類似した埋土を呈すことから同時期と考えられる。

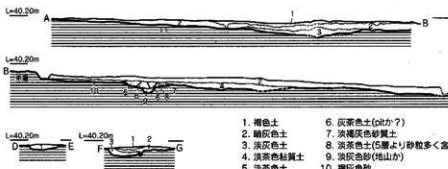
7SD105 (Fig21) 7SD100南側で確認され、隣接する6次調査区へと続いていく。幅約2m、深さ約0.1～0.4mを測る。埋土は南から北への流れ込みの状況を示し、北側では立ち上がり不明瞭となる。水流の痕跡は無く、土地区画的な機能を有していたと考えられる。7SK045、075との関係から古墳時代初頭以前には埋没している。

7SD149 (Fig19) 調査区北側の7SD161の下位で検出される幅約0.5～0.7m、深さ約0.1mの溝である。7SD161との切り合い関係から16世紀代には埋没していたと考えられる。

7SD152 (Fig19) 7SD080から分岐するような状況で検出された幅約0.2m、深さ約0.15mの溝である。7SD161・162 (Fig19、写真図版12) 調査区の北西部で確認した。検出状況より7SD162は7SD161から分岐したものであり、また、7SD080とも平面での土層観察上差異が認められないことからこれらの溝群は一連のものと考えられる。7SD162の溝底面には7SD080と同じような水流の痕跡を確認できる。7SD161は他の溝に比べ深さが浅く、幅も広い。埋土や溝底面から水流の痕跡なども見られない。これらの溝群は水田耕作に伴う水利施設の可能性が高く、7SD080、162は取水、排水機能を有し、7SD161は水流の速度、温度を調節するための一種の水溜場のようなものとも考えられる。7SD162暗灰茶色土中より白磁皿(森田E群)が出土しており、16世紀代には埋没していたと推測される。



7SD080 土層図



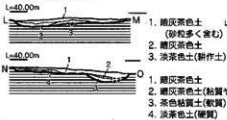
7SD161 土層図



7SD162 土層図



7SD161, 162合流点 土層図



7SD149 土層図

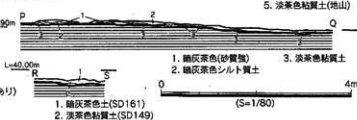


Fig19 7SD080・149・152・161・162実測図 (S=1/200)・土層図 (S=1/80)

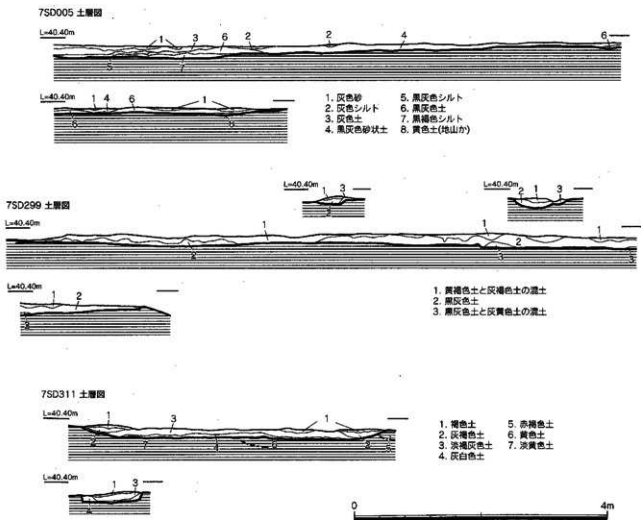


Fig20 7SD005・299・311土層図 (S=1/60)

7SD299 (Fig4, 20) 調査区東側で検出した南北溝で、長さ約12.4m、幅約1~1.2m、深さ0.1~0.2mを測る。埋土は3層からなり、最上層の黄褐色土には耕作痕が確認される。水の流れを示す痕跡は観察されなかった。褐色土より土師器小皿bが出土しており13世紀後半には埋没していたと考えられる。

7SD309 (Fig4, 20) 調査区南側で検出された長さ約6m、幅約0.8+aを測る東西溝である。埋土の状況は7SD311と酷似しており、配置状況からも同一遺構の可能性が高い。出土遺物は微量だが、中に須恵器蓋破片が含まれる。

7SD311 (Fig4, 20) 長さ約5m、幅約1m、深さ約0.1~0.2mを測る東西溝で、調査区の南側で検出された。溝の両側に有機質土壌が認められ、浅く自然堆積の様相を示している。別遺構等の可能性もあるが、上面がかなりの削平を受けていることから不明である。土層からは水流の痕跡は確認できなかった。

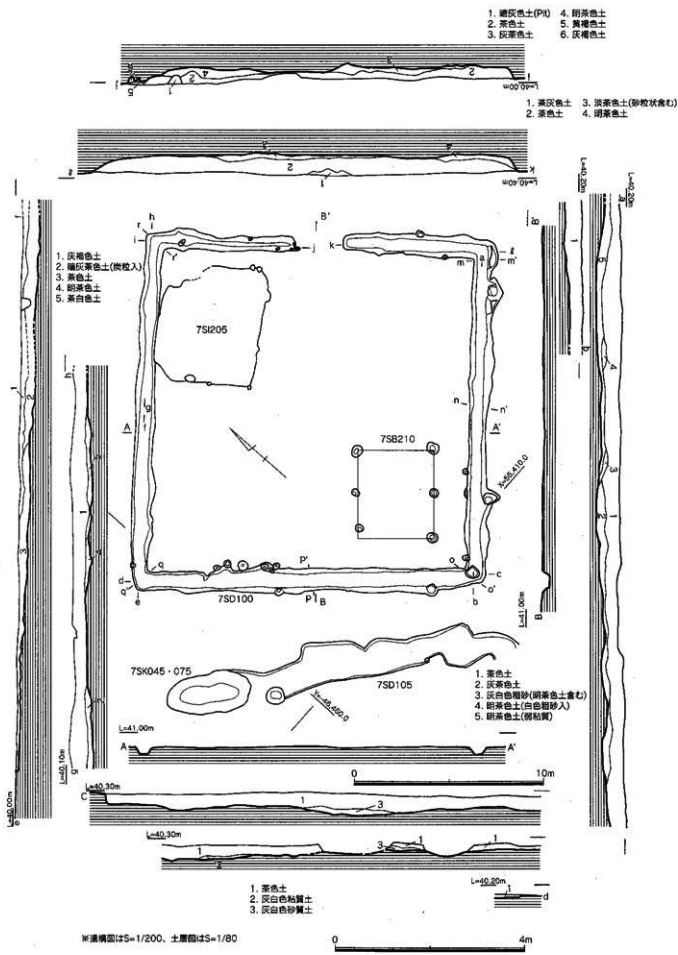


Fig21 7SD100・105実測図 (S=1/200) 土層図 (S=1/80)

た。灰白色土より土師器坏dが出土しており8世紀後半頃に構築された可能性が高い。

## 5 方形区画溝

7SD100 (Fig21~23, 写真図版13~15) 調査区のほぼ中央に位置し、調査初期の段階で一部は認識されていたが、古代、中世の遺構面の暗灰茶色土、褐色土を除去後に検出した結果、平面方形を呈す溝状遺構であることが判明した。1辺の長さは南北18m、東西18.5mと近似値を示し規格性が強く、溝幅は1~1.5m、深さは0.5~0.6mを測り、断面U字形ないし逆台形を呈している。検出面から溝床面までの深さは南から北へと低くなっている。南辺溝は他の部分より深さが浅く、丘陵地という地形の制約を受けたと思われる。北辺のほぼ中央部に出入口と考えられる地山を掘り残したままの陸橋部が存在し、西溝の先端には一部細い溝が突出しており、内部には杭跡のような小ピットが確認された。何らかの出入に係わる施設が想定されるが対となるものが認められないため不明である。溝周辺には欄列、塀など周囲との隔絶性を示す遺構は検出されなかった。区画溝内部の南東隅には、主軸をほぼ同じにとる2間×1間の掘立柱建物跡(7SB210)が1棟確認されている。溝埋土は大きく茶色土、明茶色土の2層の自然堆積層からなり、掘り返しなどの不整合面は認められない。土器の多くは上層の茶色土層から出土している。このことは、土器の廃棄は区画溝が埋没する過程で行われたことを示している。傾向として東辺溝からは高坏、小型丸底壺等の精製器種、西辺溝からは甕等の雑器類が主として出土している。南辺溝部分では甕2個体、大型二重口縁壺1個体、高坏1個体がまとも出土している。甕2個体は布留系のものではほぼ完形に近く、口縁部を斜上方に向け横方向に寝かせたような状態で、その上には大型の二重口縁壺が半壊されたように横向きに潰れていた。この付近の埋土には炭化物が多く含まれており、床面に近い部分は炭が堆積している状況であった。出土した土器にも熱を受けた痕跡がみられることから、火を使用した何らかの行為が行われたものと考えられる。この出土状況からこれら土器群の一括性が指摘される。

埋土(茶色土層)から出土する土器の器種には、甕、高坏、坏、小型丸底壺がみられ、特に高坏、坏、小型丸底壺に関しては胎土、焼成ともに良好で、ミガキ調整、暗文が施されているものも存在し、丁寧な作りである。時期は布留式中相段階と考えられる。土器の廃棄についてはこの溝自体は後述の7SK045や7SK075、7SK403、7SK404の様な一括多量投棄の場とは量的なまとまりを持たない点で異なっている。

## 6 土坑

7SK001 (Fig25) 7SK045・075の南側で検出。長辺約1.2m、短辺約0.7m、深さ約0.3mを測り、平面形は整った長方形を呈す。壁は直線的に立ち上がり、床面もフラットである。埋土は8層からなり、南からの流れ込み堆積の状況を示す。遺物は下位の暗茶色粘土層より土師器の小皿(糸切り)が出土しており12世紀中頃以降の所産か。

7SK007 (Fig25) 調査区の中央、西寄り部分で検出。長辺約1.2m、短辺約1m、深さ約0.4mを測り、平面楕円形を呈す。幅約0.3mのテラス部分を残して段掘りを行っている。埋土は3層からなり、炭化物を含む柱痕のような掘り込みが確認される。弥生土器と思われる土器破片が出土しているが時期は不明である。

7SK020 (Fig25) 調査区の中央西寄り、7SK007の北側で検出。長軸約1.5m、短軸約1.3m、深さ約0.6mを測り、平面形はほぼ円形を呈す。土層観察から柱痕跡(1層)が確認されるが、柱痕とすると一旦地山まで掘り、そこから土を入れ(2~4層)、柱を据えたこととなる。また2~4層からは人為的痕跡

①東辺溝遺物出土状況

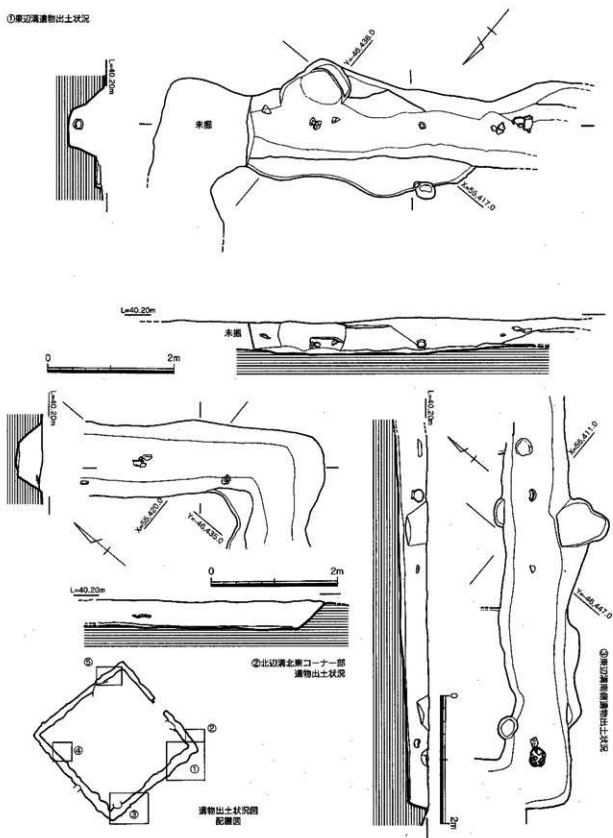
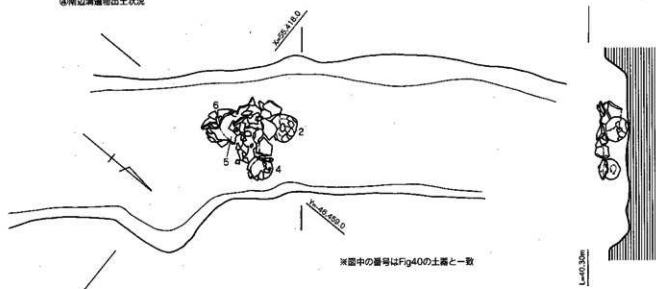


Fig22 7SD100遺物出土状況実測図 (S=1/60)

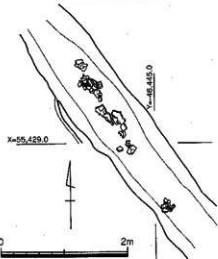
④南辺溝遺物出土状況



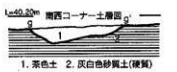
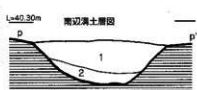
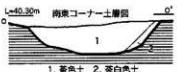
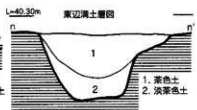
L=40.30m



0 1m (S=1/30)



⑤西辺溝遺物出土状況 (S=1/60)



L=40.60m

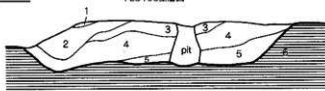
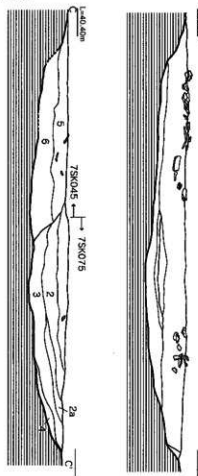


Fig23 7SD100遺物出土状況実測図・土層図 (⑤はS=1/60、他は1/30)



7SK045 - 075



1. 淡灰褐色砂質土 [S-75]
2. 暗茶灰色土 [ \* ]
- 2a. 淡茶灰色土 [ \* ]
3. 黄灰色土 [ \* ]
4. 暗黄色土(地山) [ \* ]
5. 暗茶灰色土 [S-45]
6. 黄灰色土(炭化物少量含む) [ \* ]

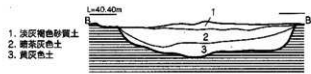
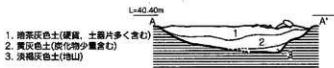
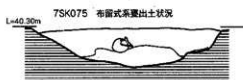
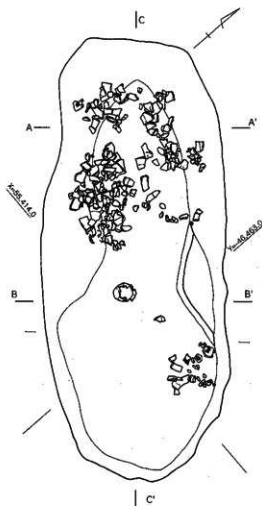


Fig24 7SK045・075実測図・土層図 (S=1/40)

は看取されず、自然堆積層と考えられる。これらのことから1層は別遺構の可能性が高い。褐灰色土より中世後半期の掘り鉢が出土している。

7SK044 (Fig25) 7SD100を掘り込み状況で調査区の中央南寄り付近で検出した。径約0.4mの円形プランを有し、深さ約0.2mを測る。

7SK045・075 (Fig24、写真図版16) 7SD100の南西部分に並行するような形で構築されている。長辺4.55m、短辺1mの細長い楕円形を呈すもので、深さは検出面から約0.4mを測る。土層の堆積状況は7SK045、075ともに自然堆積の様相を呈しており、7SK075は7SK045の掘り返しと考えられる。調査当初は一つの遺構として掘り下げたが土層観察の時点で新旧関係が判明し、それ以降の確実な遺物のみ7SK045として取り上げた。遺物の多くは暗茶灰色土層からすべて破片で出土し、特に甕等の日常雑器類が多い。床面や最初に堆積した黄灰色土層からの遺物の出土は皆無に等しく、このことは、7SK045、075が一義的に土器の廃棄を目的として築かれたのでは無く、埋没していく過程で土器片が混じったことを示す。目的は不明であるが、7SD100とはほぼ同じ時期に埋没していることや、位置や形状から両者間に有機的関係が存在すると思われる。

7SK085 (Fig25) 調査区の中央、南寄りで検出。長辺約1.2m、短辺約0.6mの長方形プランを有し、深さは約0.3mを測る。東側に幅約0.1m程の平坦部が見られる。

7SK110 (Fig25) 7SE010の東側で検出。長辺約1.4m、短辺約1.2mの方形を呈し、深さは約0.3mを測る。上面は削平されており、壁面は緩やかな直線を描く。埋土(第3層)には人為的に埋めたような状況が見られる。地盤は粘質土で保水性が高いことから7SE010同様溜め井の機能があったと考えられる。埋土中より須恵器cと思われる破片が出土しており8世紀以降の所産と考えられる。

7SK128 (Fig25) 調査区中央で検出。平面長方形で、長辺約1.2m、短辺0.5m、深さ約0.15mを測る。

7SK145 (Fig25、写真図版17) 7SI175の西側で検出。長軸約2.2m、短軸約1.8mの平面隅丸方形を呈し、深さは約0.3mを測る。壁面は緩やかに立ち上がり、床面はフラットである。埋土は3層からなり、最上層からは土師器の小皿aが出土しており12世紀中頃には埋没していたと考えられる。また、出土遺物中には釧津が1点含まれている。

7SK150 (Fig26、写真図版18) 調査区の南端、7SI155の南側で検出。長辺約1.4m、短辺約1mの楕円形を呈し、深さは約0.5mを測る。土層観察から掘り返し痕が認められ、その中から脚部が意図的に打ち割られた高坏脚、庄内式系甕胴部が投げ込まれたような状況で出土した。布留式古相段階のものか。

7SK173 (Fig25) 調査区中央北側部分で検出。暗茶褐色土から掘り込まれており、長辺約1.2m、短辺約0.8mの楕円形を呈す。深さは約0.2mを測る。床面からピットが確認されたが7SK173に伴うものかは不明である。遺物には6世紀代の須恵器が含まれるが、埋土の特徴が7SD161、162と類似しており、埋没時期は中世後半期まで下る可能性がある。

7SK219 (Fig25) 調査区の中央部分で検出。長辺約1m、短辺約0.5mの楕円形を呈す。深さは約0.2mを測り、西側に幅約0.2mの平坦部を有す。

7SK256 (Fig26) 調査区中央北側部分で検出。長辺約1.6m、短辺約1mの楕円形を呈す。深さは約0.1mと上面はかなり削平されている。床面からは小ピットが確認された。埋土より須恵器の坏蓋4が出土していることから奈良時代後半以降の所産と考えられる。

7SK274 (Fig26) 調査区中央北側部分で7SD162を切った状況で検出した。長辺約2m、短辺約1.4mの楕円形を有し、深さ約0.4mを測る。断面は掘り鉢状を呈す。埋土は多量のブロックを含むことから人為的に埋め戻したと考えられる。遺物には国産陶器が見られることから近世以降のものと思われる。

7SK367 (Fig26) 調査区東側中央部分で、住居群に囲まれるような状況で検出。埋土は住居群と類

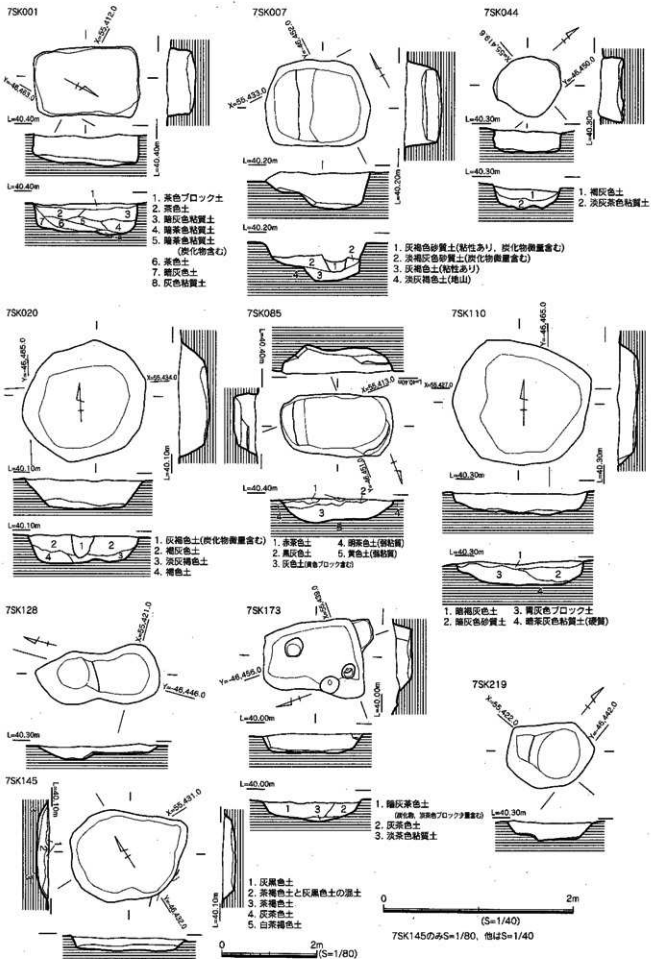


Fig25 7SK001・007・020・044・085・110・128・145・173・219実測図・土層図 (S=1/40・145は1/80)

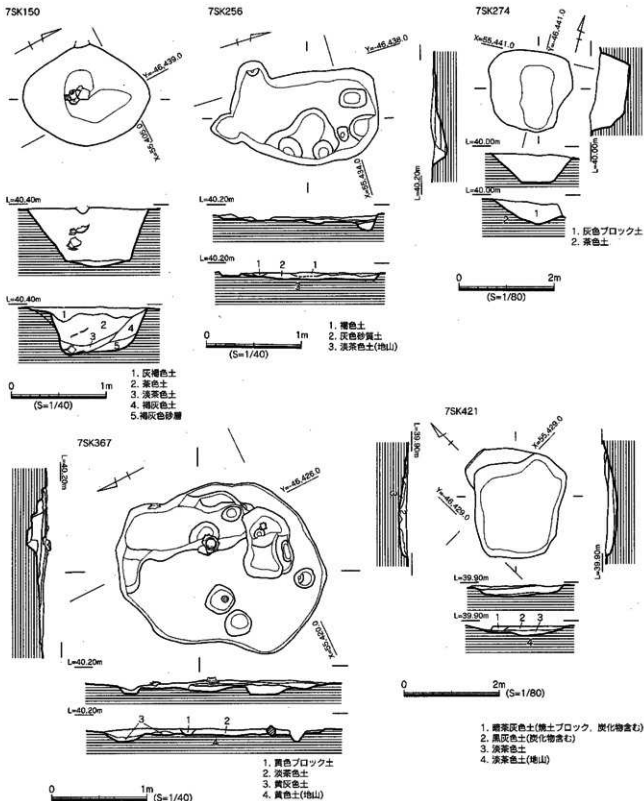


Fig26 7SK150・256・274・367・421実測図・土層図 (S=1/40・274, 421は1/80)

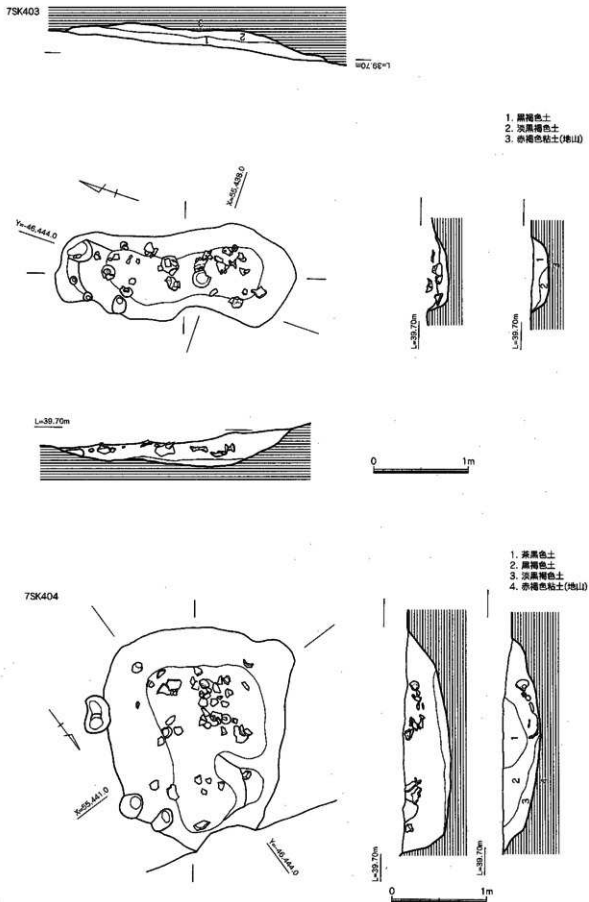


Fig27 7SK403·404实测图·土层图 (S=1/40)

似していた。長辺約2.2m、短辺約2mの楕円形を呈す。上面はかなりの削平を受けており、深さは約0.05～0.1m程である。中央部分で庄内式系の二重口縁壺が頸部を上に向けた状態で出土した。時期や配置の状況から住居群（7SI185、7SI190）に付随する施設と考えられる。

7SK403 (Fig27、写真図版19) 暗灰茶色土層を除去した後、調査区北側中央部分で検出された。長辺約2.55m、短辺約0.9mの細い楕円形を呈すもので、検出面からの深さは0.3～0.4mを測る。埋土は2層に分層でき、遺物の多くは黒褐色土より破片の状態で出土した。遺物はすべて床面から浮いた状態で、レンズ状に出土しており、埋没していく過程で土器の廃棄を行っていると考えられる。出土遺物には、布留式系の甕片、山陰系の二重口縁壺片、器台片、高坏片などがみられ、その中で、高坏の破片が多く出土していることが特徴的である。

7SK404 (Fig27、写真図版19) 7SK403同様に暗灰茶色土層を除去した後、7SK403の北側に隣接した位置で検出した。長軸約2.2m、短軸約1.9mの隅丸方形を呈すもので、深さは検出面より0.4mを測る。土層の堆積状況は、レンズ状で自然堆積の様相を呈し、土器も床面より浮いた状態で堆積土と同じようにレンズ状に出土している。出土遺物には布留式系甕片、庄内式系甕片、器台片、小型丸底壺、高坏など多形である。

7SK421 (Fig26) 7SI175の埋土を除去後に検出。長軸約1.2m、短軸約1mの長方形を有す。深さは約0.1mを測り、断面は浅いレンズ状を呈す。埋土中に焼土、炭化物が含まれており7SI175の付属施設(炉跡など)の可能性もある。

## 7 焼土坑

検出された焼土坑すべてに共通することとして、壁面が酸化、還元化している、床面に小ピット群が確認できる、炭化物が堆積しているなどが挙げられる。7SK125、7SK238に関しては炭化物が多量に出土したことから埋土をすべて採集し洗浄後、磁石を使って鍛造剥片など鉄生産に関する遺物を探したが確認されなかった。このことから鉄生産遺構の可能性は低いと思われる。また埋土中からは骨片なども見られないことから火葬墓とする根拠も薄くその目的は不明である。出土遺物に須恵器甕の破片がみられるが周辺に須恵器甕破片を多く含む暗灰茶色土が堆積していることから、埋没過程での流入と考えられる。包含層との切り合いも無いことから時期は不明である。

7SK060 (Fig29) 調査区中央南側で検出。径0.8mの円形を呈し、深さは約0.1m程で、上面かなりの削平を受けており西側壁面の立ち上がりは不明瞭である。埋土は炭化物を多く含んでいるが焼土は見られない。遺物はすべて細片のため時期は不明である。

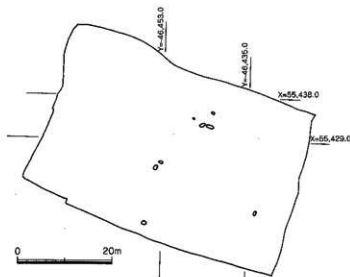
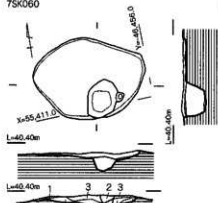


Fig28 焼土坑分布図 (S=1/800)

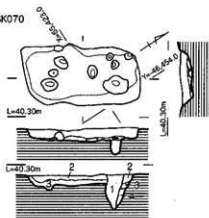
7SK070 (Fig29) 調査区中央、7SB095の中で検出された。長辺約1m、短辺約0.6mの長方形を呈し、深さは約0.15mを測る。埋土は炭化物を多く含む2層からなる。床面はフラットで、また棒で突いたよ

7SK060



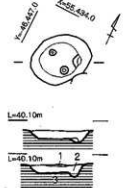
1. 淡灰色砂質土
2. 灰茶色土
3. 炭化物層
4. 黄褐色土(炭化物少量含む)
- 2a. 灰茶色土(2層より軟質)
5. 黄土

7SK070



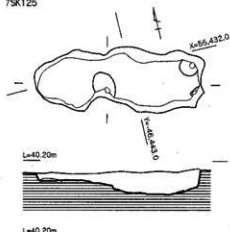
1. 茶灰色(pH)
2. 暗灰色土(炭化物多く含む)
3. 淡黄灰色土
4. 淡褐色土(地山)

7SK120



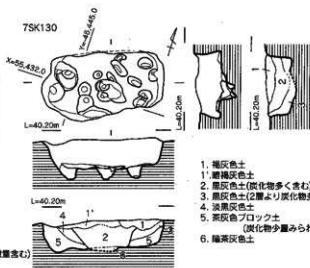
1. 暗灰色土
2. 暗灰色土(炭化物少量含む)
3. 淡黄灰色土

7SK125



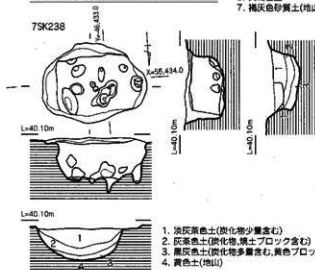
1. 暗灰色土(炭化物微量含む)
2. 暗灰色土
3. 灰色砂質土
4. 灰褐色土
5. 茶灰色土(やや粘性あり)
6. 黄褐色土
7. 褐色色砂質土(地山)

7SK130



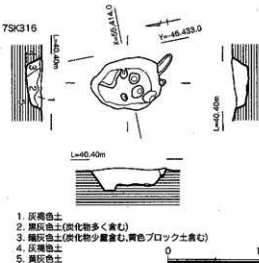
1. 暗灰色土
- 1'. 暗褐色土
2. 暗灰色土(炭化物多く含む)
3. 暗灰色土(2層より炭化物多し)
4. 淡黄灰色土
5. 茶灰色ブロック土(炭化物少量みられる)
6. 暗茶灰色土

7SK238



1. 淡黄褐色土(炭化物少量含む)
2. 灰茶色土(炭化物、黄土ブロック含む)
3. 黄褐色土(炭化物多量含む、黄色ブロック少量含む)
4. 黄土(地山)

7SK316



1. 灰褐色土
2. 暗灰色土(炭化物多く含む)
3. 暗灰色土(炭化物少量含む、黄色ブロック土含む)
4. 灰褐色土
5. 黄灰色土

Fig29 7SK060・070・120・125・130・238・316実測図・土層図 (S=1/40)

うな小ピットが認められる。壁面、床面には焼けたような痕跡は確認されなかった。

7SK120 (Fig29) 調査区中央やや北側部分で検出。径0.7mの円形で、深さは約0.1mを測る。壁面には焼土が付着していた。埋土は炭化物を少量含む程度であった。

7SK125 (Fig29) 調査区中央北側部分で検出。長辺約1.8m、短辺約0.8mの細長い楕円形を呈し、深さは約0.2mを測る。西側には幅約0.6m程の平坦面があり、東に向かってレンズ状に窪む。埋土は5層からなり、東側からの流れ込み堆積を示す。炭化物は余り認められない。

7SK130 (Fig29、写真図版20) 7SK125の西側で検出。長辺約1.2m、短辺約0.8mの隅丸長方形を呈し、深さは約0.35mを測る。床面から壁面にかけてすはまるように立ち上がり、断面袋状を呈す。埋土は炭化物を含む6層からなり、特に2層には炭が集中しており、堆積状況からも2層は掘り返したような痕跡が認められる。焼成で堆積した炭を掻き出し、再度焼成が行われた状況を示していると思われる。壁面は熱で焼土化していた。床面も被熱で黄色化しており、また小ピットも多数確認された。

7SK238 (Fig29、写真図版21) 7SK130の北側で検出。長辺約1.2m、短辺約0.9m、深さ約0.4mを測り、平面隅丸方形を有す。埋土は炭化物を含む3層からなるレンズ状堆積を呈し、壁面は直線的に立ち上がる。壁面は被熱で酸化で焼土となっており、また一部は還元化していた。床面からは多数の小ピットが確認された。

7SK316 (Fig29) 調査区の中央東より、7SI190の南側で検出。長辺約1.1m、短辺約0.7m、深さ約0.2~0.3mを測り、平面楕円形をしている。壁面は直線的に立ち上がり、床面はほぼフラットである。埋土には多くの炭化物を含んでいるが、壁面、床面には被熱の痕跡は明確には認められない。他の焼土坑同様に床面で複数の小ピットが確認される。

## 8 墳墓

7ST200 (Fig30、写真図版22) 調査区の中央南端付近で検出。長軸約2.08m、短軸約0.9mの長方形プランを有す。上面は削平されており、残存する深さは約0.1m程である。土層観察からは木棺痕跡は認められないが、出土する釘の分布範囲から木棺の規模は長さ約1.8m、幅約0.5mと推測される。棺内には鉄製刀子1点と鉄鏝1点が副葬されていた。鉄鏝は2本(別の物かは不明)を繊維状のもので結びつけている状況であった。これらの遺物は床面から約5cm程浮いており、それは板材の厚さを示すものと考えられる。土器の出土は無いが、鉄鏝は前田遺跡4次調査において、7世紀末から8世紀初頭に比定されるSK109から同じ形態をしたものが見ついている。隣接する殿城戸遺跡6次調査では、9世紀前半に比定される火葬墓が見つかっており、調査地の存する丘陵地一帯は古代の墓域として利用されていたと考えられる。本遺構については、釘を使用した木棺墓という点で平安時代の所産に位置付けられる。

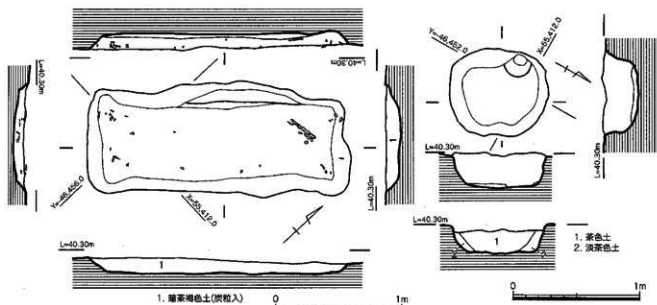
## 9 その他の遺構

7SX050 (Fig30) 7SK001の東側で検出。径約0.6m、深さ約0.2mを測り、円形プランを呈す。床面に柱痕跡と思われる0.1m程の窪みが見られる。

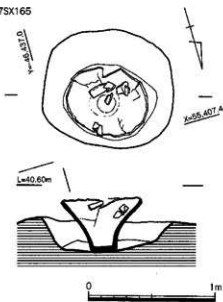
7SX140 (Fig30) 調査区中央に堆積する溜まり状の遺物包含層である。薄い褐色土から成り、埋土中から13世紀後半頃の土師器環aが出土している。

7SX165 (Fig30、写真図版23) 7SI155の東側で検出。長軸約0.5m、短軸約0.4mの円形を呈すもので、掘り方上面は削平されており土器が露呈していた。土境内には弥生土器の甕が垂直に埋置され、胴部下半から底部にかけて残存する。土器内の堆積土中には混入物は認められなかった。口縁部、底部の形態から弥生中期後半~後期初頭段階のものと考えられ、住居7SI175、235とほぼ同時期であることから関

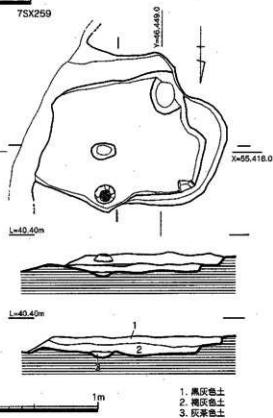




7SX165



7SX259



7SX140,254,284 土層切

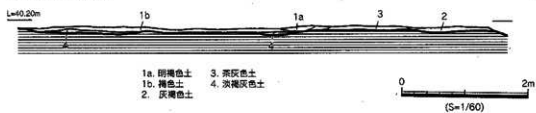


Fig30 7ST200・7SX050・165・259 (S=1/30)、7SX140・254・284土層切 (S=1/60)

係性が窺える。

7SX259 (Fig30、写真図版24) 調査区中央で検出。7SD124に切られ全体規模は不明だが、長軸約1.65m+α、短軸約1.2mの隅丸長方形を有すもので、深さは約0.15mと残存状況は悪い。掘り方は段掘り状を呈し、床面はフラットである。埋土は2層の自然堆積層からなり、黒灰色土層から土師器の坏が裏返った状態で出土した。遺構形状、遺物の出土状況から墓塚の可能性が高く、時期は13世紀後半以降と考えられる。

### 第3章 遺物

#### 1 掘立柱建物出土遺物

7SB095 (Fig31 写真図版25-52)

須恵器

坏 (1) 高台付の坏cで、高台は体部と底部の境目よりやや内側に接合される。8世紀中頃から後半にかけてのものである。

7SB210 (Fig32 写真図版25-52)

古式土師器

坏 (1) 精製土を使用し、薄手である。色調は赤味をもった橙色を呈しており、最終処理には内、外面とも横方向のミガキが行われている。

布留式併行段階と考えられる。

7SB240 (Fig32 写真図版25-52、53)

弥生土器

壺 (1) 弥生後期の壺の胴部と考えられるが、外面に鋭いものでひっかいたような痕跡がみられ、同様な例が前田遺跡の住居跡 (前1S1510) や難川遺跡で確認されている。柱掘り方bより出土。

底1 (2) 甕または壺の平たい底部である。柱掘り方bより出土。

古式土師器

高坏 (1、2) 1は高坏の坏部破片である。内面は横方向のミガキを施した後放射状に再度ミガキが行われる。精製土を使用した丁寧な作りである。4は高坏脚部の破片で外面に放射状のミガキがみられる。柱掘り方cより出土。

弥生土器

底1 (3) 甕または壺の底の平たい底部である。柱掘り方cより出土。

古式土師器



Fig31 7SB095出土遺物 (S=1/3)

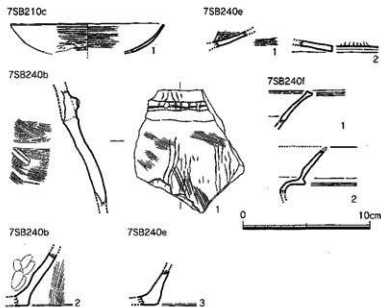


Fig 32 7SB210・240出土遺物 (S=1/3)

甕 (1) 布留式系甕の口縁部破片で端部は外側につまみ出ており、上面は凹んでいる。布留式併行段階と考えられる。柱掘り方fより出土。

壺 (2) 山陰系の二重口縁壺の口縁部である。柱掘り方fより出土。

## 2 住居跡出土遺物

### 7SI155

7SI155はやや小規模な住居でありながらも、古墳時代後期の土器がセットで出土している。須恵器が1点出土しているが小破片で図示できなかった。時期は坏や甕の特徴から5世紀後半以降と考えられる。

7SI155茶褐色土出土遺物 (Fig33 写真図版25-54)

#### 土師器

甕 (1) 長い頸部を持ち、なで肩気味の長胴タイプの胴部を有すものと考えられる。

丸底壺 (2) 当初カマドと想定していた焼土塊の横に置いた状態で出土した。短く外反する口縁部に球形の胴部をするものである。胎土にはあまり混入物は含まれない。器面のケズリ調整は粗雑である。

坏 (3) 丸い体部に外側に開く口縁部を有すもので、器面は磨減して調整不明瞭だが、体部下半は手持ちヘラケズリが施される。

瓶 (4) 器高は24.6cm、底部径8.6cmを測り、2箇所把手が付き、周辺には撫でつけた痕跡が確認される。調整は内面が口縁部は横方向の粗いハケ、体部から底部にかけてはヘラケズリ、外面は口縁部から胴部にかけては縦方向のハケ、底部はヘラケズリが行われる。胴部下半から底部にかけて煤が付着している。単孔式である。

石製品 (Fig47 写真図版46-125)

砥石 (1) 天草砥石の原石である。触ると繊維状に崩れやすい。

7SI155赤褐色土出土遺物 (Fig33 写真図版25-54)

#### 土師器

丸底壺 (1) 焼土塊の中から土圧でつぶれたような状態で出土した。色調は赤味がかった橙色を呈し、胎土には混入物を殆ど含まない。調整は胴部内外面にはヘラケズリが施され、口縁部は工具によるナデが行われる。器面の調整は全体的に粗く、器壁も厚い。

### 7SI160

出土遺物は、土層観察から住居が埋没する過程で廃棄されたもので、直接的に住居の時期とは結びつかない。出土する土器の大半が布留式系など外来的な影響を受けている。時期は布留式中相段階と考えられる。

7SI160出土遺物 (Fig33 写真図版25-55～27-64)

#### 古式土師器

甕 (1～3) いずれも布留式系甕で、1、2は頸部がすぼまり、口縁部が内湾しながら立ち上がり、端部はやや外側へつまみ出るタイプで、2は端部上面が凹状に凹んでいる。3は口縁部は内湾して立ち上がり、端部は肥厚している。外面は縦方向ハケ後横方向ハケが施される。

長頸壺 (4) 布留式系のもので、直線的な薄い口縁部を呈し、端部はやや内湾している。頸部は強いナデのためやや沈み気味である。体部は球形をしており、外面には細かいハケが施された後ヘラケズリが行われる。

二重口縁壺 (5) 山陰系の影響を受けた大型の二重口縁壺の頸部で、7SD100黒灰色土出土のものと同一体の可能性がある。外面はナデ仕上げで、内面には横方向のハケが施される。

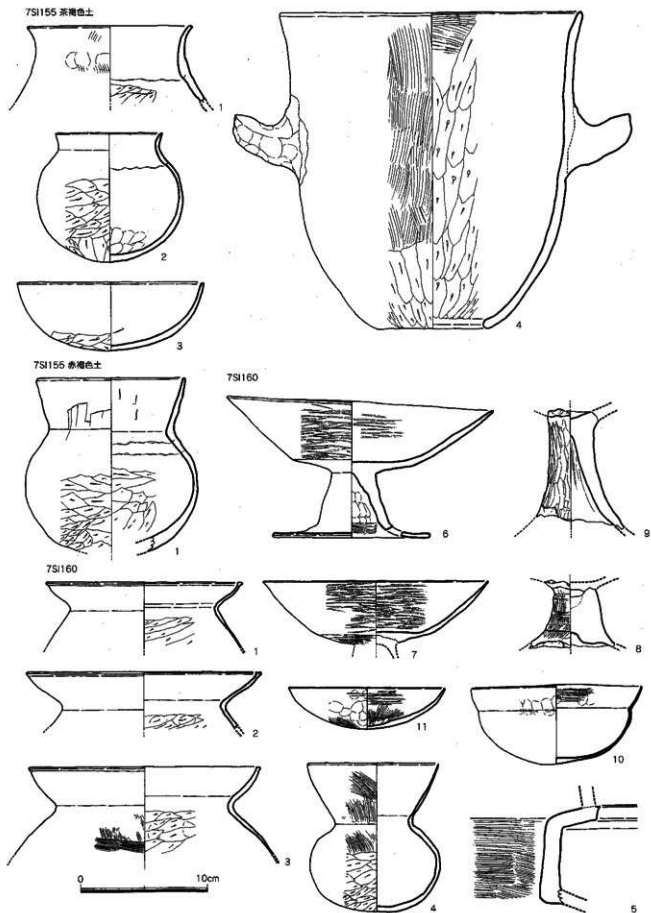


Fig33 7SI155・160出土遺物 (S=1/3)

高坏 (6~9) 6, 7はともに布留式系の影響を受けている。6は内外面に粗雑なミガキが施され、坏部下半の稜は明確である。柱状部はやや中彫らみの形状を呈し、脚裾部は低平で、穿孔は柱状部と脚裾部の境目にみられる。胎土、形態から在地のものと考えられる。7は高坏の坏部のみである。内外面に横方向のミガキが施されるが粗雑である。坏部下半の稜は不明瞭である。8, 9は高坏の柱状部坏部との接合部、脚裾部に打ち掻き痕が確認される。8は外面のハケ調整が粗雑で、柱状部は短く中実タイプ、9は長い柱状部で、縦方向の粗いミガキが行われる。粘土が乾燥した段階で磨いたためカケズリの様な軌跡が残る。ともに在地のものである。

小型丸底壺 (10) 薄手もので、内面の稜は不明瞭である。調整は底部に砂粒の動きからヘラケズリが行われていると思われるが表面が風化しているため不明瞭である。外面の口縁部と体部の境には細かいハケが施される。

坏 (11) 丸底の小型の坏で、指押さえにより整形され、その後内外面に細かいハケ→ミガキの順で調整が行われる。やや丁寧な作りである。布留式併行段階のものである。

75I160黒灰色土出土遺物 (Fig34 写真図版26, 27)

壺 (1) 布留式系壺の口縁部で、直線的に立ち上がり端部は内側につまみ出している。表面が黒灰色を呈している。

二重口縁壺 (2~3) 2は庄内式系のもと考えられ、口縁部は外方に開き、端部は内側につまみ上げる。色調は茶白色で胎土芯部分は黒灰色をしている。全体ナア仕上げである。3は産地不明 (山陰系か)の二重口縁壺口縁部である。

壺 (4) 4はV様式系の壺の頸部破片で、色調は淡黒灰色を呈し、内外面に細かいハケが施される。

高坏 (5, 6) 5は高坏脚裾部で、低平に開くタイプである。6は高坏の坏部または小型特殊器台の受部と考えられる。復原径は18.4cmを測り、小型特殊器台とすると大型なタイプである。色調は黒灰色と茶白色に分かれる。端部は外方に開き気味で、器壁は厚く丸味を帯び、内外にミガキが施されるが単位も大きく粗雑である

小型丸底壺 (7~9) 7は直線的な口縁部を有す。8は厚手で、全体的に丸味を帯びている。口縁部は厚手で、内面にはヘラケズリが行われ他の同器種のものとは若干異なる。色調は白色を呈し精製土を使用している。9は頸部から胴部の破片で、布留式系壺同様黒灰色をしている。内面の口縁部と体部の境の稜は鋭く、工具によるナデの痕跡が観察できる。ミガキなどの調整は丁寧で、焼成良好、精製土を使用している。

高台付鉢 (底8か) (10) ハの字状に広がる高台を有し、内面は工具で丁寧にナデ仕上げされている。

75I160淡茶褐色土出土遺物 (Fig46, 写真図版45-121)

鉄製品

釘 (1) 縦2.2cm, 横0.7cm, 厚さ0.6cmの断面正方形を呈す。

75I170出土遺物 (Fig34 写真図版28-65)

須恵器

坏蓋 (1) 器高が高く、やや深めの器形を呈し、天井部は丁寧な回転ヘラケズリで処理され、口縁部と体部の境、口縁端部には明確な段が見られる。焼成も良好であり、これらの特徴から小田Ⅱ~Ⅲ期に該当すると思われる。

鉄製品 (写真図版45-121)

刀子 (2) 中子から刃部にかけほぼ完全に残っており、長さ13.4cm, 最大幅1.5cm, 最大厚0.4cmを測り、刃部の断面は三角形を、中子部分は長方形を呈す。

7SI175茶色土 (=暗灰色土) 出土遺物 (Fig34)

須恵器

坏 (1) 坏口縁部破片で、やや外反気味に立ち上がる。

土師器

甕 (2) 短い口縁部で外方へくの字に屈曲する。外面には粗いハケが施される。

7SI175暗灰色土出土遺物 (Fig34、写真図版28-66)

土師器

坏 (1) 口縁部は短く外反し、体部外面の調整は手持ちヘラケズリ後ナア、内面は丁寧なナアが行われる。器高が高く、やや深めの器形を呈す。器壁は薄い。

管玉 (Fig47、写真図版46-124) 緑色片岩で作られる。表面は丁寧に磨かれ滑らかである。

7SI175黄灰色ブロック土出土遺物 (Fig34、写真図版28-67)

弥生土器

鉢 (1) 素口縁の小型の鉢で、体部中位部分に最大径がくる。外面最終処理として細かなミガキが施され、その後丹塗りが行われている。7SI235より同様の胎土、色調を有した壺、高坏が出土しており須玖Ⅱ式段階に比定されることから、この素口縁の鉢も同時期のものと考えられる。

7SI175 d 出土遺物 (Fig34 写真図版28-67)

底1 (1) 甕または壺の底部で完全な平底を呈す。内面指押さえて整形される。

以上の出土遺物から考えると、弥生中期末段階と古墳時代後期の二つに大別され、この2時期の遺構を同時に掘り下げた可能性が考えられる。また、掘り下げ途中に広域にわたって炭化物、焼土粒が検出された。住居が自然埋没する過程で生じる窪地で火を利用した何らかの行為が行われた可能性がある。

7SI180茶灰色土出土遺物 (Fig34、写真図版28-68)

須恵器

坏蓋 (1) 口縁部破片で、端部内側に段が確認される。小田須恵器編年Ⅱ～ⅢA期のものと思われる。

土師器

甕 (2) 甕の底部破片で、丸底を呈し、内面はヘラケズリ、外面には粗いハケが施される。

坏 (3) 内湾しながら立ち上がる坏の口縁部である。5世紀以降のものと考えられる。

出土遺物は極めて少量で、全て破片資料である。1、3などから5世紀後半頃には埋没していたと思われる。

7SI185茶灰色土出土遺物 (Fig34、写真図版28-68)

古式土師器

甕 (1) 布留式系甕の口縁部で、内湾気味に立ち上がり、端部は丸く仕上げられている。布留式中相段階のものである。

小型丸底壺 (2) やや湾曲して立ち上がり、薄手である。長い口縁部を有すタイプか。

土製品

加工土器片 (3) 壺または甕の底部破片の数カ所を意図的に打ち掻いている。用途は不明である。

7SI185 h 出土遺物 (Fig34、写真図版28-68)

古式土師器

小型丸底壺 (1) 胴部破片である。外面には細かいハケが施される。

遺物の出土は少量で、殆どが破片であるため時期を決め難いが、1、2などから布留式中相段階と考えられ、方形区画溝7SD100と同時期のものと考えられる。

#### 7SI190暗茶色土出土遺物 (Fig34 写真図版29-72)

##### 古式土師器

高坏 (1) 坏部破片で、大型の坏部が想定される。外面の体部と体部下半の境部分に沈線のようなものが認められ、最終調整として内外ともに乱雑なミガキが施される。

小型丸底壺 (2) 精製土を使用しており、橙色を基調とした色調を呈す。口縁部はやや内湾しながら立ち上がり、端部で細く直線的になる。

#### 7SI190出土遺物 (Fig34、写真図版28、29)

##### 古式土師器

二重口縁壺 (1) 山陰系の二重口縁壺の口縁部である。

高坏 (2) 高坏柱状部で打ち掻き痕が認められる。外面は細かいミガキが施され、脚部内面はカキメ状のハケをラセン状に連続して行っている。色調は暗橙色を呈し、精製土を使用している。肉厚なタイプで、全体的に作りは丁寧である。

小型丸底壺 (3) 精製土を使用し、丁寧な作りである。胎土中には金雲母を含んでいる。外面は粗いミガキが幾重にも行われ、内面は細かなハケを施したのち細いミガキで処理される。

小型特殊器台 (4) 全体に2次的に焼けたような状態である。口縁端部はゆるやかに外反し、脚部は直線的に開く。脚部内面には連続した指押さえて整形した後ハケが施される。胎土中に金雲母を含み精製土を使用している。

坏 (5) 厚手のタイプだが、端部は薄く仕上げている。精製土を使用している。内外面ともに複雑な不定方向のミガキが施され、体部下半にタタキのような条痕が確認される。胎土に金雲母を含む。

##### 灰褐色土出土遺物

石織 (Fig47、写真図版46-123) 安山岩製で、淡灰色。調整は片刃のみ細かい加工を行っている。

7SI190から出土する遺物は、精製土で作られ、色調は橙色を呈すものが多い。3、4など小型3器種の出土が目立ち、他の住居跡と比べやや様相が異なる。遺物量が少ないため時期判定は困難だが、4の形態から布留式中相段階と考えられる。また、出土遺物の傾向も含めて7SD100と関連性が窺える。

#### 7SI195黒灰色土出土遺物 (Fig34、写真図版29-73、74)

##### 須恵器

坏蓋 (1) 7SI170の1と同じタイプの蓋で、こちらの方がやや器高が低い。体部の屈曲部が突出する小田須恵器編年Ⅱ～ⅢA期のものと思われる。

##### 土師器

坏 (2) 歪んだ器形で、丸い体部に内湾する口縁部を有す。底部外面は手持ちヘラケズリの後、連続した工具によるナデが施される。内面は指押さえて整形後工具によるナデが行われる。調整は非常に粗雑である。5世紀後半以降のタイプと考えられる。

小坏 (3) 小型なタイプで、手捏ねにより成形され球形を呈し、指押さえて後ナデで仕上げている。

甕 (4) 口縁部はやや外反気味に立ち上がる。長胴タイプと考えられる。

小坏 (5) 底部ヘラ切り後ナデで処理される。口縁部はやや湾曲しながら立ち上がる。

切り合いの新しい遺構を気付かずに掘った可能性があり、5は混入したと思われる。1、2、4から5世紀後半段階には埋没していたと考えられる。

#### 7SI205茶灰色土出土遺物 (Fig35、写真図版29-75)

##### 古式土師器

壺 (1) V様式系の壺で、住居床面で潰れたように横たわった状態で出土した。丸い球形の体部を

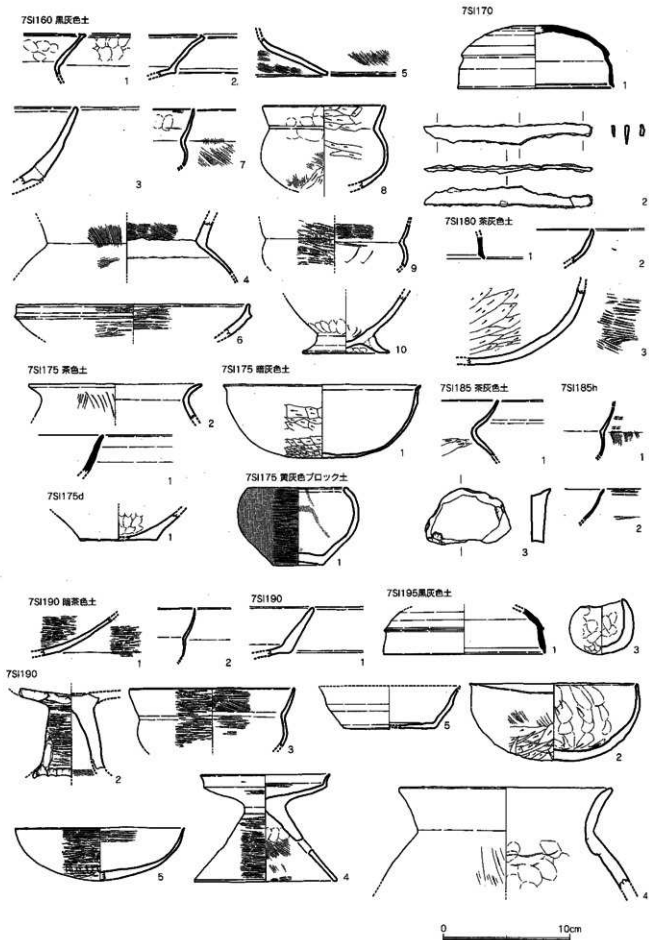


Fig34 7SI160・170・175・180・185・190・195出土遺物 (S=1/3)



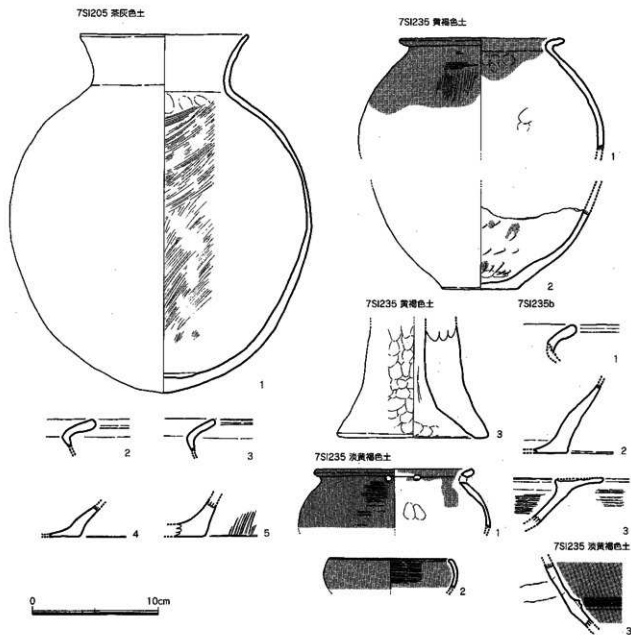


Fig35 7SI205・235出土遺物 (S=1/3)

有す。底部はやや尖り気味で、中から押し出されたような状態を呈す。内面は頸部には指押さえの痕が観察でき、その後全体に斜方向のハゲが施される。布留式併行段階と考えられる。

弥生土器

甕 (2~3) 弥生後期の甕口縁部で、くの字に屈曲する。

底1 (4~5) 4は薄手、5は厚手のタイプである。

7SI205は、7SD100を切った状態で検出された。1より7SD100が埋没した後、あまり間を開けず本遺構が構築されたと考えられる。

7SI235淡黄褐色土出土遺物 (Fig35、写真図版30)

弥生土器

壺 (1~3) 1は短頸壺で短く屈曲する口縁部を有し、穿孔が施される。外面ミガキ調整を行われ、赤色顔料が塗られている。口縁端部外面には、内側にやや窪む部分のみられ鋤先口縁からくの字口縁へ

と移行する過渡期のタイプであり、弥生中期末から後期初頭のものと考えられる。2は袋状口縁壺の口縁部で長い頸部をもつタイプのものである。外面に赤色顔料が塗られる。3は、2と同一個体の可能性がある。外面にM字突帯を有す。

石製品 (Fig47、写真図版46-124)

石鍬 (1) 打製石鍬の破片で、緑色片岩を使用している。側面に加工痕あり。

7SI235黄褐色土出土遺物 (Fig35、写真図版30)

壺 (1~2) 1は短頸壺で口縁部は短く外反する。淡黄褐色出土のものと同様の口縁部を呈している。外面に赤色顔料が施され、内面にも顔料が付着している。2は壺の胴部から底部にかけてのもので、底部をひっくり返した状態で床面から出土した。内面指押さえて整形後、工具によるナデが施される。1と同一個体の可能性が高い。1、2ともに弥生中期末から後期初頭のものと考えられる。

器台 (3) 器台の脚部で肉厚である。全体的に白色を呈す。石英など混入物を多く含んでいる。

7SI235 b 出土遺物 (Fig35)

弥生土器

甕 (1) 口縁部がくの字に屈曲するタイプの甕である。

底1 (2) 完全な平底で外面に縦方向のハケが施される。

高坏 (3) 鋤先口縁をもつ高坏で、横に水平に突出している。赤色顔料が施される。

### 3 井戸出土遺物

7SE010暗灰青粘質土出土遺物 (Fig36、写真図版31-78)

土師器

小皿 b (1) 底部糸切り処理され、全体ナデ仕上げされる。口径7.4cm、器高1.7cm、底径5.0cm。口径、底径は復原径である。

坏 (2) 口縁部破片でナデ仕上げされる。

7SE010灰黒色砂質土出土遺物 (Fig36、写真図版31、32)

瓦質土器

火鉢 (1) 体部破片で全体形状不明である。外面スタンプ文有り。内面は指押さえ後横方向のハケで処理される。

木製品

漆器碗×皿 (2~4) 2、3は口縁部、体部破片で外面黒漆、内面朱漆が塗布され、その上から外面に朱書きで鶴のような文様が描かれる。4は高台部分で高台は欠損している。

7SE010灰褐色粘質土出土遺物 (Fig36、写真図版31-78)

土師器

小皿 b (1、2) 1は口径6.8cm、器高1.8cm、底径4.7cm、2は口径7.4cm、器高1.7cm、底径4.9cmを測る。いずれも口径、底径は復原値である。底部糸切りで全体ナデ仕上げされる。

7SE010明灰色粘土出土遺物 (Fig36、写真図版31-78)

土師器

坏a (1) 底部破片で、底部糸切りで、板状圧痕残る。

太宰府では、中世の漆器は観世音寺やその周辺、また金光寺跡など寺院や居館から出土する傾向がみられ、破片ではあるが本調査区から出土したことは注目される。各土層からの出土遺物から13世紀後半には埋没が始まっていたと考えられる。

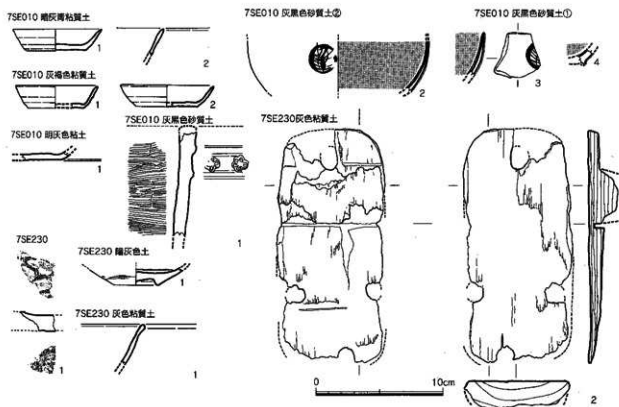


Fig36 7SE010・230出土遺物 (S=1/3)

7SE230出土遺物 (Fig36、写真図版31、32)

瓦 (1) 小破片で外面格子叩き、内面に布目痕を残す。

7SE230暗灰色土出土遺物 (Fig36、写真図版31-78)

国産陶器

皿×碗 (1) 碁笥底を呈し、粗めの乳白色の胎土で、鉄釉で圏線を描いたのち化粧土を塗られ、白釉をかける。近世後半以降と考えられる。

石製品 (Fig47、写真図版46-124)

不明円形製品 (8) 安山岩製で、円形に加工されている。器種は不明である。

7SE230灰色粘質土出土遺物 (Fig36、写真図版31、32)

青磁

碗 (1) 釉調はやや青味がかった淡緑色をしており、胎土は粒子の入った乳灰色で、器形は口縁端部が玉縁状に丸く仕上げられている。上田分類D類と思われる。15世紀代のものである。

木製品

下駄 (2) 全体に残りが悪く不明な部分が多い。鼻緒穴は3箇所確認できる。歯は現状片刃であるが、かかと部分に切れ込みのような痕跡がみられることから両刃の可能性も考えられる。表面の木目から板目取りの板材から作られたと判断される。

連結する7SD005との関係、1点だが上田分類D類の青磁がみられることから15世紀代には埋没しており、近世の国産陶器を含む暗灰色土は他の埋土と土質が異なること、出土遺物の時期に開きがあることから掘り返しの可能性が考えられる。

#### 4 溝状遺構出土遺物

7SD003淡灰色土出土遺物 (Fig47、写真図版145-121)

鉄製品 (1) 板状の製品で、断面は三角形をする。

7SD005出土遺物 (Fig37、写真図版32-82)

土師質土器

摺り鉢 (1) 外面は指圧痕が明瞭である。

内面には5本を単位とする摺り目が入る。中世後半期のものか。

7SD311灰白色土出土遺物 (Fig37)

土師器

坏 (2) 坏dの底部で外面へラ切り後ナデが行われる。

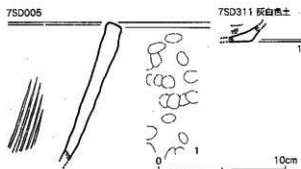


Fig37 7SD005・311出土遺物 (S=1/3)

#### 5 方形区画溝出土遺物

7SD100 (Fig38~40、写真図版33-37)

傾向として、高坏、小型特殊器台、小型丸底壺などの小型3器種は精製土を使用し、色調も橙色をしており、甕、壺の雑器類については茶白色を呈し、粗い胎土を有している。

7SD100茶色土出土遺物 (Fig38、39、写真図版33~37)

古式土師器

甕 (1~16) 1は庄内式系の甕で、外面叩きは右上がりである。下地に縦方向の刷毛が施される。口縁部はやや屈曲を持ちながら立ち上がり、端部は上方へつまみ上げている。肩部はナデのためやや窪んでいる。色調は橙色を呈し、胎土中の混入物は少量である。2~16は布留式系甕である。2は口縁部が内湾しながら立ち上がり、端部は上方へつまみ出される。外面は口縁部と頸部の境が強いナデのため窪み、なで肩気味の胴部へと続き、胴部中央付近に最大径をもつ倒卵形を呈すものと思われる。3~5は肩部に丸みを有し、球形の体部を有すものであろう。3、5は口縁部が直線的に立ち上がり、端部はナデにより水平に処理される。4は口縁部が外反気味に開き端部は内側につまみ出される。器壁は薄く鋭い感じである。内面頸部に指圧痕があり、上から斜方向のケズリが行われる。6は器壁が厚く、端部は丸く短く内につまみ出す。内面頸部の稜はきつい。口縁部内面には横方向の刷毛が施される。7、8は直線的に立ち上がり端部は内につまみ出す。9、12、14は口縁部が内湾気味に立ち上がり、端部はやや外側につまみ出る。頸部はナデにより丸く仕上げられる。10、13は端部上面が沈線状に凹んでいる。15は胴部破片で、現状で5条の波状文が確認される。

壺 (17~20) 17は山陰系の二重口縁壺の胴部で球形の体部を呈し、胴部中央付近に最大径がくる。肩部に1条沈線が入り、内面の調整は斜方向のヘラケズリ後、部分的にナデを行っている。外面は磨滅で不明瞭だが細かい刷毛が横→縦の順で施される。形態的には三雲遺跡八龍地区大溝出土資料に類似している。18は山陰系の二重口縁壺の口縁部で、内面の複合部に指圧痕が確認される。器壁は薄い。19、20は直口壺で、口縁部は直線的に伸び、19は端部が内側に、20は外側へつまみ出される。外面には縦方向の刷毛が施される。精製土を使用している。口縁部の特徴から布留式のものと考えられる。

高坏 (23~28) 22は丸い碗型の坏部を持ち、短い柱状部に低平な脚裾部を有す。外面の坏部下半から柱状部にかけてヘラケズリを行い、その上から器体全体に横方向のミガキが施される。山陰系の影響

を受けたものか。24は深めの坏部で、口縁部は外方向に開き気味に伸びる。口縁部と坏底部の内面には横方向の掻き目状の刷毛を下地に施し、その上から連続した放射状のミガキが行われる。体部の稜は明瞭である。25～27は脚部で、25は薄手で中彫りみのエンタシス状を呈し、外面には縦方向の刷毛を行う。精製土を使用している。布留式系のものと考えられる。26も同様のタイプか。27は砂粒を多く含む粗い胎土をしており、器壁も厚く在地系のもと思われる。また、脚部と坏部接合部には打ち掻き痕が確認できる。28は有段式の高坏で内内式系の影響を受けたものか。外面縦方向にケズリ風のミガキが施される。

小型丸底壺 (29～38) ほぼ共通することとして、胴部と口縁部の境に細かい刷毛が、内外面には精粗の差はあるものの横方向のミガキが行われる。29は口径が胴部最大径より小さく、口縁は直線的に短く立ち上がる。30は口径と胴部の径がほぼ同じで、口縁部はやや内湾して立ち上がり、端部は外へ開く。口縁部下半は強いナデのため窪んでいる。31～34は口径が胴部径より大きく、口縁部は短く内湾して伸びるタイプである。32、34の底部付近にはヘラケズリが行われる。34は内面体部と口縁部の境目に横方向の刷毛がみられる。35～38は器形が他と異なり、35は口縁部が胴部から直行して立ち上がり、外面だけみると胴部と口縁部の境が無く一体化したような感じである。厚手で、外面下半にヘラケズリが行われる。36は薄手で、坏形の胴部に外方に直線的に開く口縁部が付く。外面の胴部と口縁部の境はナデで窪む。内面は丁寧なナデで処理され、稜は明瞭である。精製土使用している。37はやや大型のタイプで、浅い胴部に長く直線的な口縁部を有す。端部付近は内湾傾向を示し布留式系の影響が考えられる。厚手で、内面には横方向の掻き目風の刷毛が施される。また、工具状のナデ痕が確認できる。38は37を小型にしたような器形で、内面に横方向のミガキが施され、精製土を使用している。口縁端部は内湾気味に立つ。35、37、38は佐野地区では見られないタイプで、他地域からの搬入などの可能性がある。

小型壺 (39) 球形の胴部を持ち、先端部に口縁部との接合痕が確認される。広口壺を小型にしたようなものと思われる、内面に工具ナデの痕跡がみられる。

小型特殊器台 (40～42) 40、41は口縁端部の屈曲は緩く、40は口縁部が外方へと開き、41は上方に直線的に立ち上がる。40の脚部は内湾気味に開き、内面には連続した刷毛調整が行われる。42は端部の屈曲がきつく、外面の稜は鋭い。内面には掻き目風の刷毛を施した後横方向のミガキを行う。精製土を使用しており丁寧な作りである。

坏 (43) 薄手で浅く、内面は丁寧なナデで処理される。

弥生土器

壺 (21) く字に屈曲するタイプのものである。

底1 (22) 完全な平底である。

石製品 (Fig48、写真図版46-124)

砥石 (11、12) 表面滑らかで、線索痕が確認される。1は縁片部の表面も滑らかになっており使用していた可能性が考えられる。また金属のようなもので開けられた穴が側面に確認できる。ともに砂岩製のものである。

7SD100暗灰茶色土出土遺物 (Fig39、写真図版35-88)

古式土師器

二重口縁壺 (1) 口縁はゆるやかに外反し、屈曲部分外面は突帯状に突き出る。内面はケズリ後ナデで処理される。鼓型器台の可能性も考えられる。

7SD100灰茶色土出土遺物 (Fig39)

古式土師器

7SD100 茶色土

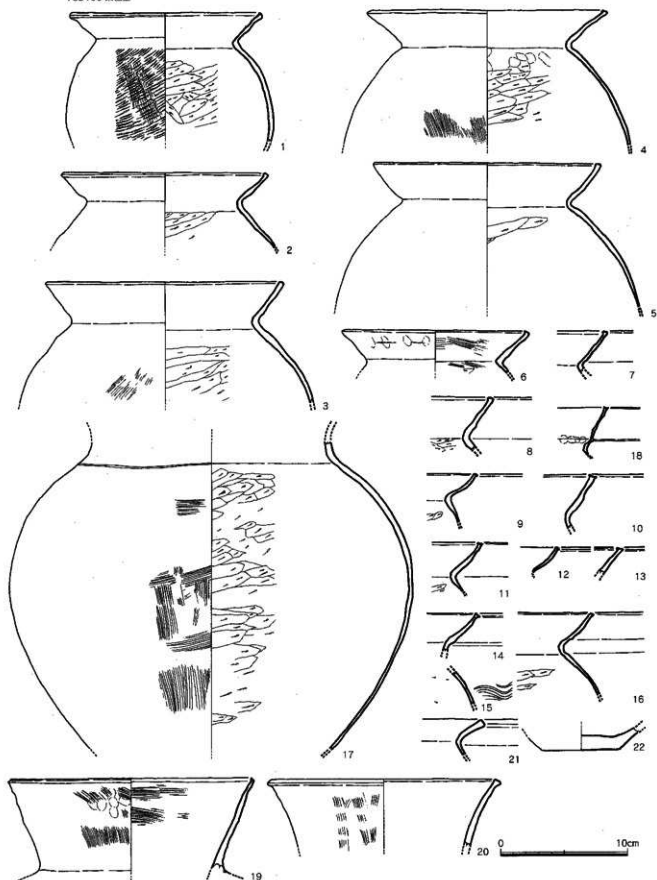


Fig38 7SD100茶色土出土遺物 (S=1/3)

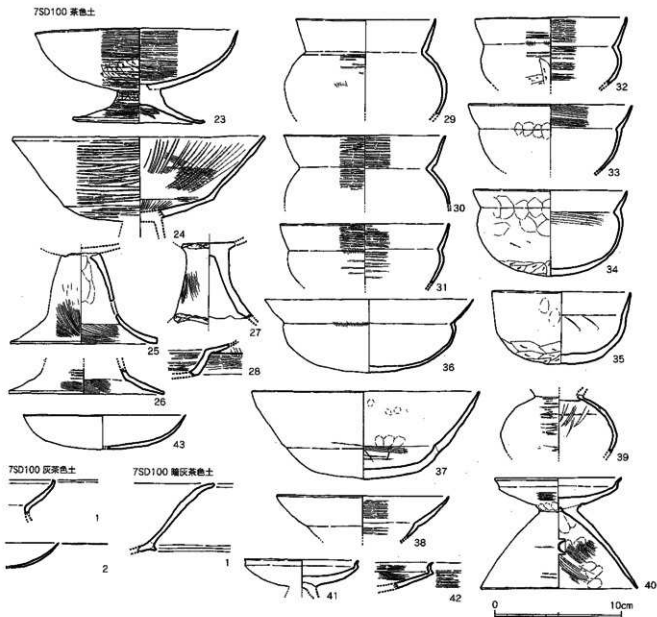


Fig39 7SD100茶色土、灰茶色土、暗灰茶色土出土遺物 (S=1/3)

甕 (1) 布留式系甕の口縁部で内湾しながら立ち上がり、端部は上方につまみ上げられる。

坏 (2) 薄手のタイプで、直線的に伸びる。

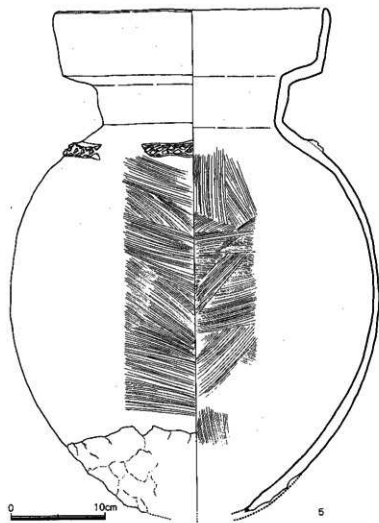
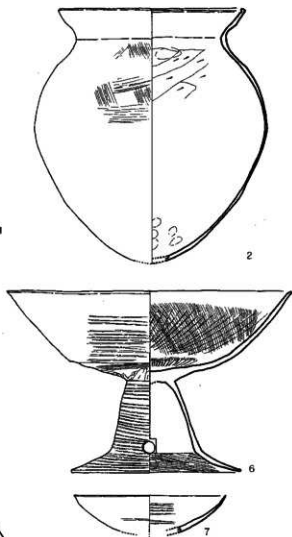
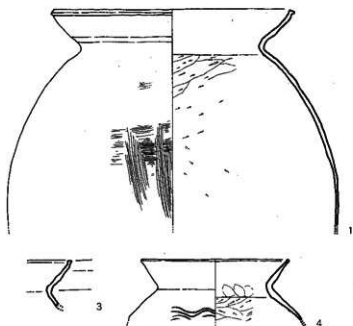
7SD100黒灰色土出土遺物 (Fig40、写真図版34~37)

古式土師器

甕 (1~4) いずれも布留式系の甕で1は口縁部が内湾して立ち上がり端部は外方向へとつまみ出す。なで肩の下彫れのタイプと思われる。内面は斜方向のヘラミガキ、外面は横方向の刷毛後縦方向刷毛が行われる。2は跳ね上げ状の口縁端部を有し、口縁下半から肩部にかけて強いナデのために窪み、短い直線部を有す。胴部中央付近に最大径がくる倒卵形を呈す。内面は粗い削りが施され、底部には指圧痕が確認される。3は口縁部の破片で端部を内につまみ出す。4は厚手で直線的な口縁部を有し、端部を内につまみ出す。内面には頸部に指圧痕を残す。外面には現状4条の波状文が描かれる。

壺 (5) 口縁部は山陰系の、胴部は第V様式系の要素が窺われる在地の二重口縁壺である。口縁部

7SD100 黒灰色土



7SD100 明茶色土

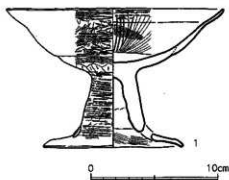


Fig40 7SD100黒灰色土、明茶色土出土遺物 (S=1/3、黒灰色土5はS=1/4)



はほぼ垂直に立ち上がり、胴部中央付近に最大径がみられ、全体的に卵状の器形をする。底部付近は2次的な被熱のため一定の高さより下が表面剥離する。内外面は細かい刷毛で調整される。

高坏 (6) 深めの坏部をもち、内面に細かな単位の刷毛で放射状に調整を行った後、その方向とは逆向きに放射状のミガキが施されている。外面は坏部、柱部の接合部付近に掻き目状の刷毛目が見られ、全体的に横方向の連続した磨きを施している。布留式系ものと思われる。

坏 (7) 口径の小さい薄手のタイプで、端部はやや内に折れ曲がる。内外面には横方向のミガキが行われる。

#### 7SD100明茶色土出土遺物 (Fig40、写真図版37-96)

##### 古式土師器

高坏 (1) 精製土を使用し、色調は明橙色をしている。全体に丸味を持った器形で、鉢型の坏部を有し、口縁部は緩やかな屈曲を描きながら立ち上がる。内面は横方向の掻き目状の刷毛を下地に、暗文風に連続した放射状のミガキを施す。外面は指押さえて整形した後、坏部下半はヘラケズリの横方向の刷毛、中央は縦方向の刷毛で調整したのち不定方向のミガキが行われる。柱状部は厚手で、脚裾部はハの字状に内湾している。穿孔部も低い位置にみられ、他の高坏と様相を異にする。ミガキなどの調整は不規則でやや粗いために地の様相を持つ。

全体的に破片資料が多いが、壺の端部処理や茶色土15、17、23、24、黒灰色土4、6などから布留式古相から中相段階のものと考えられる。

## 6 土坑出土遺物

#### 7SK020褐灰色土出土遺物 (Fig41)

##### 瓦質土器

擗り鉢 (1) 外面は指押さえて整形した後ナデを行っている。内面の擗り目は現状4本である。

#### 7SK045

出土遺物は布留式系土器を中心としたものである。時期は7SD100のものと同時期と思われ有機的関係が窺える。土器の器種、出土状態の傾向として

- ・破片資料が多い
- ・壺、壺などの雑器類が多い
- ・土器表面、胎土は荒れた状態のもの、煤けたようなものが多い (埋没環境などの違いか?)

などが挙げられ、精製器種を多く出土する7SD100とは様相を異にする。

##### 古式土師器

#### 7SK045暗茶灰色土出土遺物 (Fig41、写真図版37、38)

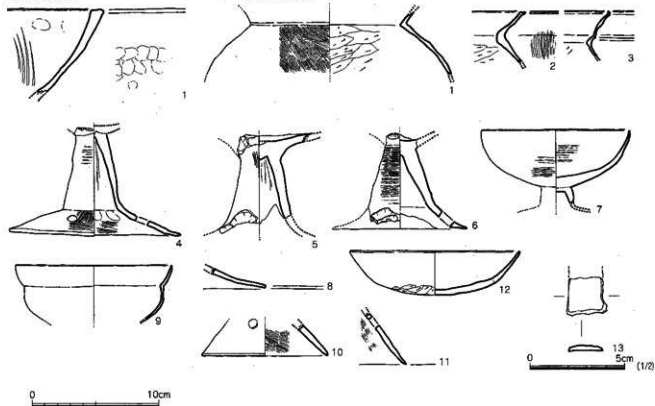
壺 (1、2) いずれも布留式系壺で、1は頸部から胴部の破片である。頸部内面の稜は鋭角で、直線的に伸びる口縁部を有すと考えられる。外面は、3段構成からなる指圧痕が顕著で、そのため器面には凹凸が残る。指圧痕の上から庄内式系の叩きを意識しているような刷毛が施される。2は口縁部破片で端部が沈線状に窪んでいる。頸部内面は厚手で直線的である。

二重口縁壺 (3) 山陰系のもので端部が上方につまみだされる。複合部の稜はゆるやかである。薄手である。

高坏 (4~8) 4は布留式系のもと思われる、細い柱状部をしている。脚裾部はやや長めでハの字に開く。穿孔部は裾部に存在する。精製土を使用している。5は胎土や調整から在地系のもと思われる。弥生土器のような広い坏部を有すものか。坏部接合部と脚裾部に打ち掻き痕が確認できる。6は在地系

7SK020 褐色土

7SK045 暗茶灰色土



7SK075 淡灰褐色砂質土

7SK075 暗茶灰色土

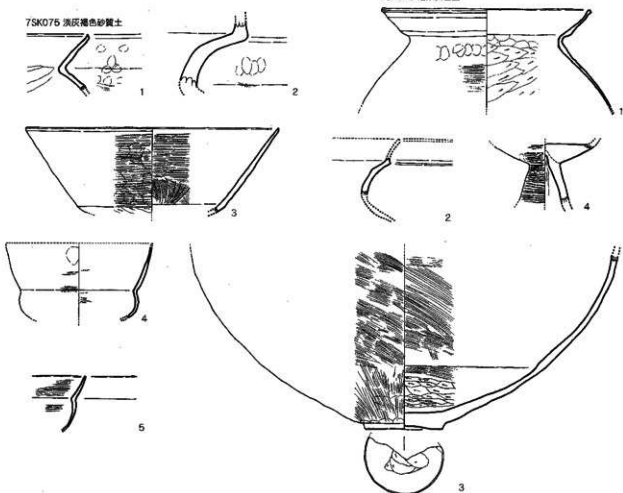


Fig41 7SK020・045・075出土遺物 (S=1/3、7SK045暗茶灰色土13(≠S=1/2))

のもので、外面に横方向のミガキが施される。胎土は石英粒を多く含み黒色をしている。脚裾部に打ち掻き痕がみられる。7は丸い碗型の坏部を有し、短い柱状部に低平な裾部が付くもので、庄内式系のものと思われる。磨滅で不明瞭だが横方向のミガキが施される。8は脚裾部で低平で長いタイプのもと思われる。

小型丸底壺 (9) 口径が胴部径より大きく、口縁部は短く内湾気味に伸びる。薄手である。

小型特殊器台 (10、11) とともに直線的に開き、内面には細かい刷毛が施される。

坏 (12) 全体に丸味を帯び、厚手のタイプである。口縁端部は丸く仕上げられる。表面は白茶色だが、胎土中心部分は黒灰色をしている。底部は手持ちヘラケズリが行われる。

#### 鉄製品

板状鉄製品 (13、写真図版45-121) 用途は不明の板状の製品である。木目などの付着物はみられない。

7SK075 (Fig41、写真図版38、39)

出土状態や器種は7SK045と同様な傾向がみられる。時期は7SK045と大差が無く布留式古相から中相段階にかけてのものと考えられる。

#### 古式土師器

7SK075淡灰褐色砂質土出土遺物 (Fig41、写真図版38-100)

甕 (1) 布留式系甕で口縁部はやや厚手で、直線的に立ち上がる。端部は上方につまみ出され、内面に段が付く。頸部は鋭角気味である。外面には指圧痕が残る。

二重口縁壺 (2) 大型の壺である。7SD100黒灰色土出土のものと同じようなタイプである。

高坏 (3) 布留式系の高坏で、深手の坏部を有し、外面には指圧痕が顕著にみられる。坏部下半はヘラケズリ調整が行われる。内面は下半部に斜方向の刷毛を施した後に小さく連続した放射状のミガキが行われる。また内外に横方向のミガキが施される。口縁部は直線的に伸び、端部は上方につまみ上げられる。

小型丸底壺 (4) 口径は胴部径より大きく、口縁部は丸味を持ち内湾しながら長く伸びる。外面は口縁部と胴部の接合部分で細かい刷毛が施され、その上から横方向のミガキが行われる。胎土中には金雲母が含まれ、精製土を使用している。

7SK075暗茶灰色土出土遺物 (Fig41、写真図版38、39)

#### 古式土師器

甕 (1) 布留式系甕で、口縁部は内湾しながら伸び、端部付近はナデのため外反し、玉縁状を呈す。なで肩気味で倒卵形の胴部をもつものと思われる。内面には指圧痕がみられ、上からヘラケズリが行われる。

壺 (2、3) 2は二重口縁壺の破片である。倒卵形の胴部を有すものと思われる。3は畿内第V様式系の壺の底部と考えられる。下膨れタイプの胴部を持つと思われ、胴部下半に最大径がくる。やや突出した平底を有し、底部外面はケズリによって上げ底状を呈す。外面は底部付近は縦方向の刷毛、胴部は斜方向の刷毛を施す。内面は一部ヘラケズリ痕が確認される。色調は茶白色を呈すが、胎土中心部分は黒色をしている。

高坏 (4) 在地系の脚部で、坏部と柱状部の境にはヘラケズリが行われる。外面は連続した横方向のミガキが施される。

小型丸底壺 (5) 口径が胴部径より大きいタイプで、口縁部はやや内湾をしながらく伸びる。外面の胴部と口縁部の境には細かい刷毛が施される。内面は横方向のミガキが行われる。胎土中には金雲

母を含み、精製土を使用している。

石製品 (Fig47、写真図版46-124)

砥石 (1) 泥岩製で、天草砥石か。表面に使用痕が観察される。

7SK150淡茶色土出土遺物 (Fig42、写真図版39)

古式土師器

甕 (1、2) 1、2ともに庄内式系の甕の胴部で球形を呈す。1は頸部から胴部の破片で外面に縦方向の刷毛で調整した後、左上がりの叩きを行っている。器壁は内面のヘラケズリにより薄く仕上げられている。頸部は短くやや丸味を帯びている。端部は欠損しているため不明である。胎土中の混入物には金雲母が微量に含まれる。色調は暗白色で、胎土中心部分は黒灰色をしている。2は叩きは右上がりである。金雲母を少量含み、淡茶白色をしている。外面には先の鋭いもので突いたような痕跡が確認される。この2つは形態、器壁の薄さなどから布留式古相段階のものと考えられる。

高坏 (3) 脚部破片である。精製土を使用し、白色を呈す。また、裾部には打ち掻き痕有り。

7SK150茶色土出土遺物 (Fig42、写真図版39-104)

古式土師器

高坏 (1) 脚部破片である。淡茶色土3と同じようなタイプである。胎土中には角閃石を微量に含み、白茶色を呈す。裾部には打ち掻き痕が確認される。

7SK173灰茶色土出土遺物 (Fig42)

須恵器

坏 (1) 口縁端部は欠損している。坏IVか。

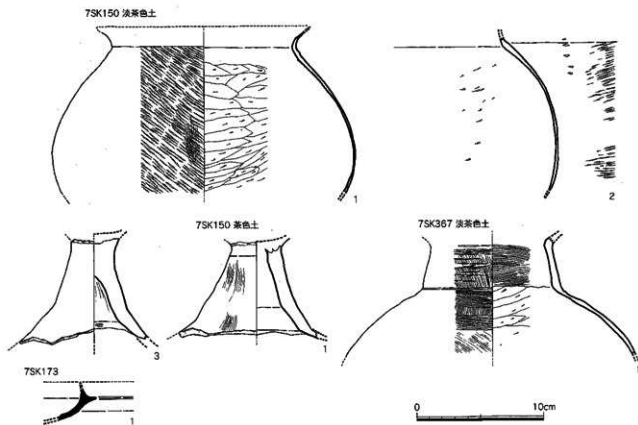


Fig42 7SK150・173・367出土遺物 (S=1/3)

7SK367淡茶色土出土遺物 (Fig42、写真図版39-106)

#### 古式土師器

二重口縁壺 (1) 畿内第V様式系の二重口縁壺の頸部破片である。なで肩気味で球形、もしくは下膨れタイプの胴部を有すものと考えられる。頸部外面は縦方向に刷毛を行った後、横方向の粗いミガキが施される。内面は粗い横方向の刷毛で調整される。刷毛は強い力で押されているため単位が明確にわかる。胴部は縦方向刷毛の横方向刷毛を行う。内面はヘラケズリで処理される。外面の胴部と頸部の境は沈線状に窪んでおり、ミガキも頸部のみしか施されていないため、頸部から口縁部を強調する意図が見受けられる。布留式古相段階のものか。

7SK403 (Fig43、写真図版40)

7SK403と後述する404からは主に布留式系土器が出土している。7SK045、075は雑器類が多いのに比べ、403、404は小型3器種が出土する割合が高かった。時期は7SD100と近く、布留式中相段階と考えられる。また、出土する土器から区画溝の前後で土坑を使用する目的が違うことが指摘される。

7SK403黒褐色土出土遺物 (Fig43、写真図版40)

甕 (1、2) ともに布留式系甕である。1は口縁部は内湾して立ち上がり、端部は丸く薄く仕上げられる。倒卵形のタイプを呈すものと思われ、器壁は全体的に薄い。2は薄く直線的に伸びる口縁部である。

壺 (3~5) 3は庄内系の二重口縁壺の口縁部で、端部は上方につまみ上げ気味である。複合部はやや突出しており、外面には細かい刷毛が行われる。4は広口壺の口縁部で、端部は外側に開く。5は山陰系の二重口縁壺の破片で、厚手で端部は肥厚する。

高坏 (6~11) 6は布留式系の高坏の坏部で深手である。口縁部は薄く直線的に伸び、端部付近は丸く内湾気味である。外面の稜は不明瞭で、全体的に丸味をもったような感じである。精製土を使用している。体部から口縁部にかけて煤が付着しており、内外面は被熱により表面が剥離している。7は小型の碗形の坏部を有すもので、台付鉢と考えられる。坏部下半はヘラケズリ、内面はナデで処理される。色調は赤味がかった乳白色を呈す。山陰系の影響を受けたものか。8は柱状部は短く、低平な脚裾部をしており、7SD100茶色土23と同タイプと思われる。精製土を使用し、色調は橙色を呈す。9は在地系のもので、坏部との接合部、脚裾部に打ち掻き痕が確認される。10は布留式系の高坏の柱状部で、エンタシス状を呈し、器壁は薄い。脚裾部と接合部に打ち掻き痕がある。11はワイングラス形の高坏の坏部と思われる。外面に指圧痕が観察される。

小型特殊器台 (12) 口縁端部は欠損している。脚部は直線的に広く開く。脚部内面は指押さえて整形した後、ラセン状に刷毛を施す。受部との接合部にはヘラケズリを施す。

7SK403出土遺物 (Fig43)

#### 古式土師器

小型丸底壺 (1) やや厚手で、口径が胴部径より大きいタイプで、口縁部は直線的に短く立ち上がる。

7SK404黒褐色土出土遺物 (Fig43、写真図版40~42)

#### 古式土師器

甕 (1~3) すべて布留式系甕である。1は口縁部は薄く、やや外反気味に直線的に伸びる。端部は内側と外側両面に突出し、上面は窪んでいる。胴部上位に最大径がくるタイプと思われる。2も端部は1とはほぼ同じ形態をしている。口縁部は直線的に立ち上がる。頸部は丸味を持つ。内面に指圧痕有り。3は口縁端部を上方へつまみ出す。頸部内面の稜は鋭角で、薄手である。

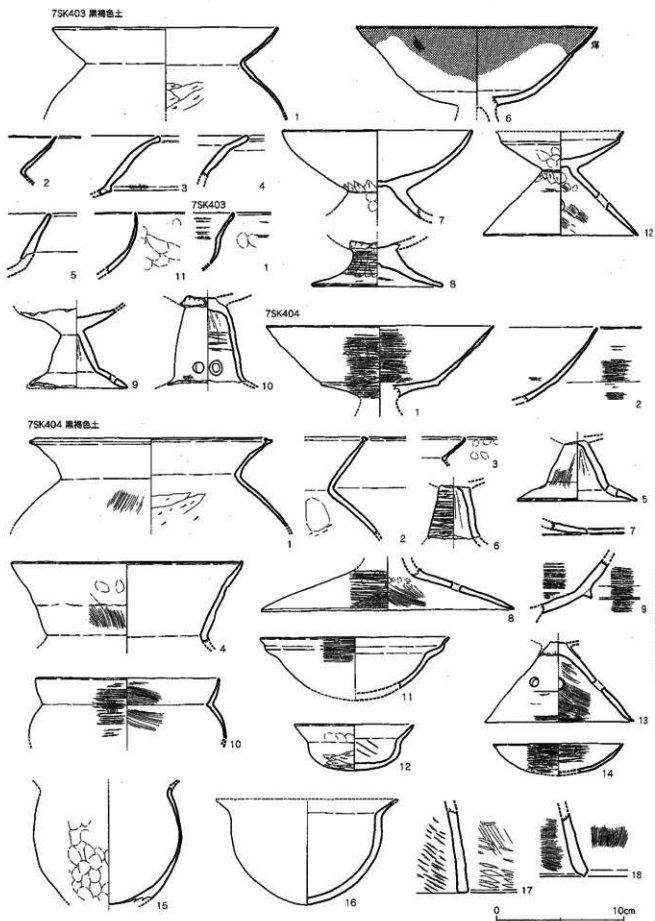


Fig43 7SK403・404出土遺物 (S=1/3)

広口壺 (4) 口縁部は指押さえのため凹凸があるが、直線的に伸び、端部は丸く上方へつまみ上げたと感じである。外面には縦方向の刷毛が施される。精製土を使用している。口縁部の形態から布留式系のものと思われ、7SD100に同タイプのもが出土している。

高坏 (5~9) 5は在地系のもので、柱状部は短く厚手である。6は在地系で、黒灰色を呈す。胎土全体にわたって同じ色調をしているため、黒灰色を出すため意図的な焼成を行ったと考えられる。外面には細かい横方向のミガキが施される。7は脚部で低平なタイプと思われる。8は低平に直線的に長く開くもので、碗型の坏部を持つものと考えられる。外面は縦方向の刷毛を行った後、横方向の細かいミガキが施される。内面は連続した斜方向の刷毛が行われる。9は高坏の坏部と思われる。丸味を持った器形で、器面全体に横方向の連続した細かいミガキを施す。外面には断面三角形の突帯が付く。胎土には長石が少量含まれ、角閃石も微量に存在する。焼成良好で、硬質である。全体色調は暗茶白色を呈すが、胎土内面は黒色をしている。

小型丸底壺 (10~12) 10は胴部径が口径より若干大きく、口縁部は短く内湾して伸びる。内面には斜方向の細かい刷毛が施され、外面には口縁部と胴部の境に細かい刷毛があり、その上から横方向のミガキを行う。11は屈曲口縁を有すタイプで、浅手の丸底の胴部に複合部が付き、端部は短く外反する。外面には横方向のミガキが施される。12は小振りのタイプで、器壁は厚く、胴部は直線的で、口縁部は外側に短く伸びる。外面底部付近はヘラケズリを行う。

小型特殊器台 (13) 小型特殊器台の脚部で、直線的にハの字に伸びるが、端部はやや外反気味である。3ヶ所に穿孔があり、焼成前に行われている。内面にはラセン状の連続した刷毛が施される。外面は磨減で不明瞭だがミガキの痕跡が観察できる。精製土を使用している。

坏 (14) 薄手で、浅く、シャープな器形をしている。底部はヘラケズリをした後、横方向のミガキを行う。内面はナダ後横方向のミガキで、精製土を使用して作られており、色調は橙色をしている。

#### 弥生土器

寛×壺 (15) 口縁部、底部を欠損する。下彫れの胴部を有し、中央付近で最大径がくる。内面ナダ、外面は指圧痕が顕著で、その上からナダを施す。精製土を使用し、白茶色を呈す。7SK150出土の高坏と同様の色調をする。

鉢 (16) 短く屈曲する口縁部を有し、やや尖り気味の底部をもつ。内外面はナダを施す。胎土は石英を多く含み、色調は淡茶白色を呈す。

器台 (17, 18) ともに器台脚部で17は内外面に叩きが、18は内面横刷毛、外面縦刷毛が行われる。17の端部は水平、18は尖り気味である。弥生終末段階のものと思われる。

7SK404出土遺物 (Fig43、写真図版42-113)

#### 古式土師器

高坏 (1, 2) ともに布留式系の高坏で、1は坏部で、坏部下半と体部の境には段があり、体部から口縁部は直線的に薄く伸びる。体部中央部分には指圧痕が顕著でその部分は器壁が薄くなっている。調整は、内面は底部に放射状の刷毛があり、外面には斜方向の刷毛が行われる。その上から内外面とも横方向のミガキが行われる。2は坏部破片で深手で丸味を持つタイプである。外面には横方向のミガキが施される。

## 7 焼土坑出土遺物

焼土坑からは殆ど遺物が出土しておらず、時期決定できるような状態ではない。図示したものは掘削、もしくは埋没過程で周辺から流入したものである。大まかな傾向を知るための資料として掲げる。

#### 7SK130暗茶灰色土出土遺物 (Fig44)

須恵器

甕×壺 (1) 胴部の破片で、外面叩き、内面ナデを行い、同心円状のスタンプ痕を擦り消している。

#### 7SK130黒灰色土出土遺物 (Fig44)

須恵器

甕×壺 (1、2) とともに胴部の小破片で、外面叩き、内面ナデで同心円状のスタンプ痕を擦り消している。

#### 7SK130淡黒灰色土出土遺物 (Fig44)

坏蓋 (1) 蓋口縁部の破片で、端部には沈線状の段がみられ、体部との境は小さく突出している。丸く、深手のタイプで、小田須恵器編年Ⅰ～Ⅱ期に該当すると思われる。

#### 7SK182黒灰色土出土遺物 (Fig44)

須恵器

甕 (1) 大甕の頸部で、外面に樽描き波状文が施文される。内面下半から胴部に移行する部分にはヘラケズリを行い、その後全体をナデで仕上げている。ナデは一律でなく回転ナデ、縦方向のナデとやや入り組んでいる。色調は暗灰色を呈す。

#### 7SK238灰茶色土出土遺物 (Fig44)

焼土塊 (1、2) とともに壁面に付着していたものが崩落したものである。スサなどの植物繊維の混入は無く、胎土中に石英を多く含んでいることから土坑の壁面が被熱により変化したものと考えられる。人為的に作られたものではない。表面は火に近い方から、暗赤茶色→淡黒灰色→暗黄褐色と色調が変化しており、中心(淡黒灰色)は還元した箇所と考えられる。

### 8 墳墓出土遺物

#### 7ST200出土遺物 (Fig45、写真図版44)

鉄製品

鉄釘 (1～21) 完存しているものは無く、全て欠損している。1、10、18、21などの断面形態から角釘である。14は板状のものを転用し釘として使われた可能性がある。木目が付着しているものが多くみられ、そのうち15は繊維の方向が縦と横の2方向に分かれ棺の小口部分などの接合部に使われたと考えられる。

鏃 (22) 毛抜きの手柄部分で、Uの字状を呈す。

鉄鏃 (23) 鉄鏃を折り曲げるか、または別の鉄製品を繊維質のもので結びつけている。前田遺跡4次調査SK109(土坑)から同じ形態をする鉄鏃が出土しており、時期は7世紀末から8世紀初頭頃とされており、同時期の可能性が高い。

刀子 (24、25) 24は刀子の中子部分か。25は大型で、刃部は長さ5.6cm、厚さ0.5cm、柄の部分は長さ9cm、厚さ1cm前後を測る。断面形態は切先部は三角形、柄の部分は楕円形をしている。柄と思われる箇所には木目が付着している。また、刃部が細くなっていることから研ぎ減りしている可能性がある。

#### 7ST200暗茶褐色土出土遺物 (Fig45、写真図版44-120)

鉄釘 (1) 鉄釘の破片で、木目が付着する。

### 9 その他の遺構出土遺物

#### 7SX140褐色土出土遺物 (Fig44、写真図版42)



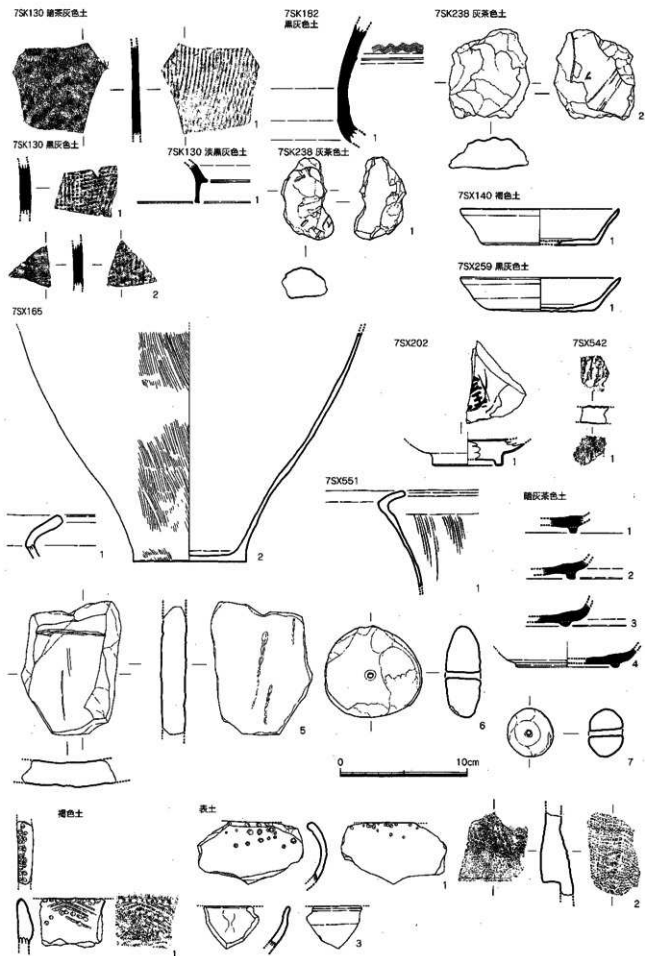


Fig44 7SK130·182·238·7SX140·165·202·259·542·551  
暗灰茶色土·褐色土·表土出土遺物 (S=1/3)

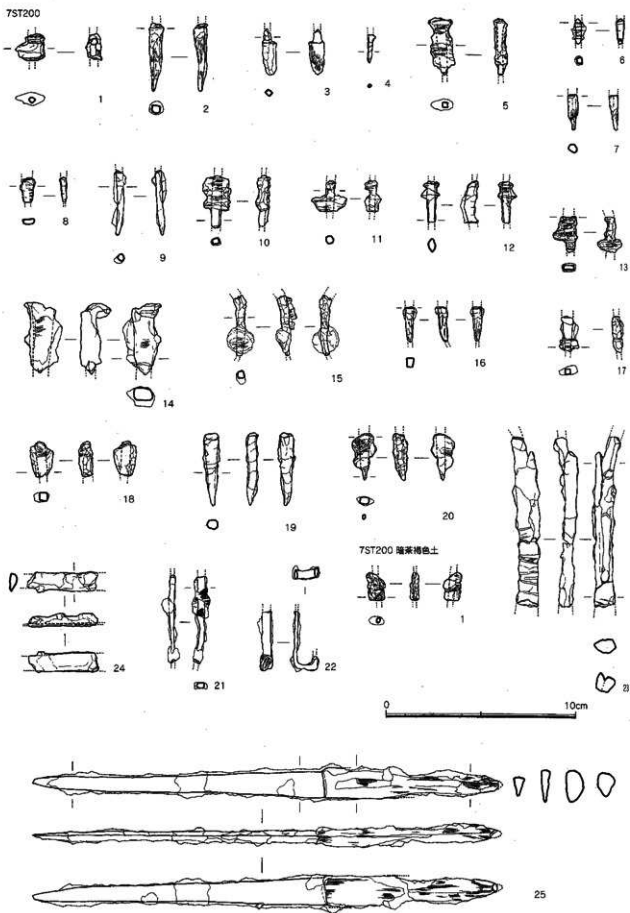


Fig45 7ST200出土遺物 (S=1/2)

#### 土師器

坏a (1) 体部中位から口縁部にかけて、やや内湾して伸びる。底部は糸切り。口径12.6cm、器高2.85cm、底径9.3cmを測る。13世紀後半以降のタイプと考えられる。

石製品 (Fig47、写真図版46-124) (1) 石砲丁で、石材は立岩産の輝緑凝灰岩を使用している。穿孔は回転によるもので、器面には線条痕が観察できる。

75X142出土遺物 (Fig46、写真図版45-121)

#### 鉄製品

鉄鎌 (1) 長さ5.2cm、幅1.5cm、厚さ0.4cmを測る。残存良好である。

75X165出土遺物 (Fig44、写真図版43-115)

#### 弥生土器

甕 (1, 2) 1はくの字に屈曲する口縁部で、端部は肥厚している。2は1と同一個体で、底部は完全な平底で、角が鋭角である。胴部中位に最大径がくる。外面は縦方向の刷毛が施される。器壁は薄い。弥生後期前半ものと考えられる。

75X202出土遺物 (Fig44、写真図版42-114)

#### 龍泉窯系青磁

碗 (1) 碗I類の高台部で、見込み部分に「金玉清堂」の印が押される。胎土は淡石灰色、釉調は深緑色を呈す。12世紀中頃から後半のものである。

75X259黒灰色土遺物 (Fig44、写真図版43-116)

#### 土師器

坏a (1) 体部中位がやや窪み、やや外開きの器形をする。底部は糸切りの上に板状圧痕が付き、調整は底部内面が不定方向ナデ、その他は回転ナデを行う。口径12.6cm、器高2.7cm、底径8.45cmを測る。13世紀後半以降のものか。

75X307出土遺物 (Fig46、写真図版45-121)

鉄製品 (1~8) 1~7は鉄釘の破片である。8は棒状の製品で湾曲する形をすると思われる。

75X307灰色砂質土出土遺物 (Fig46、写真図版45-121)

鉄製品 (1) 棒状の製品で鉄鎌か。

石製品 (Fig47、写真図版46-123)

石鎌 (1) 挟りの浅い石鎌で、側面の加工は繁雑である。安山岩製。

75X337出土遺物 (Fig47、写真図版46-124)

ガラス玉 (1) 暗青色をし、穿孔部には平坦面がある。表面には気泡が観察できる。

75X406出土遺物 (Fig47、写真図版46-124)

石製品 (1) UF。腰岳産の黒曜石で細かい剥片に使用痕が観察される。

75X496出土遺物 (Fig47、写真図版46-123)

石製品 (1) 安山岩製の石鎌で、全体を加工している。片側側面には微細剥離有り。

75X506出土遺物 (Fig47、写真図版46-123)

石製品 (1) 腰岳産の黒曜石で作られる石鎌で、三角形を呈す。剥離面は大きく、粗い。

75X513出土遺物 (Fig47、写真図版46-123)

石製品 (1) チャート製で、側面に微細な加工痕があるため石鎌の未製品と判断した。RFの可能性も考えられる。色調は暗茶色をする。

75X542出土遺物 (Fig44)

瓦 (1) 瓦破片で外面格子叩き、内面に布目痕を残す。

7SX551出土遺物 (Fig44) 7SI205下層で検出した溜まり状の遺構で付帯施設か。

弥生土器

甕 (1) 口縁部が短く、くの字に屈曲する。外面は縦方向の刷毛を施す。弥生後期前半頃のものである。

## 10 表土出土遺物

土器・陶磁器 (Fig44、写真図版43-118、45-122)

弥生土器

壺口A1 (1) 弥生後期の複合口縁壺で、袋状を呈す。器面には、焼成前に工具で刺突した痕が観察される。貫通はされていない。

瓦製品

軒丸瓦 (2) 須恵質の胎土で、明青灰色を呈す。外面縄目叩、内面は布目痕を残す。

国産陶器

天目茶碗 (3) 黄色の軟らかい胎土で、茶色の釉がかけられる。瀬戸産の可能性有り。

金属製品 (Fig46、1~6)

1、2は鉄釘で1は釘の頭の部分で、丸く潰されている。2は破片。3は棒状の製品で平たい棒状を呈す。刀子の中子と考えられる。

4は不明で、断面を観察すると、薄い板状のものを上から別の鉄板が包んだ状態である。柄のようなものか。5は鉄鏃で先端は欠損しているが、装着部がわずかに残存している。6は不明銅製品。匙状を呈す。非常に薄く、最大厚で0.2cmである。断面は湾曲している。全体に細かい線条痕が確認できる。先端部は欠損している。

石製品 (Fig48、写真図版47-126)

石鏃1~8のうち1~3、5、7は黒曜石製、4、8、9は安山岩製、6はチャート製で、また5は未製品である。石鏃すべてに共通することは、側面の加工は片側を細かく剥離し、一方はやや大きな剥離を残している。9は削器で剥片の側縁にやや細かい連続的な調整を行って、刃部を形成している。10、11からは規則性は見受けられず、剥離の仕方も大きいため剥片採集のための石核と考えられる。10は針尾島産の黒曜石で、上面には細かい打痕が残る。11は安山岩製で3ヶ所に大きな剥離がみられ一部に自然面を残す。12は安山岩製の縦長剥片の側縁を1ヶ所連続的に加工している。15、16、17は砥石で器面に線条痕が観察できる。15はもろい泥岩で天草砥石と思われ、16は砂岩製で、線条痕の他に掻いたような痕が残る。17は砂岩製で表面があばた状に窪んでいる。14は立岩産の輝緑凝灰岩を使用した石庵丁で、刃部は刃こぼれのため欠けている。13は滑石製の石製紡錘車で、穿孔部に周辺に打痕が残る。

## 11 褐色土出土遺物

土器 (Fig44、写真図版43-118)

縄文土器 (1) 深鉢の口縁部である。晩期のものか。

鉄製品 (Fig46、1、2、写真図版45-122)

1は板状製品で、木目が付着しており、刀子などの中子の部分か。2は鉄釘の破片である。

石製品 (Fig48、写真図版47-125)

1は黒曜石製の石鏃で抉りの深いタイプで、片側側縁部は細かく調整を行う。2は緑色片岩を加工した

方形石製品だが用途は不明である。磨いた痕跡があり、表面は滑らかである。3は緑色片岩を用いた打製石斧で、側縁部を数カ所打ち掻いている。4は安山岩製の石匙で剥片の側辺を連続的に調整を行っている。5は緑色片岩製の扁平両刃石斧で、磨きにより側面の稜を丁寧な面取りし、全体に丸味を帯びた形態をしている。刃の部分は細かい線条痕がみられ、沈着物がある。縄文的様相を持つ。

## 12 暗灰茶色土出土遺物

土器、土製品 (Fig44、写真図版43-117)

1~4は須恵器坏cで、8世紀中頃以降のものである。5は軒平瓦で、調整は器表面磨滅で不明瞭である。6、7は円形、球形の土錘で、6には器面に細いキズが有り使用時の痕跡と考えられよう。

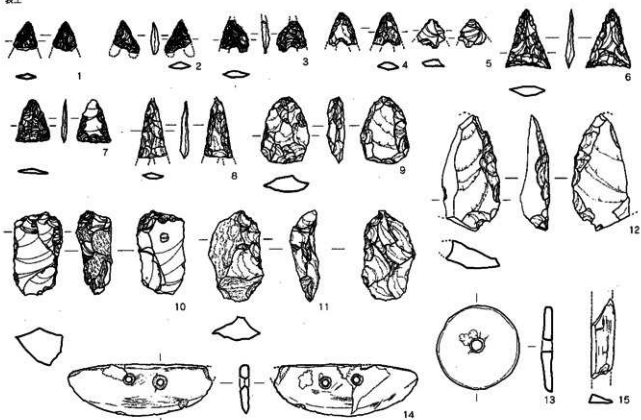
石製品 (Fig48、写真図版47-125)

1、2は黒曜石製の石鎌で先端部と柄部付近を欠損している。2は柄に至る微調整などは行っていない。3は石庖丁で立岩産である。穿孔部は回転式で、刃部は刃こぼれしている。

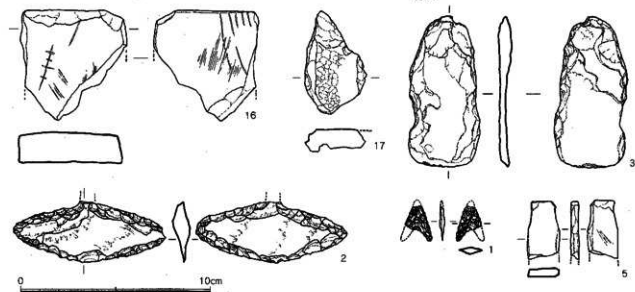




表土



褐色土



暗灰茶色土

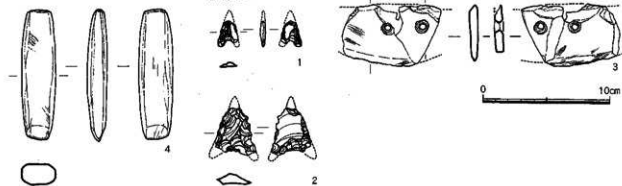


Fig48 表土・褐色土・暗灰茶色土出土石製品 (S=1/2、表土14、褐色土3、暗灰茶色土3はS=1/3)



## 第4章

### 1 殿城戸遺跡7次調査の小结

#### 立地環境

殿城戸遺跡7次はFig1の調査区周辺の旧地形図を見ると、天拝山から派生する丘陵の裾部にあたり、平野部の最も奥部分に位置している。また、谷部から平野部へと展開する地形の変化するところでもある。北側には古墳時代初頭の宮ノ本遺跡、東側には古剣塚古墳群が存在する。

#### 弥生時代中期

中期の遺構として7SI175、235が挙げられる。出土遺物から二つとも須玖Ⅱ式の段階（中期後半～後期初頭）に相当すると考えられる。佐野地区ではこの時期の遺構は少なく、隣接する殿城戸2次調査や脇道6次調査で円形住居が確認されている。

#### 弥生時代後期から古墳時代初頭

この時期の遺構は掘立柱建物を中心にして展開する。7SB215、225、240、245、7SD105、7SK150、7SX165が挙げられる。7SB215、225は出土遺物が無いため明確には時期の決定をしにくい、布留式系土器が出土する7SB240、245と建物形態や軸方向が類似することから当該期のものと判断した。ただし建物の位置関係が近接することを考えると215、225と240、245の中でもやや時間差があるものと思われる。7SD105は本調査区から南側の殿城戸遺跡6次調査区へと延びてゆく。土器が出土していないため時期は不明だが、7SK045、075との切り合い関係から布留式土器が出現する以前のものである。7SK150は調査区の南端に1基単独で検出される。土層観察から一度掘り返しが認められ、この掘り返しの埋土中からは庄内式系甕破片と弥生の要素を含む高坏脚が出土している。高坏脚は脚裾部に打ち掻きの痕跡があり、祭祀行為を行ったのち廃棄されたと考えられる。7SX165は用途不明の埋臺遺構である。口縁部の形態から弥生後期前半頃のものと思われる。

#### 古墳時代初頭

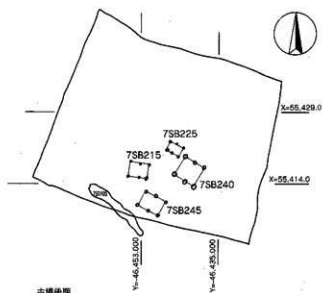
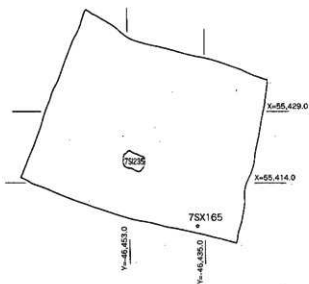
この時期の遺構には、7SB210、7SI160、185、190、205、7SD100、7SK045、075、367、403、404がある。方形区画溝7SD100を中心に掘立柱建物、住居、土坑が展開する。7SB210は立地する位置や主軸の方向から100の内部施設の可能性が高く、平面形状や柱掘り方から考えると小規模な建物であることが推測できる。住居の185、190は、100の東辺溝ラインを基準として構築したような配置の状況を示す。土坑は7SD100の周囲四隅を意識して構築されている。特に7SK045・075は区画溝と距離を置かず並行するように造られている。各土坑の出土土器を見ると、7SK045・075から出土する土器は甕、壺等の日常雑器が多く、7SK403・404は高坏、小型特殊器台、小型丸底壺など祭祀的要素をもった土器が多く出土している。このことから土坑の使い分けが行われていた可能性が考えられる。ただ、これら土坑群から出土する土器は、土層観察から土坑が埋没する過程で廃棄されたと考えられ、初期には土器廃棄がおこなわれておらず、土坑を構築する当初の目的については不明であり今後の課題である。

#### 古墳時代後期

住居のみで構成される。7SI155、170、180、195は出土する土器よりすべて6世紀初頭前後には埋没しており、従って、住居として機能していたのは5世紀後半から6世紀初頭頃と考えられる。また、調査区北側に堆積する遺物包含層の暗灰茶色土からは、内面の当て具痕をナゲ消した須恵器の甕の破片が多く出土している。東側に隣接する殿城戸2次調査や脇道遺跡3次、6次調査でも5世紀代の住居が確認されており、本調査区周辺には当該期の集落が存在している可能性がある。

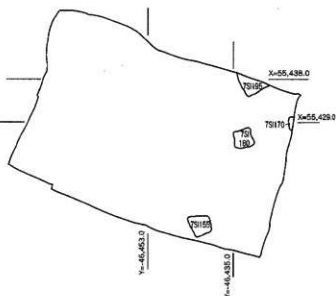
#### 奈良、平安時代

検出した遺構は7ST200のみで、この遺構は平安時代に位置付けられる。南側に隣接する殿城戸6次調査では9世紀初頭の火葬墓が確認されており、この丘陵裾部が平安時代には墓域として認識されていたと考えられる。今回の調査で骨片は出土しなかったが、焼土坑が丘陵裾部にあることは火葬墓の存在と併せて考えれば示唆的であり、今後の問題となる。また、本丘陵で行われる造墓が大宰府レベルか在地レベルのものかも今後の課題である。



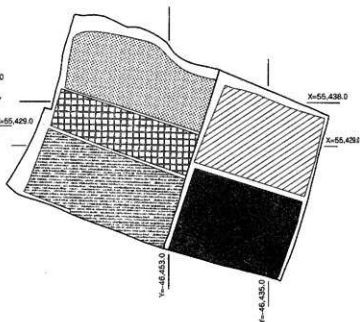
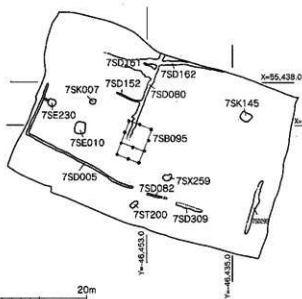
古墳初期

古墳後期



奈良時代、中世

調査前の水田区劃



0 20m

Fig49 殿城戸7次遺構変遷図 (S=1/800)

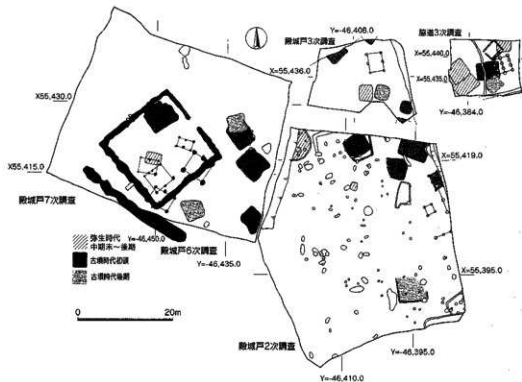


Fig50 殿城戸7次及び周辺調査状況 (S=1/800)

中世 (13世紀後半以降)

現在の水利を主体とした土地利用の基盤ができた時期である。掘立柱建物と井戸、溝群で構成されるが、7SB095と溝群 (7SD005、080、152、161、162、299) との新旧関係は不明瞭である。しかし現代の土地利用の在り方から掘立柱建物が廃絶した後、溝が構築され水田化していった可能性が考えられる。

殿城戸遺跡7次調査区は、弥生時代中期末から人が生活し始めるようになるが、この時期は丘陵頂部に集落主体が展開するが、南側の丘陵地 (殿城戸6次調査区) は削平を受けているため中心となる部分が分からなかった。当該期の遺構の希薄さから殿城戸7次は集落の中核部でなかったことは認識できる。7SI175、235から出土する遺物中には赤色顔料が塗布されたものがみられることや出土遺物の量の少なさ、住居の規模 (特に7SI235) から判断すると、この2基の住居は日常的に使用されたとは考えがたい。弥生時代終末から古墳時代初頭頃になると掘立柱建物群が構築される。周辺の地域では (尾崎、脇道遺跡)、この時期の集落は主に竪穴式住居で構成されており、周囲の状況とはやや様相が異なる。方形区画溝7SD100はこの掘立柱建物群を壊して築かれる。7SD100と同時期の土坑群 (7SK045、075、403、404、7SI160) から出土する土器は布留式系のもを中心としている。高坏や小型丸底蓋などの多くは赤色を呈し、精製土が使用されている。また、在地的要素と布留式系の要素の二つを加味した土器もみられ、新しい情報を持った人々に次第に浸透されていった状況が窺える。次にやや時間的空白をおいて、古墳時代後期には3基の住居が出現し、周辺調査とあわせると小規模な集落を形成されていたことが推測される。平安時代には、墓が造られ本調査区は墓域として利用され、中世以後は耕地化していく。

## 2 方形区画溝7SD100について

古墳時代初頭の集落は、区画溝7SD100を中心として展開していると考えられる。尾崎遺跡、脇道遺跡など過去の周辺調査の所見と照らし合わせると、区画溝7SD100は古墳時代初頭の集落の最奥部に立

地している。また、各住居の平面プラン、方向は7SD100と類似している。本調査区での住居の配置は7SD100の東辺溝のラインに揃えたような状態で構築されている。これらのことから住居と7SD100との間に有機的關係が存するものと思われる。

7SD100の内部空間には南東隅に掘立柱建物の確認される。古式土師器の坏（布留式併行段階）が出土していること、主軸の傾きなどから7SD100に付随する可能性がある。規模は2間×1間で各柱間は南北2.4m・2.1m、東西4.4mを測る。小規模であることから居住空間とは考えにくい。また、掘立柱建物の西側は遺構密度が少なく広場として利用されていたと考えられる。

7SD100の周辺には杭痕、欄列など外部と隔絶するような明確な施設は無く、北側の陸橋部にも遮蔽するような施設は存在しない。このことから、7SD100内部と外部（集落）を区別するものは溝だけであり、陸橋部を通じて自由に往来ができ、外部からは容易に内部の様子が窺える。

7SD100から出土する土器は殆どが布留式系、山陰系の影響を受けた古式土師器片ばかりである。小型丸底壺、高坏、小型特殊器台、坏など祭祀的要素を含むものが多く、甕、壺の雑器類は少量である。個別に見れば、東辺溝では精製器種が、西辺溝からは雑器類が多く出土する傾向にある。南辺溝中央付近からは布留式系甕、高坏、在地の大型二重口縁壺（山陰系）がまとめて、一括性の強い状態で出土している。この部分の埋土にのみ炭化物を含んでおり火を用いた祭祀の様相が認められる。大分県日田市の小迫辻原遺跡で確認された1号方形環濠では、溝廃絶時に祭祀が行われたと報告されている。本遺構とは遺物の出土量や遺構の規模に差があるため直ちに共通の要素を求めることはできないが、7SD100でも南辺溝で土器が一括して出土していることや東辺溝のコーナー付近に高坏や小型丸底壺などの精製器種が廃棄されている状況から祭祀が行われた可能性は考えられる。（土器の大部分は、溝が埋没する過程で廃棄されたものであることを留記しておく。）

以上のことから7SD100の性格を考えると、溝から出土する遺物の量が少ないこと、精製器種を中心にして遺物が構成されていることなどから日常的に使用されていたとは考えにくい。また、溝内部の建物の規模が小さいこと、欄や杭列など周囲の住居群と断絶性を図る施設が認められないことから居館の可能性は低いと思われる。立地状況、住居群との関連、区画施設の開放的形態、居住空間としての希薄性から、7SD100は古墳時代初頭の集落部分とオープンスペース（公共的な広場）との境界を目的として築かれたと考えられる。

#### 参考文献

『小迫辻原遺跡』A・B・C・D区編 大分県教育委員会（1999）

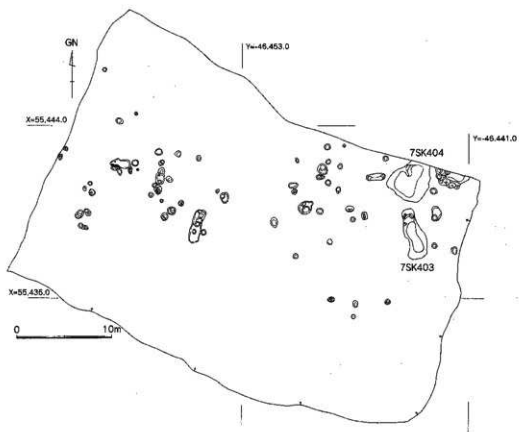


Fig51 暗灰茶色土下層遺構全体図 (S=1/200)

原城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (1)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
1	7SK001	土坑	茶色ブロック土		13c後半～	E15
2	7SD002	溝	淡灰色土		近世～	I14
3	7SD003	溝	灰色砂→淡灰色土		近世～	J14
4		溝×溜まり状遺構			弥生～	L14
5	7SD005	溝	黒灰色土→黒灰色砂状土→灰色土→灰色砂→灰褐色土	100・524→5→528	13c～	H17
6		小穴			近代	G16
7	7SK007	土坑			中世	K15
8		小穴				F16
9		小穴				K14
10	7SE010	井戸	灰褐色粘質土→明灰色粘土→灰黒色粘質土→暗灰茶色粘質土→暗灰青色粘質土→黄灰色ブロック土→黄色ブロック土→暗灰色砂質土→灰色砂質土→灰褐色砂質土→灰色砂→黒灰色粘質土 (=暗灰青色粘質土)	10→110→2	13c後半～	J16
11		小穴				L15
12		小穴				K14
13	7SX013	小穴	淡灰色土		近世～	I15
14		小穴				I15
15		溜まり状遺構	暗灰色土→暗灰褐色土→黄色土	15→16	奈良～	K14
16		溜まり状遺構	黄色土			K14
17		溝	淡褐色土→灰色ブロック土		近代～	M14
18		溝	灰褐色砂質土		近代～	M15
19		小穴				I15
20	7SK020	小穴	褐灰色土		?	L15
21		小穴				L15
22		小穴	暗灰色土	S-15と同一遺構か		J14
23		小穴				古墳初頭
24		小穴				L14
25		溜まり状遺構	灰褐色土→暗灰色土	25→15		K14
26		小穴				L16
27		小穴		27→5		H15
28		溝か	灰黄色ブロック土	31→28		H15
29		小穴				K14
30		溜まり状遺構	暗灰色土	30→15		K14
31		土坑×溜まり	黄色土	31→28		H15
32		溝状遺構×溜まり	黄灰色ブロック土			J15
33	7SB095f	小穴				H14
34		小穴	淡茶色土	105→34		E14
35		溜まり状遺構				K14
36		小穴				F14
37		小穴		37→5		G14
38		小穴				F15
39		小穴				E13
40	7SK075	土坑				古墳初頭
41		小穴	茶褐色土→茶褐色土(柱状)→淡茶灰色土	100→41		F13
42		小穴	褐色土			H15
43		小穴	褐色土	43→42		H15
44	7SK044	小穴	褐灰色土→淡灰茶色粘質土	100→44		古墳初～
45	7SK045	土坑	黄灰色土→暗茶灰色土	45→75		古墳初頭
46		小穴				H13
47		小穴				G15
48		小穴		48→5		G14
49		小穴				D12
50	7SK050	土坑	茶色土	105→50		E14
51		小穴				E12
52		小穴				D12
53		小穴				D12
54		小穴		95→54		J13
55	7SD100		黒灰色土→茶色土	土器兼中		古墳初頭
56		小穴	暗褐色土			F12
57		小穴	暗褐色土			F12
58		小穴	暗褐色土			F12
59		土坑×小穴				不明

般城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (2)

S-番号	遺構番号	遺構性格	地積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
60	7SK060	焼土坑	炭層→灰茶色土→暗灰茶色土		弥生～	E13
61		土坑	暗褐色粘質土			G13
62		小穴		95・98→62		H12
63		小穴		95→167→63		H12
64		小穴				G12
65	7SD100		褐灰色土		古墳初頭	G14
66		小穴				G12
67		小穴				G12
68		小穴				E13
69		小穴	淡褐色粘質土			G13
70	7SK070	土坑	淡黄灰色土			I12
71		小穴	褐灰色土	95 k		H13
72		小穴				F12
73		小穴				H13
74		溝×溜まり	暗灰茶色土	100→74		I13
75	7SK075	土坑	淡黄灰色土→暗灰茶色土→淡灰褐色砂質土	45→75	古墳初頭	F15
76		小穴				E13
77	7SB095c	小穴		77→3	13c後半～	I12
78		小穴				H12
79		溜まり	灰色ブロック土	100→79		D11
80	7SD080	溝	淡灰色土→暗灰色土→褐色土	80→17.80→168.80→3 暗灰茶色土→80	中世後期～	J13
81		小穴				D11
82	7SD082	溝	灰褐色土	135→82→109		F11
83		土坑	灰色ブロック土			C11
84		小穴				D11
85	7SK085	土坑	赤茶色土→灰色土			E11
86		小穴	茶色土	86→81		D11
87		溜まり	明灰色砂	3→87		I11
88		小穴				I11
89		溝	灰色砂	194・208→89		H11
90		小穴	暗灰茶色土	140→90		J11
91		小穴	暗灰色土			I11
92		小穴		140→92		K11
93	7SB095a	小穴	黒灰色土		13c後半～	J11
94		小穴				G11
95	7SB095	掘立柱建物	暗灰茶色ブロック土→柱直→黒灰色土	140→95.205→95	13c後半～	J12
96		溜まり	褐色土	103→96		G11
97		小穴		271→214→97		G11
98		溜まり	淡褐色土	62→98		H12
99		小穴	暗灰茶色土	135→99		G11
100	7SD100	方形区画溝	(東溝) 明茶色土→茶色土、(北溝) 淡茶色土→茶色土、(北溝) 灰茶色土→茶色土、(西溝) 茶色土→暗灰茶色土、(南溝) 黒灰色土→炭層→茶色土		古墳初頭	D11～
101		溜まり	灰色砂質土			I12
102		小穴				I11
103		土坑	赤茶色土	135→103	近世～	G11
104	7SB095b	小穴				I11
105	7SD105	溝		105→45.75	弥生～	C11～
106		小穴		284→106		H11
107		溜まり×溝		135→107		E11
108		溜まり×溝		100→108		D11
109		小穴		135→109		F11
110	7SK110	土坑	青灰色ブロック土→暗灰色砂質土→暗褐色土	10→110→2	奈良?	J16
111		小穴				H11
112		小穴		284→112		I10
113		土坑×溜まり	淡灰茶色土	284→113		J10
114		小穴				H10
115	掘立柱建物	暗灰茶色土			近世～	M13
116		小穴		116→103		G11
117		溜まり	灰褐色砂質土			H10
118		小穴				H10
119		小穴				H10
120	7SK120	焼土坑	暗灰色土			L9

殿城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (3)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
121		小穴	淡茶色粘質土			H10
122		溜まり	褐色土	284 → 122		J10
123		小穴				H10
124		溝状遺構	褐色土→褐灰色土	259 → 124		F10 ~
125	7SK125	焼土坑	茶灰色土→暗灰色土		中世?	K8
126		小穴		126 → 124		F10
127		溝	明灰色砂			J10
128	7SK128	土坑	黒灰色土			H9
129		小穴	暗灰色土			H9
130	7SK130	焼土坑	暗茶灰色土→淡黒灰色土→黒灰色土→暗褐色土→褐色土			L9
131		小穴				H9
132		小穴	暗灰色土			I9
133		小穴				H10
134		小穴	灰褐色土		12c 中~	H10
135		溝	灰白色土	100 → 135		D11 ~
136		小穴				I5
137		小穴	淡茶色粘質土			K14
138		小穴				K14
139		溜まり状遺構		17 → 139		M13
140	7SX140	遺物包含層	褐色土	284 → 140	13c 後~	J11 ~
141		小穴		7 → 141		K15
142		小穴		7 → 142		K15
143		溜まり	褐色土			L13
144		溜まり	灰色砂質土	暗茶褐色土→144	近代	N13
145	7SK145	土坑	茶灰色土 (茶褐色土 + 灰黒色土) → 茶褐色土 + 灰黒色土 → 暗茶褐色ブロック土 (灰黒色土) → 灰黒色土		中世	K4
146	7SB115e	小穴		115e		N13
147		包含層	暗茶褐色土			N12
148		小穴				F15
149	7SD149	溝	淡茶色粘質土→暗茶褐色シルト質土→暗茶褐色土	暗茶褐色土→149→151・161	中世~	P14
150	7SK150	土坑	淡茶色土→茶色土→灰褐色土		古墳初頭	B7
151	7SD151	溝	灰茶色土	149 → 151	中世後期~	P13
152	7SD152	溝	暗茶褐色土	152 と 80 は同一遺構か	中世後期~	M13
153		溜まり	暗茶褐色土	159 → 153		N12
154		溜まり				N14
155	7SI155	竪穴住居	暗茶褐色土→淡茶色ブロック土→茶灰色ブロック土→茶褐色土	548 → 155 → 309・316	古墳後期	D8
156		小穴群	暗茶褐色土	暗茶褐色土→156		N12
157		小穴	暗茶褐色土	暗茶褐色土→157		N13
158		小穴	暗茶褐色土	暗茶褐色土→158	12c 中~	M13
159		小穴	暗茶褐色土	159 → 153		M13
160	7SI160	竪穴住居	茶褐色土→黒灰色土→淡茶褐色土→淡茶色土→褐色土	160 → 364・317	古墳初頭 遺没	C4
161	7SD161	溝	茶灰色粘質土→暗茶褐色土	301・178・174・202・181 →161 → 164・166	古墳後期	M11
162	7SD162	溝	淡茶色粘質土→茶色粘質土→茶灰色粘質土→暗茶褐色土	暗茶褐色土→169 → 162 → 168	古墳後期	O10
163		小穴群		162 → 163		O12
164		小穴		161 → 164		O13
165	7SX165	坂遺遺構	灰褐色土 (= 褐色土)		弥生後期	C6
166		溜まり	褐色土	161 → 166		O15
167		不明				
168		溝		162 → 168		O11
169		小穴	暗茶褐色土	169 → 161		O12
170	7SI170	竪穴住居		170 → 337・392	古墳後期	K1
171		小穴		暗茶褐色土→173 → 171		N12
172		小穴		暗茶褐色土→173 → 172		N13
173	7SK173	土坑	灰茶色土→暗茶褐色土	173 → 171・172	中世後期	N12
174		小穴		暗茶褐色土→174 → 161		O12
175	7SI175	竪穴住居	黄白色土→黒灰色土→黄灰色ブロック土→暗灰色土→茶灰色土→茶色土 (= 暗灰色土)	421 → 175 → 297・306・328・412・392	弥生中期 末~後期 初頭	K3
176		溜まり×溝	暗茶褐色土	暗茶褐色土→176		N14



豊城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (4)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
177		小穴	暗灰茶色土	暗茶灰色土→177		M12
178		小穴		暗茶灰色土→178→161		O13
179		小穴	暗灰茶色ブロック土			O11
180	7SI180	竪穴住居	茶灰色土→赤茶色土	185→180	古墳後期	J5
181		小穴	暗灰茶色土	181→161		O11
182		小穴×土坑	黒灰色土	182→3		I12
183		小穴	淡茶色土	183→173		N12
184		溝	黄色ブロック土		近代～	N9
185	7SI185	竪穴住居	茶灰色土→黒灰色土	185→180・331・338・344・348・352・378・381	古墳初期	H4
186		小穴	灰色土	184→186		N9
187		小穴	暗灰茶色土			N9
188		小穴		189→188		H10
189		小穴		189→188		H10
190	7SI190	竪穴住居	黒灰色土→暗茶色土→灰褐色土	190→299・318・349・371	古墳初期	E3
191		小穴	灰色砂	191→204→3		I11
192		小穴		192→3		I11
193		小穴	淡茶色土	193→3		I11
194		小穴	暗灰茶色土	194→89		H12
195	7SI195	竪穴住居	淡茶褐色土→黒灰色土	419→195→293・294・306・418	古墳後期	N5
196		小穴	暗灰茶色ブロック土	140→196		J11
197		小穴	黒灰色土 (暗灰茶色土)	284→197		K10
198		小穴	暗灰茶色土	80→198		M12
199		小穴		80→199		N11
200	7ST200	土溝	暗茶褐色土	100→200	平安	E12
201		小穴	暗灰茶色土	201→161		O13
202	7SX202	小穴	暗灰茶色土	202→161	13c中～	O11
203		小穴	暗灰茶色土	257→203→184		N10
204		小穴		191→204→3		I11
205	7SI205	竪穴住居	茶灰色土	100・554→205	古墳初期	J11
206		小穴	暗灰茶色土	206→140		J11
207		小穴				I10
208		小穴	茶色土→暗灰茶色土	208→89		H11
209		小穴		135→209		G11
210	7SB210	掘立柱建物	黄褐色土	235→210→452	古墳初期	E11
211		小穴				G10
212		小穴		140→212		J11
213		小穴		135→213		G11
214		小穴		271→214→97		G11
215	7SB215	掘立柱建物		235→215	弥生?	F11
216		小穴		100→216		H14
217		小穴	暗灰茶色土			J13
218		小穴	暗灰茶色土	218→80		L12
219	7SK219	土坑	暗灰褐色土→暗灰色砂→黒灰色土		8c～	H8
220		欠番				
221		小穴群	黒灰色土			H8
222		小穴群	黒灰色土	289→222		G8
223		小穴		223→135		G10
224		小穴群				J7
225	7SB225	掘立柱建物		225→442	弥生後期～	H8
226		小穴			12c～	G9
227		小穴群				I8
228		小穴				I8
229		小穴				J8
230	7SE230	井戸	灰色粘質土→暗灰色土		中世後期～	L18
231		小穴群				K7
232		土坑				L9
233		小穴×土坑	暗灰色土			L8
234		小穴		205→234		J10
235	7SI235	竪穴住居	黄褐色土→淡黄褐色土	235→215・431・463	弥生中期末～後期初期	G11
236		小穴				I9
237		小穴		205→237		J9

殿城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (5)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考(先後関係など)	時期	地区
238	7SK238	焼土坑	黒灰色土→暗茶灰色土→灰茶色土→淡灰茶色土			L8
239		土坑		241 → 239		M8
240	7SB240	孤立柱建物		240 → 100	古墳初頭	G8
241		土坑		242 → 241 → 239		M8
242		土坑		242 → 241 → 239		L7
243		小穴		256 → 243		L6
244		小穴群				L7
245	7SI245	孤立柱建物		245 → 100	古墳初頭	D10 ~
246		小穴				M7
247		小穴群				M7
248		小穴群		249 → 248		M6
249		小穴群		249 → 248		M6
欠番						C4
251		小穴		276 → 251		N7
252		小穴				N7
253		土坑		暗茶灰色土→253		N8
254		溜まり		284 → 254 → 140	近世~	I9 ~
255	欠番					
256	7SK256	焼土坑	淡灰色砂質土	256 → 243	8c 後~	L6
257		溜まり	黄色土	暗茶灰色土 → 257 → 203 → 184		M9
258		小穴				E10
259	7SX259	土坑	深灰色土(灰茶色土)→暗灰色土→黒灰色土(=黒色土)	259 → 124	13c 後~	G10
欠番						
261		溝	暗灰茶色土	暗茶灰色土 → 261		M11
262		小穴	暗灰茶色土	273 → 262		N9
263		小穴	暗灰茶色土			N10
264		小穴				N15
欠番						
266		小穴				N7
267		小穴				G10
268		小穴				I10
269		小穴×土坑			9c 中~?	H10
欠番						
271		小穴		271 → 214 → 97		G11
272		小穴				K9
273		遺物包含層	褐色ブロック土	273 → 274		M8 ~
274	7SK274	土坑	灰色ブロック土	162 → 274	近世~	N7
欠番						
276		溜まり×小穴	淡茶色土	278 → 276 → 251		N7
277		小穴		277 → 276		N7
278		小穴		278 → 276		N7
279		小穴				N7
欠番						
281		小穴				N6
282		小穴				G10
283		小穴				K9
284		溝×溜まり状遺構	暗茶色土	284 → 106,112,113,122,140,197,287,254	古墳初頭	I10 ~
欠番						
286		小穴		286 → 140	平安前期~	J11
287		小穴群		284 → 287		I10
288		小穴群		100 → 288		I8
289	7Sb240f	小穴		289 → 222	古墳初頭	G8
欠番						
291		小穴群	黒褐色土			K5
292		小穴	黒褐色土			K5
293		溝	黒灰色土	195 → 293		M4
294		小穴群	黒灰色土	195 → 294		M5
欠番						
296		小穴		296 → 293		M4
297		溜まり状遺構	淡茶色土	175 → 297 → 306		L3
298		溝		298 → 311		C5
299	7SD299	溝	黒灰色土→黄褐色土	190・361 → 299 → 314・321	中世	E4

取組戸道路 7次調査 遺構一覧(6)

S-番号	遺構番号	遺構性格	地積土	備考(先後関係など)	時期	地区
欠番						
301		小穴				I4
302		小穴群		175 → 302		J3
303		土坑	淡茶色土	175 → 303		J4
304		小穴		175 → 304	7c 中～	J4
欠番						
306		溜まり		175 → 306 → 297		L4
307	7SX307	溜まり状遺構	灰色砂質土	317 → 307	近代	B3
308		溜まり	茶色土	355 → 308		C7～
309		溝	褐灰色ブロック土	100 → 309		D6
欠番						
311	7SD311	溝	灰白色土→茶灰色土(淡褐灰色土)→灰褐色土→暗灰色土	298 → 311	8c 中～	D6
312		溝	灰色ブロック土		近代?	B5
313		小穴群				D9
314		土坑×溜まり状遺構	黄色土	299 → 314	7c 中～	D5
欠番						
316	7SK316	焼土坑	黒灰色土			E5
317		溝	黄色土	160 → 317	近世?	C4～
318		小穴群		190 → 318		F5
319		小穴				F4
欠番						
321		小穴		299 → 321		F4
322		小穴群				E3
323		小穴				E3
324		小穴				E3
欠番						
326		土坑		353 → 326	近代	F2
327		溝	灰色土	175・180 → 327	近代	I4
328		土坑×溜まり状遺構	茶灰色シルト質土→暗灰色土→灰色土	175 → 328	8c 後半～	K3
329		小穴				D3
欠番						
331		溜まり		185 → 331		H5
332		小穴	灰褐色土			H5
333		小穴		180 → 333	平安	I5
334		小穴群		180 → 334		I5
欠番						
336		小穴群		175 → 336		J2
337	7SD337	溝	灰色土→黒色土	170 → 342 → 337	8c	K1
338		小穴		185 → 338		I4
339		小穴群		175 → 339 → 327		I3
欠番						
341		小穴群				C6
342		溝	茶褐色土	170 → 342		J2～
343		小穴群		175 → 343		I3
344		小穴		185 → 344		I4
欠番						
346		小穴群		185 → 346		H4
347		小穴				H4
348		小穴		185 → 348		H4
349		土坑		190 → 349		H4
欠番						
351		小穴		180 → 351	13c 後～	I4
352		小穴		185 → 352		I4
353		溝	灰色砂→暗茶色土	307、337と同じか?	近代	E3
354		小穴		190 → 369 → 354		F4
欠番						
356	7SB240b	土坑		356 → 362		E7
357		小穴群				C6
358		小穴			奈良	C6
359		小穴×土坑		298 → 359		D6
361		小穴群		361 → 299		B4
362		小穴群		356 → 362		E7
欠番						
363		小穴				J6

般城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (7)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考(先後関係など)	時期	地区
364		小穴		160 → 364		C4
欠番						
366		小穴		×		C7
367	7SK367	土坑	灰色砂→淡茶色土	367 → 346	古墳初頭	H3
368		小穴群			弥生後期	F5
369		小穴群		190 → 369 → 354		F4
欠番						
371		小穴		190 → 371		F4
372		小穴群				G3
373		小穴				J2
374		小穴				H6
欠番						
376		小穴				H4
377		小穴		185 → 377		H4
378		小穴群		185 → 378		H5
379		小穴		175 → 379 → 327		I3
欠番						
381		小穴		180 → 381		J4
382		小穴		175 → 382		J4
383		土坑	暗灰色土	175 → 383 → 328		K3
384		小穴群				D4
欠番						
386		小穴				D3
387		小穴群		387 → 暗灰茶色土		N14
388		小穴群		388 → 暗灰茶色土		N13
389		小穴		389 → 暗灰茶色土		O13
欠番						
391		小穴		391 → 暗灰茶色土		N12
392		小穴群		392 → 暗灰茶色土		N12
393		溜まり状遺構	黄灰色粘土	393 → 暗灰茶色土		N12
394		小穴		394 → 暗灰茶色土	6c 後半	N13
欠番						
396		小穴		396 → 暗灰茶色土		N13
397		小穴		397 → 暗灰茶色土		M11
398		小穴		398 → 暗灰茶色土		M11
399		小穴		399 → 暗灰茶色土		M11
欠番						
401		小穴群		401 → 暗灰茶色土	弥生後期	O10
402		小穴		402 → 暗灰茶色土		N10
403	7SK403	土坑	黒褐色土	403 → 暗灰茶色土	古墳初頭	N9
404	7SK404	土坑	黒褐色土	404 → 暗灰茶色土	古墳初頭	O9
欠番						
406	7SX406	小穴	茶色土		弥生	O9
407		小穴				L9
408		小穴			弥生後期	J4
409	7S1175d	小穴		175 → 409 → 328	弥生後期	K3
欠番						
411		小穴群		411 → 暗灰茶色土		N8
412		小穴				J4
413		小穴				I3
414		小穴			弥生	K2
欠番						
416		小穴				K3
417		小穴			弥生	J4
418		小穴		195 → 418	8c 中～	M4
419		溜まり状遺構		419 → 195		M3
欠番						
421	7SK421	土坑	淡茶色土→黒灰色土→暗灰茶色土	175 と関連か?	弥生	J3
422		小穴				J3
423		小穴群		7SB225a を含む		H8
424		小穴群				G7
欠番						
426		小穴		×	古墳初頭	J10
427		小穴		×		J10
428		小穴群			8c 後半	I11
429		小穴群				F9

\* ×は原位置不明

鹿城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (8)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
欠番						
431		溜まり		235 → 431	古墳初頭	G10
432		小穴群		×		
433		小穴		×		G10
434		小穴			弥生後期	H10
欠番						
436		小穴		×		H10
437		小穴群				H10
438		小穴群				H9
439	7SB225d	小穴			弥生	H9
欠番						
441		小穴			弥生後期	H9
442		土坑		225 → 442	古墳初頭	H8
443		小穴			弥生後期	I8
444		小穴				I8
欠番						
446		小穴		×		G8
447		小穴			弥生後期	G8
448	7SB215f	小穴		235 → 215		G11
449		小穴		×		F11
欠番						
451		小穴群				F11
452		土坑	茶色土	100.210 → 452	古墳初頭	D10
453		小穴群				E11
454	7SB245b	土坑				C10
欠番						
456		土坑×溜まり状遺構		454 → 456		C10
457		小穴				D10
458		小穴群				D10
459		小穴				C9
欠番						
461		小穴		461 → 100	弥生後期	D9
462		小穴		×		E9
463		溜まり状遺構	淡茶色土	235 → 463 → 553		G11
464		溜まり状遺構	灰褐色土		7c 中～	G12
欠番						
466		小穴		×		F13
467		小穴群				H12
468		小穴群		×		J8
469		小穴				H6
欠番						
471		小穴				G6
472		小穴				F6
473	7SB245f	小穴				E10
474		小穴				E10
欠番						
476		小穴		×		K10
477		小穴				K10
478	7SB240c	小穴	淡茶灰色ブロック土→淡茶灰色土→淡茶色土→淡茶砂質土		古墳初頭	F9
479		土坑		100 → 479		H7
欠番						
481		小穴				G8
482		小穴		235 → 482	弥生後期	G11
483		小穴群		235 → 483		G11
484		小穴		463 → 484		H10
欠番						
486		溜まり状遺構	灰白色土			I12
487		小穴				G9
488		溜まり状遺構		100 → 488		J14
489		土坑×溜まり状遺構	暗灰茶色土		近世	R17
欠番						
491		溝状遺構			奈良	Q18～R18
492		溝状遺構			近世	Q18～R18

\*×は原位置不明

飯城戸遺跡 7次調査 遺構一覧 (9)

S-番号	遺構番号	遺構性格	堆積土	備考 (先後関係など)	時期	地区
493		小穴群				Q16
494		溝状遺構				Q15
欠番						
496	7SX496	小穴				R15
497		小穴				P19
498		小穴			近世	O19
499		溝状遺構				O16
欠番						
501		小穴				N16
502		小穴群				M16
503		溜まり状遺構				M17
504		溝状遺構	暗灰色土	504 → 539		K19
欠番						
506	7SX506	溝状遺構	暗灰色土	541 → 506		K19
507		小穴群				L16
508		小穴				M17
509		小穴				L16
欠番						
511		小穴				K17
512		溝状遺構				K18
513	7SX513	小穴				K18
514		小穴				K18
欠番						
516		小穴				J17
517		小穴				K18
518		小穴				K19
519		小穴				L18
欠番						
521		小穴		504.506 → 521	近世	K19
522		小穴				K19
523		小穴				I18
524		溜まり状遺構		524 → 5		I18
欠番						
526		溜まり状遺構			近世	I20
527		溜まり状遺構				I20
528		溝状遺構	灰褐色砂→暗灰色土	5 → 528	近代	F19
529		小穴				L16
欠番						
531		小穴				I8
532		小穴		532 → 479		H7
533		小穴				H7
534	7SB240g	小穴		536 → 534		G7
欠番						
536		小穴		536 → 534		G7
537		小穴				E9
538		小穴群				L10
539		溜まり状遺構		504 → 539 → 528	近世	J19
欠番						
541		溜まり状遺構		541 → 506.539 → 528		J19
542		土坑×溜まり状遺構		542 → 504 → 539		K20
543		溜まり状遺構				Q17
544	7SB245d	小穴		544 → 100		D11
欠番						
546		土坑	黒灰色土	×		不明
547		小穴			弥生～	J19
548		小穴	暗茶灰色土→淡灰茶色土→茶灰色土	548 → 155	弥生～	C7
549		小穴群		×		H4
欠番						
551	7SX551	溝状遺構		551 → 205	弥生後期	J11
552		小穴		×		G10
553		小穴		463 → 553	弥生後期	G11
554		小穴	暗灰茶色土	120 → 556		O14
欠番						
556		小穴		120 → 556		L9

\*×は取位置不明

製煉炉産物7次調査 産物一覧表

5-1 暗茶色粘質土

須 恵 器 磁片
土 師 器 小皿 a×b (赤)
弥 生 土 器 磁片

5-4 茶色ブロッコ土

弥 生 土 器 磁片
------------

5-1 茶色土

弥 生 土 器 磁片
------------

5-2 灰灰色土

須 恵 器 坏 IV、蓋 3
石 製 品 ob-F、and-F
弥 生 土 器 磁片

5-3 淡灰色土

須 恵 器 壺、蓋 1、蓋 3
土 師 器 磁片
須 恵 産 瓦 青 磁 IIA?
石 製 品 and-AP、and-F
瓦 質 土 器 摺鉢
肥前系陶磁器 染付磁器碗
須 恵 陶 器 瓶×瓶 (瓶戸焼?)、黒縁陶器
須 恵 磁 器 白磁碗
弥 生 土 器 壺?、磁片

5-3 灰色砂

弥 生 土 器 壺 (中層)
----------------

5-4

弥 生 土 器 磁片
------------

5-5

須 恵 器 坏 c3、坏?
土 師 器 壺
磁 器 須 恵 産 瓦 青 磁 類 I 類、白磁片
土 師 瓦 質 土 器 摺鉢
染 付 (輸入) 明染付碗?

5-5 灰褐色土

須 恵 器 壺、蓋 3
-------------

5-5 灰色砂

須 恵 器 坏 a、蓋 (小皿 II 類)
土 師 器 壺

5-5 灰色土

須 恵 器 壺
土 師 器 壺?

5-5 黒灰色赤伏土

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 磁片

5-5 黒灰色土

須 恵 器 蓋 3
土 師 器 坏?
石 製 品 and-F

5-6

須 恵 器 磁片
須 恵 陶 器 陶磁器?
弥 生 土 器 磁片

5-7

弥 生 土 器 磁片
------------

5-8

弥 生 土 器 磁片
------------

5-9

須 恵 器 坏 IV?
石 製 品 群化木片

5-10 黒灰色粘質土 (= 暗灰色粘質土)

石 製 品 ob-F
------------

5-10 灰色砂

須 恵 器 坏 3、蓋 17、磁片
土 師 器 磁片
石 製 品 and-F
弥 生 土 器 壺 (後層)、磁片

5-10 灰褐色粘質土

須 恵 器 坏 7?
土 師 器 磁片
弥 生 土 器 磁片

5-10 灰色粘質土

須 恵 器 壺磁片、坏 4?
土 師 器 磁片
石 製 品 天草産の石村?、ob-F
弥 生 土 器 磁片

5-10 暗灰色粘質土

須 恵 器 坏 2?、磁磁片
土 師 器 石式土師器 高环器、大瓮磁片、二重口鉢器
弥 生 土 器 須 恵 産 瓦 青 磁 (西新式)、磁片
土 師 器 加工土器片

5-10 紫色ブロッコ土

弥 生 土 器 磁片
------------

5-10 黄灰色ブロッコ土

須 恵 器 坏?
土 師 器 磁片
弥 生 土 器 磁片

5-10 暗灰青色粘質土

須 恵 器 壺 3、磁片
土 師 器 小皿 a (赤)、坏?、古式土師器 小皿丸底器?
弥 生 土 器 坏 4、磁片

5-10 暗灰赤色粘質土

須 恵 器 磁片?
土 師 器 坏 a、磁片

5-10 灰黒色砂質土

上 層 器 赤磁片
瓦 質 土 器 摺鉢磁片、火鉢磁片
弥 生 土 器 器台銅片
木 製 品 漆器刺磁片

5-10 灰褐色粘質土 (12a)

弥 生 土 器 磁片
------------

5-10 暗灰色粘土

須 恵 器 須 恵 磁片
土 師 器 坏 4 (赤)
木 製 品 須 恵 産 磁片
その他 花綱器

5-10 灰褐色粘質土②

土 師 器 小皿 a (赤)
----------------

5-10 灰褐色粘質土④

土 師 器 小皿 a (赤)
----------------

5-11

弥 生 土 器 磁片
------------

5-12

弥 生 土 器 磁片
------------

5-13

弥 生 土 器 磁片
------------

5-13 淡灰色土

白 磁 碗
須 恵 陶 器 瓶×皿
弥 生 土 器 磁片
石 製 品 and-AP

5-14

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 磁片

S-15 黄色土  
硯 土 器 磁片

S-15 暗赤褐色土  
硯 土 器 磁片  
硯 土 器 磁片

S-15 暗灰色土  
硯 土 器 磁片、環、蓋4  
土 器 器 古式土師器 庄内式系器？(朝顔)、環a(赤)  
硯 土 器 器 開口輪部(中層)、器台脚、磁片

S-16 黄色土  
土 器 器 環磁片、古式土師器 布留式系器  
硯 土 器 器 器台脚、磁片

S-17 灰色ブロッケ土  
土 器 器 古式土師器 庄内式系器？  
硯 土 器 器 器台脚(後期？)  
陶 器 陶 器 磁×陶

S-17 洗滌灰色土  
硯 土 器 器 磁片

S-18 灰褐色砂質土  
土 器 器 古式土師器 高坪系？  
瓦 質 土 器 磁片  
硯 土 器 器 磁片

S-19  
硯 土 器 器 器台脚  
陶 器 陶 器 磁？

S-20  
土 器 器 磁片  
硯 土 器 器 磁片

S-20 暗灰色土  
土 器 器 磁片a  
土 器 質 土 器 磁片  
瓦 質 土 器 磁片(13c~)  
硯 土 器 器 磁片

S-21  
硯 土 器 器 磁片

S-22 暗灰色土  
硯 土 器 器 器台脚？  
硯 土 器 器 磁片

S-23  
土 器 器 古式土師器 小型特殊器台脚

S-24  
土 器 器 古式土師器 高坪系？

S-25 暗灰色土  
硯 土 器 器 蓋T7、磁片  
硯 土 器 器 磁片

S-25 灰褐色土  
石 質 品 石磁？

S-26  
硯 土 器 器 磁片

S-28  
土 器 器 磁片

S-29  
土 器 器 古式土師器 高坪系？

S-30 暗灰色土  
土 器 器 環a、磁片

S-31 黄色土  
土 器 器 古式土師器 布留式系器、磁片  
硯 土 器 器 磁片

S-32 黄灰色ブロッケ土  
石 質 品 and P、and P  
硯 土 器 器 磁片

S-33 (w-5-95f)  
硯 土 器 器 磁片2？  
硯 土 器 器 磁片

S-34 洗滌色土  
土 器 器 古式土師器 布留式系器口縁部？  
硯 土 器 器 開口縁部(後期？)

S-36  
硯 土 器 器 磁片

S-37  
硯 土 器 器 磁片

S-38  
硯 土 器 器 磁片

S-39  
土 器 器 古式土師器 大塚磁片(山陰系？)  
硯 土 器 器 磁片

S-41 洗滌灰色土  
硯 土 器 器 磁片(赤色原料赤あり)

S-41 茶褐色土(柱底)  
硯 土 器 器 磁片

S-41 茶褐色土  
硯 土 器 器 磁片

S-42 黄褐色土  
土 器 器 磁片  
硯 土 器 器 古式土師器(後期？)、磁片

S-43  
土 器 器 磁片

S-44 洗滌灰色粘質土  
硯 土 器 器 磁片

S-44 暗灰色土  
土 器 器 古式土師器 布留式系器口縁部、庄内式系器？  
硯 土 器 器 磁片

S-45 暗赤褐色土  
土 器 器 古式土師器、高坪系(赤系あり)、小型丸底器、  
小型特殊器台脚、布留式系器、高坪系、山陰系大型磁片、  
大塚(洗滌？)、庄内式系器、庄内式系二重口縁器  
石 質 品 石系陶  
硯 土 器 器 器台脚、蓋(西新式)  
金 属 質 品 鉄類

S-45 暗赤褐色土 1  
土 器 器 古式土師器 布留式系器

S-45 暗赤褐色土 2  
土 器 器 古式土師器 環？

S-45 暗赤褐色土 3  
土 器 器 古式土師器 小型特殊器台×高坪系

S-45 暗赤褐色土 4  
土 器 器 古式土師器 小型特殊器台脚

S-45 暗赤褐色土 5  
土 器 器 古式土師器 庄内式系器？

S-45 暗赤褐色土 6  
土 器 器 古式土師器 布留式系器

S-45 暗赤褐色土 7  
土 器 器 古式土師器、布留式系器、高坪系、小型丸底器、庄内式系器、  
二重口縁器、大塚(山陰系？)

S-45 暗赤褐色土 8  
土 器 器 古式土師器、庄内式系器、庄内式系器、  
穴製片(山陰系？)  
硯 土 器 器 磁片

S-45 暗赤褐色土 9  
土 器 器 古式土師器 高坪系



5-45	暗紫灰色土 10	土 類 部 古式土類部 高坪与扇塚片
5-45	暗紫灰色土 11	土 類 部 古式土類部 大塚 (山形系?)、庄内式系部、高坪脚 木 製 品 破片 石 製 品 破片
5-45	暗紫灰色土 12	土 類 部 古式土類部 高坪脚
5-45	暗紫灰色土 13	土 類 部 古式土類部 高坪脚
5-45	暗紫灰色土 14	土 類 部 古式土類部 大塚 (山形系?)、坪、小型特殊器台脚、 庄内式系部?, 布留式系部、高坪脚、小型丸底甕 弥 生 土 器 器口?
5-45	暗紫灰色土 15	土 類 部 高坪脚
5-45	暗紫灰色土 16	土 類 部 古式土類部 小型丸底甕
5-45	暗紫灰色土 17	土 類 部 古式土類部 小型特殊器台脚
5-45	暗紫灰色土 18	土 類 部 古式土類部 器? (山形系?)
5-45	暗紫灰色土 19	土 類 部 古式土類部 高坪环 (环状形)
5-45	暗紫灰色土 20	土 類 部 古式土類部 小型丸底甕
5-45	暗紫灰色土 21	土 類 部 古式土類部 高坪脚
5-45	暗紫灰色土 22	土 類 部 古式土類部 高坪×小型特殊器台脚
5-45	黄灰色土	土 類 部 破片
5-46	灰 色 部 环2 弥 生 土 器 破片	
5-47	弥 生 土 器 破片	
5-48	土 類 部 古式土類部 二重口鉢部 (庄内式系?)	
5-49	弥 生 土 器 破片	
5-51	弥 生 土 器 破片	
5-52	土 類 部 破片	
5-53	弥 生 土 器 破片	
5-54	弥 生 土 器 破片	
5-55	弥 生 土 器 破片	
5-56	暗紫灰色土 弥 生 土 器 底1	
5-57	暗紫灰色土 瓦 蓋 部 破片、蓋? 弥 生 土 器 破片	

5-58	暗紫灰色土 弥 生 土 器 底11、破片	
5-60	暗紫灰色土 弥 生 土 器 破片	
5-60	灰紫色土 土 類 部 破片 弥 生 土 器 破片	
5-60	灰紫色土 2a 弥 生 土 器 破片	
5-60	灰 色 部 瓦 蓋 部 破片 土 類 部 破片	
5-61	暗褐色粘質土 土 類 部 破片 弥 生 土 器 破片	
5-62	土 類 部 破片	
5-63	土 類 部 破片 弥 生 土 器 破片 瓦 蓋 部 破片	
5-64	土 類 部 破片 瓦 蓋 部 奈良系青磁器1類	
5-66	弥 生 土 器 破片	
5-67	弥 生 土 器 破片	
5-68	瓦 蓋 部 环a? (赤) 土 類 部 古式土類部 小型丸底甕、破片	
5-69	淡褐色粘質土 弥 生 土 器 破片	
5-70	淡紫灰色土 弥 生 土 器 破片	
5-72	土 類 部 破片 弥 生 土 器 破片	
5-73	弥 生 土 器 破片	
5-74	暗紫灰色土 土 類 部 环a×b (赤) 弥 生 土 器 破片	
5-75	淡褐色粘質土 土 類 部 古式土類部 高坪环、高坪脚、布留式系部、庄内式系部、 小型丸底甕、丸底甕、庄内式系二重口鉢部 石 製 品 磁石 (黑色河角)、緑色片岩 弥 生 土 器 器D (V様式系)、器 (中煎)、器底1×2、底6 (V様式系) 瓦 蓋 部 器体銅品	
5-75	暗紫灰色土 土 類 部 古式土類部 高坪、二重口鉢部?、小型丸底甕?、布留式系、 丸底甕、大塚 (山形系?)、山形系二重口鉢部、V様式系部 石 製 品 黒石石英瓶、天草磁石? 弥 生 土 器 器a17、支脚	
5-75	暗紫灰色土 1 土 類 部 古式土類部 布留式系部	
5-75	暗紫灰色土 2 土 類 部 古式土類部 高坪脚	

## S-75 暗茶灰色土 3

土 師 器	古式土師器 布留式茶壺口、山陰系壺×壺
弥生土 師 器	壺口(中継)、高坏類、底6

## S-75 淡茶灰土

土 師 器	布留式茶壺
-------	-------

## S-75 暗茶灰色土

土 師 器	古式土師器 布留式茶壺
弥生土 師 器	破片

## S-76

弥生土 師 器	破片
---------	----

## S-77

須 恵 器	壺破片
-------	-----

## S-78

須 恵 器	壺破片
弥生土 師 器	破片

## S-79 灰色ブロック土

弥生土 師 器	破片
---------	----

## S-80 褐色土

須 恵 器	破片
土 師 器	破片
弥生土 師 器	破片

## S-80 暗灰色土

須 恵 器	壺破片、蓋 IVa1
土 師 器	磁把手、古式土師器 高坏類?、坏
石 製 品	瓦筒管、磁石(天草産?)
弥生土 師 器	破片
弥生土 師 器	熊耳系有磁筒 I×IV、上田 D-II

## S-80 淡灰色土

須 恵 器	壺 IV?
土 師 器	古式土師器 壺破片?
弥生土 師 器	破片

## S-81

弥生土 師 器	破片
---------	----

## S-82 灰褐色土

須 恵 器	破片
土 師 器	破片
石 製 品	木子
弥生土 師 器	破片

## S-83 灰色ブロック土

須 恵 器	破片
弥生土 師 器	破片

## S-84

弥生土 師 器	破片
土 製 品	粘土塊

## S-85

須 恵 器	破片
弥生土 師 器	破片

## S-85 灰色土

須 恵 器	破片
土 師 器	破片

## S-85 赤茶色土

土 師 器	破片
弥生土 師 器	破片

## S-86 茶色土

須 恵 器	壺破片、可破片?
肥前系陶磁器	透沖系壺×破片、壺破片
弥生土 師 器	破片

## S-87 明灰色砂

土 師 器	破片
-------	----

## S-88

須 恵 器	破片
弥生土 師 器	破片

## S-89 灰色砂

須 恵 器	破片?
土 師 器	破片
弥生土 師 器	破片

## S-90

須 恵 器	壺破片?
土 師 器	破片
弥生土 師 器	破片

## S-90 暗灰色土

弥生土 師 器	破片
---------	----

## S-90 暗茶色土 1

土 師 器	坏 a (外)
-------	---------

## S-91 暗灰色土

須 恵 器	壺破片(内面?字痕)、坏?
弥生土 師 器	破片

## S-92

弥生土 師 器	破片
---------	----

## S-94

弥生土 師 器	破片
---------	----

## S-95 a 黒灰色土

須 恵 器	壺口(小田目~田淵 A?)
弥生土 師 器	底 I (後期)

## S-95 g 柱状

弥生土 師 器	破片
---------	----

## S-95 k 暗灰色ブロック土

弥生土 師 器	破片
---------	----

## S-95 h

弥生土 師 器	破片
---------	----

## S-95 k

須 恵 器	破片
土 師 器	破片
弥生土 師 器	破片

## S-96 褐色土

白 磁	底 V 類?
弥生土 師 器	破片

## S-97

須 恵 器	壺 3
-------	-----

## S-98 淡褐色土

土 師 器	古式土師器 大壺破片
-------	------------

## S-99

土 師 器	破片
弥生土 師 器	破片

## S-99 暗灰色土

弥生土 師 器	破片
---------	----

## S-100

土 師 器	古式土師器 布留式系?
-------	-------------

## S-100 茶白色土

弥生土 師 器	破片
---------	----

## S-100 D10 茶色土

土 師 器	古式土師器 布留式系壺、小型丸底壺、高坏類、小型物残破片、庄内式系壺?
石 製 品	磁石(天草産?)
弥生土 師 器	壺口、壺口、壺口(後期)、高坏×坏、器台 7、底 1、底 3

## S-100 D10 茶色土 8

土 師 器	古式土師器 小型丸底壺、高坏類、坏?
-------	--------------------

## S-100 D10 茶色土 9

土 師 器	古式土師器 壺、高坏×坏
弥生土 師 器	破片

5-100 D11 茶色土
土 類 部 古式土師器 布留式系、小型丸底蓋?、高坏脚×坏
依 在 土 部 蓋×變、壺口1、移合脚?、底1

5-100 E7 茶色土
土 類 部 古式土師器 布留式系壺口、小型丸底蓋?
依 在 土 部 頂 cl、壺 (西新式、7×9年)、壺口、高坏破片、移合

5-100 E7 茶色土 ?
土 類 部 古式土師器 布留式系、小型丸底蓋 (精製)

5-100 E8 茶色土
依 在 土 部 蓋×變
そ の 他 焼土塊

5-100 E8 洪青色土
土 類 部 古式土師器 高坏破片

5-100 E9 茶色土
土 類 部 布留式系、小型丸底蓋 (精製)

5-100 E12 茶色土
土 類 部 古式土師器 布留式系壺口、高坏 (複製品)、山陰系焼土庄内式系、移合?、高坏脚、正口蓋?
石 製 品 op-f
依 在 土 部 蓋? (赤色顔料付)、底1

5-100 F8 茶色土
土 類 部 古式土師器 破片、小型丸底蓋、移合破片?、庄内式系壺?、坏、小型特殊器台脚
石 製 品 高坏石
依 在 土 部 蓋D、蓋B1?、壺 (後期)、壺口1、高坏?2

5-100 F8 茶色土 3
土 類 部 古式土師器 小型丸底蓋

5-100 F8 茶色土 4-5
土 類 部 蓋×變 (山陰系?)

5-100 F13 茶色土
土 類 部 古式土師器 布留式系破片、小型丸底蓋、高坏破片、高坏脚、坏、小型特殊器台脚、庄内式系有段高坏
依 在 土 部 壺口1、底1、破片

5-100 G7
土 類 部 古式土師器 布留式系壺口、二重口縁蓋?、小型特殊器台脚、坏×高坏坏
依 在 土 部 蓋?、壺口1、移合脚部?、破片
そ の 他 焼土塊、火皿器

5-100 G8 明茶色土 1-2
土 類 部 古式土師器 高坏

5-100 G6 茶色土
土 類 部 古式土師器 庄内式系、小型丸底蓋?、布留式系壺、高坏×坏
依 在 土 部 移合?、破片

5-100 G7 茶色土 2
土 類 部 古式土師器 布留式系破片

5-100 G14 茶色土 10
土 類 部 古式土師器 布留式系壺

5-100 G14 茶色土 11
土 類 部 古式土師器 高坏

5-100 G14 茶色土
土 類 部 古式土師器 高坏破片、大型壺 (山陰系)、布留式系壺、高坏脚
依 在 土 部 移合?

5-100 G14 洪青色土
土 類 部 古式土師器 高坏坏 (放射状×字弁、赤褐色)、布留式系壺 (白色1点)、山陰系大型壺
依 在 土 部 高坏?、破片

5-100 E7 茶色土
依 在 土 部 蓋?
土 類 部 古式土師器 布留式系壺、高坏坏、小型丸底蓋、庄内式系壺?、高坏脚
依 在 土 部 蓋 cl (赤色顔料付)、蓋 cl、蓋 B1?、蓋 B2、壺 (西新式)、壺口1?、壺×變、鉢2、底4?

5-100 E7 茶色土 6
土 類 部 古式土師器 布留式系壺

5-100 E14 茶色土
土 類 部 古式土師器 高坏脚、破片
依 在 土 部 蓋 (後期)、壺 cl×2、壺 (後期)、高坏坏×坏、高坏脚

5-100 E17 茶色土
土 類 部 古式土師器 布留式系壺、小型丸底蓋
依 在 土 部 高坏坏破片

5-100 E8 茶色土
土 類 部 古式土師器 小型丸底蓋
依 在 土 部 破片

5-100 E13 茶色土 25
土 類 部 古式土師器 布留式系壺破片

5-100 E13 茶色土 26
土 類 部 古式土師器 小型丸底蓋?

5-100 E14 暗赤茶色土
土 類 部 古式土師器 二重口縁壺 (山陰系?)
石 製 品 AP-op
依 在 土 部 壺破片

5-100 E8 入口? (複製)
依 在 土 部 蓋×變

5-100 E8 茶色土
依 在 土 部 蓋×変、高坏

5-100 E9 茶色土
土 類 部 古式土師器 破片
依 在 土 部 破片

5-100 E9 茶色土 27
土 類 部 古式土師器 小型特殊器台脚

5-100 E9 灰茶色土
土 類 部 古式土師器 布留式系壺 (薄手)、破片
依 在 土 部 蓋×變、高坏脚、破片

5-100 E9 灰濁
土 類 部 古式土師器 破片

5-100 E11 茶色土 12
土 類 部 古式土師器 布留式系壺破片

5-100 E12 茶色土
土 類 部 古式土師器 小型丸底蓋、布留式系壺
依 在 土 部 蓋 (後期)?、壺口1?、底1

5-100 K10 茶色土
土 類 部 古式土師器 布留式系壺、小型丸底蓋?、坏×高坏、小型特殊器台、高坏脚 (在烧系)
依 在 土 部 壺、高坏脚?、高坏脚?、高坏脚×2

5-100 K10 茶色土 21
依 在 土 部 蓋?

5-100 K10 茶色土 22
土 類 部 古式土師器 破片
依 在 土 部 蓋×變破片

5-100 K11 茶色土
土 類 部 古式土師器 布留式系壺?、高坏×坏、
依 在 土 部 壺口、高坏脚?×4、壺 (後期)
そ の 他 火出否

5-100 K11 茶色土 11
依 在 土 部 蓋×變破片

5-100 K11 茶色土 13
土 類 部 古式土師器 布留式系壺?
依 在 土 部 壺口1、壺口1

5-100 K11 茶色土 14
土 類 部 古式土師器 蓋×變、坏

5-100 K11 茶色土 15
土 類 部 古式土師器 布留式系壺

S-100 K11 茶色土 16

土 師 器 古式土師器 布留式茶壺?

弥生土 器 破片

S-100 K11 茶色土 17

土 師 器 古式土師器 布留式茶瓶片

弥生土 器 破片

S-100 K11 茶色土 18

土 師 器 古式土師器 高年鉶

S-100 K11 茶色土 19

土 師 器 古式土師器 小瓶丸蓋蓋

S-100 K11 茶色土 20

土 師 器 古式土師器 高年破片

弥生土 器 高年碎破片

S-100 K11 茶色土 23

弥生土 器 高年口縁 (中腹)

S-100 K11 茶色土 24

土 師 器 古式土師器 高年碎破片

S-100 K11 灰茶色土

土 師 器 古式土師器 高年?

弥生土 器 破片、裂口 17

S-100 K10~11 茶色土

土 師 器 古式土師器 布留式茶壺

石 製 品 AP

弥生土 器 裂口 1、高年碎、高年鉶 47

S-100 K9 茶色土

須 恵 器 壺 (内子字消し)

石 製 品 磁石

弥生土 器 壺×壺

S-100 G14 灰濁

土 師 器 古式土師器 破片

弥生土 器 破片

S-100 G14 黒灰色土

土 師 器 古式土師器 布留式茶壺

石 製 品 壺

S100 G14 黒灰色土 1

土 師 器 古式土師器 布留式茶壺

弥生土 器 高年片、高年鉶?

S-100 G14 黒灰色土 2

土 師 器 古式土師器 布留式茶壺 (流紋あり)

S-100 G14 黒灰色土 3

土 師 器 古式土師器 高年

S-100 G14 黒灰色土 4

土 師 器 古式土師器 大型二重口輪蓋 (山脈系?)

石 製 品 石瓦、磁石?

弥生土 器 破片、壺 A3b

S-100 G14 黒灰色土 5

土 師 器 古式土師器 二重口輪蓋 (山脈系?)

S-100 G14 黒灰色土 6

土 師 器 古式土師器 布留式茶壺、高年×年

弥生土 器 破片、唇台

S-101 灰色砂質土

弥生土 器 破片

S-102

瓦 質 土 器 破片

弥生土 器 破片

S-103 赤茶色土

陶 瓦 器 黒緑陶砂器? 破片

S-104

須 恵 器 壺 (内面入り消し)

S-106

弥生土 器 破片

S-107

須 恵 器 壺 3

土 師 器 古式土師器 壺 (布留式高?)

S-108

弥生土 器 破片

S-109

土 師 器 破片

弥生土 器 破片

S-110 暗褐色土

須 恵 器 牙 c?

土 師 器 牙?

弥生土 器 破片

S-110 暗灰色砂質土

弥生土 器 破片

S-110 青灰色ブロック土

弥生土 器 破片

S-111

弥生土 器 壺 (中腹)

S-112

須 恵 器 破片

弥生土 器 破片

S-113 淡灰茶色土

黒色土 器 A 類?

弥生土 器 高年?

S-114

須 恵 器 破片

弥生土 器 破片

S-115 c

弥生土 器 破片

S-115 d

弥生土 器 破片

S-115 d 暗褐色土

須 恵 器 壺 (内面入り消し)

弥生土 器 破片

S-115 g

須 恵 器 環 V?

土 師 器 破片

S-115 h

須 恵 器 環破片

弥生土 器 破片

S-116

土 師 器 破片

弥生土 器 破片

S-117 淡褐色砂質土

土 師 器 破片

S-118

弥生土 器 破片

S-119

須 恵 器 破片

弥生土 器 破片

その 他 類 (被熱痕あり)

S-120

弥生土 器 破片

S-121 淡褐色粘質土

土 師 器 破 c

弥生土 器 破片

S-122 褐色土

弥生土 器 破片

5-123

類	生土器	壺×壺
---	-----	-----

5-124

類	生土器	壺(後期)、高杯(後期)
---	-----	--------------

5-124 褐色土

類	生土器	壺(中期)
---	-----	-------

5-124 褐色土

類	生土器	壺?
---	-----	----

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

5-125 褐色土

類	生土器	壺(内面ナテ磨シ)
---	-----	-----------

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

類	その他	壺(後期)
---	-----	-------

5-125 褐色土

類	土器	壺(小皿a)
---	----	--------

5-126

類	壺	壺(後期)
---	---	-------

5-127 褐色土

類	壺	壺(後期)
---	---	-------

類	壺	壺(後期)
---	---	-------

5-128 褐色土

類	壺	壺(後期)
---	---	-------

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

5-129 褐色土

類	壺	壺(後期)
---	---	-------

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

5-130 褐色土

類	壺	壺(内面ナテ磨シ)
---	---	-----------

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

5-130 褐色土

類	壺	壺(内面ナテ磨シ)
---	---	-----------

5-130 褐色土

類	壺	壺(後期)
---	---	-------

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

5-130 褐色土 1

類	壺	壺(後期)
---	---	-------

5-130 褐色土 2

類	壺	壺(後期)? (内ナテ磨シ)
---	---	----------------

5-130 褐色土

類	壺	壺(後期)×皿
---	---	---------

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

5-130 褐色土

類	壺	壺(内面ナテ磨シ)
---	---	-----------

5-131

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

5-132

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

5-132 褐色土

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

5-133

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

5-134

類	土器	壺(古式土器 高杯等?)、壺(後期)
---	----	--------------------

5-134 褐色土

類	壺	壺(後期)
---	---	-------

類	土器	壺(後期)×(赤土)、壺(後期)
---	----	------------------

5-135 褐色土

類	壺	壺(後期)
---	---	-------

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

類	生土器	壺(後期)、高杯、壺(後期)
---	-----	----------------

5-136

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

5-137 褐色土

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

類	石製品	おP
---	-----	----

5-138

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

5-139

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

類	壺	壺(後期)
---	---	-------

5-140

類	壺	壺(内ナテ磨シ)
---	---	----------

類	土器	壺(古式土器 高杯系壺?)、壺(後期)
---	----	---------------------

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

5-140 褐色土

類	壺	壺(内ナテ磨シ)
---	---	----------

類	土器	壺(後期)×(赤土)、壺(後期)、古式土器 高杯系壺?、高杯等?
---	----	----------------------------------

類	石製品	石英破片、石皿?(立物)
---	-----	--------------

類	生土器	壺(後期)、壺(後期)
---	-----	-------------

5-141

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

5-142

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

類	金属製品	鉄線
---	------	----

5-144 褐色土

類	壺	壺(内ナテ磨シ)、壺(後期)
---	---	----------------

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

類	陶器	白陶器(後期)?
---	----	----------

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

5-145

類	金属製品	鐵線?
---	------	-----

5-145 褐色土

類	土器	壺(小皿a)
---	----	--------

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

類	その他	火石岩
---	-----	-----

5-145 褐色土

類	壺	壺(内ナテ磨シ) (内ナテ磨シ? 5あり)、小皿a1、壺(後期)?
---	---	-----------------------------------

類	石製品	長石石英破片、花崗岩破片
---	-----	--------------

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

類	その他	石英破片、火石岩
---	-----	----------

5-145 褐色土 + 褐色土

類	土器	壺(後期)、壺(後期)
---	----	-------------

5-145 褐色土 (= 褐色土 + 褐色土)

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

5-146 (415c)

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

5-147 褐色土

類	土器	壺(後期)×(お耳)
---	----	------------

5-148

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

5-149 褐色土

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

類	石製品	おP
---	-----	----

類	生土器	壺(後期)?、壺(後期)
---	-----	--------------

5-149 褐色土

類	壺	壺(内ナテ磨シ)
---	---	----------

類	土器	壺(後期)
---	----	-------

類	生土器	壺(後期)
---	-----	-------

S-149 淡茶色粘質土

土 師 器 古式土師器 山形系大甕破片?

S-150

弥 生 土 器 陶器類? (赤色顔料付、模刻日式系)、鉢 1

S-150 灰褐色土

土 師 器 破片

S-150 灰色土

土 師 器 破片

弥 生 土 器 破片

S-150 茶色土 1

土 師 器 古式土師器 庄内式系型?

S-150 茶色土 2

弥 生 土 器 高坏群

S-150 淡茶色土 1

土 師 器 古式土師器 庄内式系型?

S-150 淡茶色土 2

弥 生 土 器 高坏群

S-150 淡茶色土 3

土 師 器 古式土師器 庄内式系型?

S-150 淡茶色土 4

土 師 器 古式土師器 庄内式系型?

S-150 淡茶色土 5

土 師 器 古式土師器 庄内式系型

S-150 淡茶色土 6

土 師 器 古式土師器 庄内式系型

S-150 淡茶色土 7

弥 生 土 器 破片

S-151 灰茶色土

須 恵 器 坏?

土 師 器 高坏群破片?, 破片

弥 生 土 器 类 (後期?)

S-152 暗灰茶色土

須 恵 器 罎 1、坏?

土 師 器 破片

弥 生 土 器 破片

S-153

土 師 器 破片

S-154

弥 生 土 器 瓶 17

S-155 茶褐色土

須 恵 器 罎 IV?

土 師 器 古式土師器 有管式系型、広口壺、破片

弥 生 土 器 类? (後期)、高坏群 4?

S-155 茶褐色土 1

須 恵 器 破片

土 師 器 坏 (手持ちヘラケズリ)

S-155 茶褐色土 2

土 師 器 小型丸底甕

S-155 茶褐色土 3

土 師 器 罎

S-155 茶褐色土 4

土 師 器 罎

S-155 茶褐色土 5

土 師 器 罎

S-155 茶褐色ブロッケ土

土 師 器 坏、破片

弥 生 土 器 类 (中期)、底 1

S-155 淡茶色ブロッケ土

土 師 器 破片

弥 生 土 器 罎口 17

S-155 暗茶色土

土 師 器 破片

弥 生 土 器 类 (後期)、底 1

そ の 他 焼土塊

S-155 暗茶色土 1

弥 生 土 器 罎 1

S-155 茶褐色土 1

土 師 器 広口壺

S-155 茶褐色土 2

土 師 器 罎

S-155 茶褐色土 3

土 師 器 坏

弥 生 土 器 罎 4

そ の 他 焼土塊

S-155 a

土 師 器 破片

S-155 b

土 師 器 破片

S-155 c

土 師 器 破片

弥 生 土 器 破片

S-155 金床石? 四方

そ の 他 焼土塊

S-156

土 師 器 破片

S-157

土 師 器 古式土師器 有管式系型?, 高坏群?, 手づくね坏?

弥 生 土 器 罎 1

S-158 暗灰茶色土

須 恵 器 破片

土 師 器 坏 (赤)

弥 生 土 器 破片

S-159 暗灰茶色土

須 恵 器 破片

土 師 器 破片

S-160

土 師 器 古式土師器 高坏群

弥 生 土 器 罎 D?

S-160 褐色土

土 師 器 破片

S-160 淡茶色土

土 師 器 古式土師器 山形系型、有管式系型、庄内式系型、高坏群、高坏群 (包地)

弥 生 土 器 类 (後期)、高坏群 1 (後期)、鉢 4

そ の 他 木炭、焼土塊

S-160 淡茶褐色土

土 師 器 古式土師器 有管式系型、高坏群、高坏群、小型丸底甕、

庄内式系型?、小型特殊器台受皿、坏×高坏、

二重口縁壺 (山形系?)、小型特殊器台型?

百 製 品 ob-F

弥 生 土 器 类 (後期)、鉢 1、鉢 3、高坏群 1×2、器台 (後期)、底 17、底 3

そ の 他 木炭

5-160 黒灰色土

土 器 器	古式土器器	脚付鉢、高坏鉢、布留式茶壺、丸底壺、高坏坏破片、小型筒形器台破片?、小型筒形器台受部?、手づくお茶、山崎壺二重口縁壺、庄内式茶碗片
石 製 品	ob-1F	
布 生 土 器	鉄煎籠? (赤色顔料付)、壺D×壺、壺 (後期?)、壺 (最新式)、鉢4、鉢破片、壺1、器台破片	
土 製 品	塔輪?、加工土器破片	
そ の 他	焼火山岩、焼土塊、灰	

5-160 黄褐色土

土 器 器	古式土器器	高坏坏、高坏鉢
-------	-------	---------

5-160a (主柱)

土 器 器	破片、古式土器器	高坏鉢
-------	----------	-----

5-160 1

土 器 器	古式土器器	丸底壺 (薄手)
-------	-------	----------

5-160 2

土 器 器	古式土器器	小型丸底壺
-------	-------	-------

5-160 3

土 器 器	古式土器器	高坏坏
-------	-------	-----

5-160 4

弥 生 土 器	高坏鉢1×2	
---------	--------	--

5-160 5

土 器 器	古式土器器	高坏鉢
-------	-------	-----

5-160 6

土 器 器	古式土器器	高坏坏
-------	-------	-----

5-160 7

土 器 器	古式土器器	高坏鉢
-------	-------	-----

5-160 8

土 器 器	古式土器器	坏
-------	-------	---

5-160 9

土 器 器	古式土器器	布留式茶壺
-------	-------	-------

5-160 10

土 器 器	古式土器器	高坏坏破片
-------	-------	-------

5-160 11

土 器 器	古式土器器	壺破片 (布留式系?、二重口縁の可能性あり)
-------	-------	------------------------

5-160 12

土 器 器	古式土器器	布留式茶壺
-------	-------	-------

5-160 13

土 器 器	古式土器器	坏?
-------	-------	----

5-160 14

土 器 器	古式土器器	布留式茶壺、破片
-------	-------	----------

5-160 15

土 器 器	古式土器器	布留式茶壺
-------	-------	-------

5-160 16

土 器 器	破片	
弥 生 土 器	破片	

5-160 17

弥 生 土 器	器台1?	
---------	------	--

5-160 18

土 器 器	古式土器器	二重口縁壺 (山崎系)
-------	-------	-------------

5-160 19

土 器 器	古式土器器	坏?
-------	-------	----

5-160 20

弥 生 土 器	壺4	
---------	----	--

5-160 21

土 器 器	古式土器器	坏 (やや暗い、赤褐色、濃い)
-------	-------	-----------------

5-160 22

土 器 器	古式土器器	大壺破片
-------	-------	------

5-160 23

土 器 器	高坏坏破片	
-------	-------	--

5-160 24

土 器 器	古式土器器	高坏鉢、高坏鉢 (中央、在尾系)
-------	-------	------------------

5-160 25

土 器 器	古式土器器	壺?
-------	-------	----

5-160 26

土 器 器	破片	
-------	----	--

5-160 27

土 器 器	破片	
-------	----	--

5-160 28

土 器 器	古式土器器	壺×壺 (両部)
-------	-------	----------

5-160 29

土 器 器	古式土器器	高坏坏破片
-------	-------	-------

5-160 30

土 器 器	古式土器器	高坏坏?
-------	-------	------

5-160 31

土 器 器	破片	
-------	----	--

5-160 32

その他	花崗岩	
-----	-----	--

5-160 33

土 器 器	破片	
-------	----	--

5-161 焼灰茶色土

須石器	壺? (内ナ字消し)、坏IV、坏c、坏破片、壺1、壺IV×IV
土器器	大壺破片、高坏坏破片、高坏鉢?、小壺a? (赤刃)、破破片
石製品	石美、ob-F (2)
弥生土器	壺D、壺 (後期)、乎皮 (中期?)
その他	焼土塊

5-161 茶褐色粘質土

土 器 器	破片
-------	----

5-162

土 器 器	破片
弥生土器	高坏鉢、破片

5-162 焼灰茶色土

須石器	壺 (内ナ字消し)、坏2、壺IV?
土器器	小壺a?、手づくお茶?、古式土器器 布留式茶壺、二重口縁壺、高坏坏破片、庄内式茶壺
石製品	不明石製品 両刃×砂管
白磁	青瓦 (浦田B群)
弥生土器	壺 (後期)、鉢4、器台破片 (後期)、壺2

5-162 茶褐色粘質土

土 器 器	古式土器器	二重口縁壺?
-------	-------	--------

5-162 茶褐色粘質土

土 器 器	庄内系壺×、破片
-------	----------

5-163 赤褐色粘質土

土 器 器	破片
-------	----

5-163

土 器 器	破片
-------	----

5-164

土 器 器	破片
-------	----

5-165

弥生土器	壺 (後期)?、壺1
------	------------

5-165 灰褐色土

弥生土器	壺破片
------	-----

5-165 褐色土 (= 灰褐色土)

弥生土器	破片
------	----

S-166

原産地	斐（内ナテ洞し）
土師器	硬片
弥生土器	甕（後期）破片、破片

S-168

原産地	築前片、坪c
石製品	不埒石製品 砂岩×絶岩

S-169 暗灰茶色土

土師器	破片
弥生土器	破片

S-170

土師器	破片
弥生土器	甕（後期）破片

S-170 1

原産地	産（小田Ⅱ×Ⅲ）
土師器	破片

S-170 2

金属製品	刀子
------	----

S-171

原産地	坪?
-----	----

S-172

原産地	破片
土師器	破片

S-173

原産地	築前片（内ナテ洞し）
弥生土器	破片

S-173 暗灰茶色土

原産地	築前片?
土師器	破片

S-173 灰茶色土

原産地	坪 IV?
-----	-------

S-174

土師器	破片
-----	----

S-175 茶色土 (= 暗灰茶色土)

原産地	坪?
土師器	甕口、坪、破片
弥生土器	破片（後期）
金属製品	釧

S-175 茶色土 1 (= 暗灰茶色土)

土師器	破片
弥生土器	甕（後期）

S-175 暗灰茶色土

原産地	産（小田Ⅱ）
土師器	古式土師器 布器式洗甕、庄内系破片、坪、産2、坪7、坪7、破片
石製品	ob-UP、sand-F、管玉
弥生土器	甕口、甕（後期）破片、甕口1、甕台破片、産1（後期）?

S-175 暗灰茶色土 1

弥生土器	産1
------	----

S-175 暗灰茶色土 2

土師器	坪（手持ちヘラケズリ）、破片
弥生土器	産1×2

S-175 暗灰茶色土 3

弥生土器	甕口1
------	-----

S-175 暗灰茶色土 4

弥生土器	産1
------	----

S-175 暗灰茶色土 5

土師器	甕
-----	---

S-175 暗灰茶色土 6

土師器	坪破片?（手持ちヘラケズリ）
弥生土器	破片

S-175 灰茶色土 1

土師器	破片
-----	----

S-175 黄灰色ブロック土

原産地	坪?
弥生土器	甕（後期）

S-175 黄灰色ブロック土 1

土師器	破片
弥生土器	甕（高坪?（中前））

S-175 黄灰色ブロック土 2

弥生土器	無蓋甕?
------	------

S-175 黄灰色ブロック土 3

弥生土器	甕口1（後期）
------	---------

S-175 黒灰色土

土師器	破片
弥生土器	破片

S-175 黄白色土

弥生土器	産1、破片
------	-------

S-175d

弥生土器	産1
------	----

S-176 暗灰茶色土

土師器	古式土師器 高坪甕、破片
-----	--------------

S-177 暗灰茶色土

土師器	破片
-----	----

S-178

原産地	破片
-----	----

S-179 暗灰茶色ブロック土

原産地	破片
-----	----

S-180 灰茶色土

原産地	破片
土師器	坪×、坪、破片
弥生土器	甕（後期）、坪4、甕台破片、産4
その他	石系瓦

S-180 灰茶色土 1

土師器	甕（内ナテリ、厚手）
-----	------------

S-180 灰茶色土 2

土師器	古式土師器 高坪甕
-----	-----------

S-180 灰茶色土 3

弥生土器	甕（後期）
------	-------

S-180b

土師器	破片
-----	----

S-180 茶灰色土c

弥生土器	産1
------	----

S-180 赤茶色土

金属製品	鉄砲?
------	-----

S-181 暗灰茶色土

土師器	破片
-----	----

S-182 黒灰色土

原産地	甕（竹園後灰あり）
-----	-----------

S-183 淡茶色土

原産地	甕（内ナテ洞し）
-----	----------

S-184

土師器	坪c
-----	----

S-184 黄色ブロック土

原産地	甕破片（内ナテ洞し）、坪?
土師器	産3×4、破片、古式土師器 産1



5-185	土 器 器 破片
弥 生 土 器 高坏類?	
5-185a 灰青色土	
土 器 器 古式土器部 二重口縁壺、高坏破片、布留式深鉢?、小型丸底壺?	
石 製 品 お-F	
弥 生 土 器 壺(後期)?、甕a、甕(後期)、高坏坏(中期)、舞台?、破片	
土 製 品 加工土器破片	
5-185b 黒灰色土	
土 器 器 破片	
5-185d	
土 器 器 破片	
5-185e	
土 器 器 破片	
弥 生 土 器 甕(後期)	
5-185f	
土 器 器 破片	
5-185h	
土 器 器 古式土器部 小型丸底壺	
5-186 灰色土	
土 器 器 破片	
5-187 赭灰茶色土	
土 器 器 手づくね坏?、破片	
5-188	
弥 生 土 器 甕(赤色顔料付)、壺?	
5-189	
弥 生 土 器 破片	
5-190 灰褐色土	
須 恵 器 器 破片	
土 器 器 古式土器部 小型特縁器台脚、高坏坏破片、高坏坏、山原系山?	
弥 生 土 器 布留式深鉢、小型丸底壺	
弥 生 土 器 甕(後期?)、壺口(後期)、高坏坏破片(須恵日式系)、高坏坏、壺1	
石 製 品 お-F	
5-190 赭茶色土	
土 器 器 古式土器部 高坏坏破片、小型丸底壺	
弥 生 土 器 甕(後期)、破片	
5-190 黒灰色土	
土 器 器 古式土器部 布留式深鉢?、小型丸底壺×坏	
弥 生 土 器 甕(西新式?)、甕1?	
5-190d	
弥 生 土 器 甕A?, 破片	
5-190f	
弥 生 土 器 破片	
5-190 1	
土 器 器 古式土器部 大甕破片、坏	
石 製 品 花崗岩破片	
5-190 2	
土 器 器 古式土器部 大甕破片、坏	
弥 生 土 器 壺口(前期?)、甕1	
5-190 3	
土 器 器 古式土器部 小型特縁器台、高坏坏、小型丸底壺、二重口縁壺(山原系)、大甕破片	
5-191	
土 器 器 破片	
5-191 灰色砂	
土 器 器 破片	
5-192	
弥 生 土 器 破片	

5-193 淡茶色土
土 器 器 破片
5-194 赭灰茶色土
土 器 器 破片
5-195 黒灰色土
須 恵 器 器 甕破片?、坏?、甕(小田日×山)、小甕c1?
土 器 器 古式土器部 布留式深鉢、坏破片、壺口1、手づくね坏、坏a、破片
弥 生 土 器 甕c1、甕c2?、甕(西新式)、甕1?、甕1、器台破片
5-195 黒灰色土 1
土 器 器 坏
5-195 黒灰色土 2
土 器 器 手づくね坏
5-195 淡茶褐色土
弥 生 土 器 甕1?
そ の 器 未検
5-196 赭灰茶色ブロック土
須 恵 器 器 甕破片? (内ナゲ消し)
土 器 器 破片
5-197
須 恵 器 器 甕1
土 器 器 破片
5-197 黒灰色土
須 恵 器 器 坏1?、破片
土 器 器 破片
5-197 赭灰茶色土 (=黒灰色土)
須 恵 器 器 破片
土 器 器 破片
5-198
土 器 器 小型a?、破片
須 恵 器 器 陶器破片
5-199
土 器 器 破片
5-200
金 属 製 品 刀?、鉄鍔、鉄釘
5-200 赭茶褐色土
土 器 器 古式土器部 布留式深鉢、破片
金 属 製 品 鉄釘
5-201
須 恵 器 器 破片
土 器 器 破片
5-202
須 恵 器 器 甕1甕1甕1(スチンプ文「金五典書」)
5-202 赭灰茶色土
須 恵 器 器 甕破片? (内ナゲ消し)
土 器 器 破片
5-203
須 恵 器 器 甕?
土 器 器 坏d、破片
5-203 赭灰茶色土
土 器 器 破片
5-204
土 器 器 破片
弥 生 土 器 甕A1×甕(赤色顔料付)
5-205 灰色土
土 器 器 古式土器部 高坏×小型特縁器台?、坏破片、大甕破片
弥 生 土 器 甕c1、甕(後期)、甕1、甕4
そ の 器 未検?

S-205 茶灰色土 1  
土 師 器 古式土師器 環 7, 大甕破片  
弥生土 器 甕 (後期), 甕 1a, 甕 1

S-205 茶灰色土 3  
土 師 器 古式土師器 大甕破片 (山形系?)

S-205 茶灰色土 4  
土 師 器 甕 (V 様式品)

S-206(待置穴)  
土 師 器 破片

S-207  
土 師 器 破片

S-208 茶色土  
土 師 器 破片?

S-208 褐色茶色土  
弥生土 器 破片

S-209  
弥生土 器 器台 7, 破片

S-210a 黄茶褐色土  
土 師 器 破片

S-210b  
土 師 器 破片

S-210c  
土 師 器 環 3, 破片

S-210f  
土 師 器 破片

S-211  
土 師 器 破片

S-212  
須恵 器 甕破片  
土 師 器 破片

S-213  
土 師 器 破片

S-214  
土 師 器 破片

S-215a  
土 師 器 破片

S-216  
土 師 器 破片?

S-217 褐色茶色土  
土 師 器 破片

S-218 褐色茶色土  
土 師 器 破片

S-219  
須恵 器 環?  
土 師 器 環 c3

S-221  
須恵 器 環 a2  
土 師 器 破片?

S-222  
土 師 器 破片  
その 他 焼土類

S-223  
土 師 器 破片

S-224  
須恵 器 破片  
土 師 器 破片

S-226  
土 師 器 皿 a (赤), 破片

S-227  
土 師 器 破片

S-228  
須恵 器 破片  
弥生土 器 破片

S-229  
土 師 器 破片

S-230  
須恵 器 破片  
土 師 器 破片  
瓦 類 破片 (粘土目)

S-230 褐色土  
須恵 器 環 2  
土 師 器 破片  
石 製 品 平円形の石製品 (武器)  
陶 製 陶 器 黒×硯 (鉄胎)

S-230 灰色粘質土  
須恵 器 甕破片, 高坪破片, 蓋 (小田田?)  
土 師 器 破片  
須恵器系青磁 上田 D 類  
木 製 品 下駄  
弥生土 器 甕 (後期), 甕 c 2, 器台脚破片

S-231  
土 師 器 破片

S-232  
須恵 器 甕破片 (内側十字画し)  
土 師 器 破片

S-233 褐色土  
土 師 器 破片

S-234  
土 師 器 古式土師器 大甕破片?, 破片

S-235 淡黄褐色土  
石 製 品 石製 (緑色片岩)  
弥生土 器 甕 c1 (須玖日式), 甕 c2, 甕口 1, 鉢 1, 甕 1

S-235 黄褐色土 1  
弥生土 器 甕口 c (須玖日式)

S-235 黄褐色土 2  
弥生土 器 甕 1

S-235 黄褐色土 3  
弥生土 器 器内脚 1?

S-235b  
弥生土 器 甕口?, 高坪 (須玖日式), 甕 1

S-236  
須恵 器 破片

S-237  
土 師 器 破片

S-238 淡灰茶色土  
須恵 器 環?  
土 師 器 環?  
その 他 焼土類, 炭化物

S-238 灰茶色土  
須恵 器 甕 (小田田?)  
弥生土 器 甕 c2  
その 他 焼土類

S-238 褐色茶色土  
土 師 器 破片

## S-238 黒灰色土

須 恵 器 磁片?
弥 生 器 磁片

## S-239

須 恵 器 家磁片、蓋 (小田目×II)
弥 生 器 古式土師器 布留式土甕、磁片

## S-241

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 磁片

## S-242

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 管c1×2

## S-243

須 恵 器 磁片
----------

## S-244

土 師 器 磁片
----------

## S-245

須 恵 器 磁片
----------

## S-247

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 鉢17

## S-248

土 師 器 磁片?
-----------

## S-249

土 師 器 磁片
----------

## S-251

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 甕2

## S-252

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 陶器

## S-253

土 師 器 磁片
----------

## S-254

須 恵 器 甕 (内面ナデ滑し)
土 師 器 瓶形手、古式土師器 高坏罎 (白色)、高坏罎、磁片
弥 生 土 器 弥生土師器 弥生土師器? 磁片
弥 生 土 器 甕 (鉄胎)、磁片、甕1、甕4

## S-256 緑灰色砂質土

須 恵 器 甕4
弥 生 土 器 家磁片 (西新式?)

## S-257 黄色土

須 恵 器 坏?、磁片
土 師 器 磁片、古式土師器 小型特形器台脚磁片

## S-258

土 師 器 磁片
----------

## S-259 緑灰色土 (= 灰青色土)

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 鉢

## S-259 緑灰色土

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 磁片

## S-259 黒灰色土 1

土 師 器 坏a (糸一般沢庄巻)、磁片
弥 生 土 器 鉢1×2

## S-259 黒色土 (= 黒灰色土)

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 甕c27

## S-259 緑灰色土

土 師 器 磁片
----------

## S-261 緑灰色土

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 甕2
弥 生 土 器 陶器

## S-262 緑灰色土

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 甕? (赤色胎料付)

## S-263 緑灰色土

土 師 器 磁片、古式土師器 大甕磁片?
----------------------

## S-264

土 師 器 磁片
弥 生 土 器 甕 (鉄胎)

## S-265

土 師 器 磁片
----------

## S-267

土 師 器 甕?、坏?、磁片
----------------

## S-268

土 師 器 磁片
----------

## S-269

須 恵 器 磁片
土 師 器 坏×甕門、磁片
弥 生 土 器 甕?

## S-271

土 師 器 磁片
----------

## S-272

土 師 器 磁片
----------

## S-273 緑色ブロック土

須 恵 器 甕?
土 師 器 古式土師器 高坏罎、布留式土甕?、小型特形器台×高坏罎、高坏罎磁片、磁片
石 製 品 おP
弥 生 土 器 甕2

## S-274 灰色ブロック土

須 恵 器 坏c1、磁片
土 師 器 高坏罎?、磁片
弥 生 土 器 弥生土師器 陶器磁片
弥 生 土 器 磁片

## S-275

土 師 器 高坏罎?、磁片
---------------

## S-276 淡茶色土

須 恵 器 甕磁片? (内ナデ滑し)、甕
土 師 器 磁片

## S-277

土 師 器 磁片
----------

## S-278

土 師 器 磁片
----------

## S-279

土 師 器 磁片
----------

## S-281

弥 生 土 器 鉢
-----------

## S-282

弥 生 土 器 甕磁片?
--------------

## S-283

須 恵 器 甕×甕
-----------

## S-284 緑茶色土

須 恵 器 磁片
土 師 器 古式土師器 布留式土甕、高坏罎、大甕、磁片
弥 生 土 器 器台脚磁片?、磁片

## S-285

土 師 器 小皿a?
------------

S-287

須 恵 器 蓋 a27
土 師 器 飯匙手
弥 生 土 師 破片

S-288

土 師 器 古式土師器 破片
弥 生 土 師 罌口 1

S-289 (400)

土 師 器 古式土師器 大腰破片、布智式系儀、二重口縁器 (山崎系?)、破片
弥 生 土 師 罌 1×2

S-291

弥 生 土 師 罌 (後期) 7、破片
---------------------

S-292

須 恵 器 破片
土 師 器 古式土師器 破片

S-293

土 師 器 罌 7、坏、古式土師器 破片
弥 生 土 師 罌 (後期)、罌口 1

S-294

土 師 器 古式土師器 腰破片?、高坏脚?
弥 生 土 師 罌 (後期)、破片

S-296

弥 生 土 師 破片
------------

S-297

土 師 器 破片
弥 生 土 師 器台脚

S-298

土 師 器 破片
----------

S-299

須 恵 器 罌 a×b、坏×破片、罌 4、罌 IV、
土 師 器 罌 27、坏、古式土師器 破片、高坏脚?、高坏坏?
弥 生 土 師 罌 (後期?、赤色顔料付)、罌 (中期)、器台脚、破片
その 他 灰山形

S-299 黄褐色土

須 恵 器 破片
土 師 器 高坏 9、小罌 10 (ハソ罌?)、破片
弥 生 土 師 罌 (中期)
金 属 製 品 磁漆?

S-299 黒灰色土

須 恵 器 罌 坏 7、罌 2×3、罌 (小田日×田A)
土 師 器 破片
弥 生 土 師 罌口 1

S-301

須 恵 器 罌 坏?
弥 生 土 師 高坏? (須玖日式?)

S-302

土 師 器 破片
----------

S-303 浅茶色土

土 師 器 破片
----------

S-304

須 恵 器 罌 坏 1?
土 師 器 破片

S-306

須 恵 器 罌破片
石 製 品 ob-P

S-307

須 恵 器 罌破片、坏 1、罌 2×3
土 師 器 小罌 a7、破片
瓦 類 破片 (近代?)
石 製 品 行形石製品?
須 恵 器 形 輪軸陶器管?
須 恵 器 形 白磁土?
金 属 製 品 銅破片、鉄釘 (a)、不明製品 (i)

S-307 灰色砂質土

須 恵 器 罌 2、破片
土 師 器 破片
瓦 類 破片 (近代?)
石 製 品 mod-AP
須 恵 器 罌? (内野山原?)、輪軸陶器破片
須 恵 器 罌? (伊賀手)
金 属 製 品 磁鉄製品

S-308 茶色土

須 恵 器 罌×罌、坏 7、罌 3
土 師 器 古式土師器 高坏坏破片、高坏×小型特殊器台脚、飯匙手、坏?
破片
肥前系陶磁器 小罌、罌?
須 恵 器 陶器破片
弥 生 土 師 罌 c2、罌 (西原式?)、罌口 1、器台破片?、罌 3、破片

S-309

須 恵 器 罌?
土 師 器 破片

S-309 褐色ブロック

土 師 器 破片
----------

S-311

土 師 器 大腰破片?、罌?
----------------

S-311 暗灰赤色土 (褐色土の可能性あり)

須 恵 器 罌破片
土 師 器 破片
弥 生 土 師 破片

S-311 灰褐色土

須 恵 器 罌 3
土 師 器 坏 d7、破片

S-311 赤灰色土 (=淡褐色土)

須 恵 器 罌 罌 a7、坏×罌
土 師 器 罌 3、坏

S-311 灰白色土

土 師 器 坏の、破片
弥 生 土 師 罌 1

S-312 灰色ブロック土

土 師 器 破片
----------

S-313

土 師 器 破片
----------

S-314

須 恵 器 罌 1
瓦 類 破片?
弥 生 土 師 罌 a×b×罌台、破片

S-316

土 師 器 破片
弥 生 土 師 破片

S-316 黄灰色土

土 師 器 破片
弥 生 土 師 罌?

S-317 黄褐色土

土 師 器 古式土師器 小罌 a7 底破?、坏 9、罌 9、破片
石 製 品 mod-P
弥 生 土 師 罌 a×罌、罌 (後期)、罌台×高坏脚

S-318

土 師 器 破片
弥 生 土 師 破片

S-319

須 恵 器 罌?
土 師 器 破片

S-321

須 恵 器 罌 坏?
土 師 器 破片

5-320	土 器 器 破片
弥 生 土 器 破片	
5-321	須 磨 器 磨破片
5-324	土 器 器 坏c、破片
弥 生 土 器 底1	
5-326	土 器 器 破片
5-327	須 磨 器 破片
須 磨 器 器 須磨陶器破片	
弥 生 土 器 破片	
5-328	須 磨 器 坏2、器4?
土 器 器 古式土器器 布留式美器?、高坏×坏、破片	
石 製 品 石美器	
弥 生 土 器 器c2、底1	
5-328 灰色土	
須 磨 器 破片	
土 器 器 破片	
弥 生 土 器 破片	
破 片 陶器器系青磁器 III、小瓶×輪 III	
5-328 褐色色(A)土	
土 器 器 破片	
5-328 褐色色土	
土 器 器 古式土器器 高坏破片、破片	
弥 生 土 器 器c1	
5-329	土 器 器 破片
5-331	須 磨 器 磨破片?
土 器 器 破片	
5-332	須 磨 器 坏?
弥 生 土 器 破片	
5-332 灰褐色土	
土 器 器 磁器平破片	
5-333	土 器 器 小瓶a、破片
5-334	土 器 器 破片
5-336	土 器 器 破片
5-337 (5-170の遺物の可能性あり)	
須 磨 器 破片、坏?	
褐色土器入破片?	
弥 生 土 器 破片	
5-337 黒色土	
須 磨 器 器、坏1×2、破片	
土 器 器 古式土器器 高坏器、布留式美器?、坏c、破片	
5-337 灰色土	
須 磨 器 高坏破片	
土 器 器 器、坏?	
弥 生 土 器 器4	
そ の 他 ガラス小玉	
5-338	土 器 器 破片
弥 生 土 器 底1、破片	
5-339	土 器 器 破片

5-341	土 器 器 破片
5-342	須 磨 器 磨破片
土 器 器 磨破片、高坏×坏	
弥 生 土 器 器口1	
金属製品 磁器?	
5-343	土 器 器 破片
5-344	須 磨 器 破片
土 器 器 破片	
5-346	土 器 器 破片
5-347	須 磨 器 破片
5-348	土 器 器 破片
弥 生 土 器 破片	
5-349	土 器 器 破片
弥 生 土 器 器(使用)、底1	
5-351	土 器 器 小瓶a×b、坏a
5-352	土 器 器 破片
5-353 褐色色土	
須 磨 器 磨破片、坏IV?	
土 器 器 破片	
瓦質土器 器鉢(15c)、磨碎(流代)	
弥 生 土 器 底2、破片?	
金属製品 磁器(1)	
5-353 灰色砂	
土 器 器 破片	
5-354	土 器 器 大器破片
5-356 (-246b)	
土 器 器 破片	
弥 生 土 器 器破片(9×9)、底1×2	
5-357	土 器 器 破片
弥 生 土 器 磨破片?	
5-358	須 磨 器 坏2
土 器 器 破片	
5-359	土 器 器 古式土器器 庄内式美器、破片
5-361	土 器 器 古式土器器 高坏器、破片
弥 生 土 器 破片	
5-362	土 器 器 破片
5-363	土 器 器 破片
土 器 器 器1土器破片	
5-364	土 器 器 破片
弥 生 土 器 破片	
5-366	土 器 器 破片

S-367	淡茶色土
土 師 器	古式土師器 高坏罎?、破片
弥生土 器	器c1、甕(西新式)

S-367	淡茶色土 1
土 師 器	古式土師器 庄内式系甕

S-367	淡茶色土 2
弥生土 器	器c1

S-367	淡茶色土 3
須 磨 器	器3、破片

S-367	灰色砂
弥生土 器	甕(西新式?)、破片

S-368	
弥生土 器	底2?、破片

S-369	
土 師 器	破片

S-371	
土 師 器	破片
弥生土 器	罎口1

S-372	
土 師 器	破片

S-373	
そ の 他	破七塊

S-374	
土 師 器	破片

S-375	
弥生土 器	破片

S-377	
土 師 器	破片
石 製 品	op-F

S-378	
土 師 器	破片

S-379	
弥生土 器	器7、破片

S-381	
土 師 器	破片

S-383	褐色色土
弥生土 器	器c(赤色顔料付)、破片

S-384	
土 師 器	破片
弥生土 器	破片

S-386	
土 師 器	破片
弥生土 器	瓶1

S-387	
弥生土 器	破片

S-388	
土 師 器	破片

S-389	
そ の 他	焼土塊、灰片

S-391	
土 師 器	破片
弥生土 器	底2

S-392	
土 師 器	破片

S-393	
土 師 器	破片

S-394	
須 磨 器	坏IV(ヘラ型器)

S-396	
須磨器	破片
弥生土 器	底3

S-397	
土 師 器	鉢×甕、古式土師器 布留式系罎?、破片

S-398	
須磨器	燧石片(内ナテ磨し)

S-399	
土 師 器	二重口罎前、破片

S-401	
弥生土 器	甕(後期)、破片

S-402	
そ の 他	焼土塊

S-403	
土 師 器	古式土師器 小型丸底甕(屈曲口縁)、高坏坏?、高坏罎、布留式系甕、山形系甕?
弥生土 器	器A3×1、甕(西新式)、鉢4、高坏罎1

S-403	黒褐色土
土 師 器	古式土師器 高坏罎、布留式系甕?、高坏坏×坏、広口 甕、小型特種器台罎?、大甕破片(山形系?)、小型特種器台受罎、一重口罎前、台付鉢×高坏
弥生土 器	器D(大型)、甕(後期)、甕(廣状底)、高坏罎4、高坏罎2×3、罎台
土 師 器	加工土師破片?

S-404	
土 師 器	古式土師器 小型丸底甕、庄内式系甕、高坏坏、高坏罎、高坏×坏、布留式系甕、坏破片
弥生土 器	器A2、甕(西新式)、罎口1、高坏×器台罎?、罎台1×2、甕1

S-404	黒褐色土
土 師 器	古式土師器 庄内式系甕、高坏×坏、小型丸底甕、布留式系甕、鉢、小型屈曲口罎前、小型特種器台、広口 甕、高坏罎、二重口罎前?、高坏坏、大型甕(山形系?)、台付鉢?
須磨器	器?
弥生土 器	甕(後期)、器B?、甕(西新式)、鉢2×3、鉢4?、罎台2?、底1高1×2、底3×4、底4

S-406	
石 製 品	op-UP
弥生土 器	罎台

S-407	
須磨器	罎×甕(内ナテ磨し)
弥生土 器	破片

S-408	
弥生土 器	罎口1、破片

S-409(=S-1754)	
弥生土 器	底1、破片

S-411	
土 師 器	鉢?
弥生土 器	燧石片、罎口?、底4

S-412	
土 師 器	破片

S-413	
弥生土 器	破片

S-414	
弥生土 器	罎台、破片

S-415	
土 師 器	古式土師器 坏?
弥生土 器	器c1×2、破片

S-417	
弥生土 器	甕(赤色顔料付)、破片

5418	原 意 器 環c3
土 器 器 環a、手づくね環、支脚	
弥生土 器 高2	
5419	土 器 器 薬瓶片、破片
5421 褐色赤色土	土 器 器 破片
5422	弥生土 器 破片
5423	土 器 器 古式土師器 高坏环?、破片
弥生土 器 破片	
5424	弥生土 器 薬瓶片
5426	土 器 器 古式土師器 高坏脚(低平)
5427	原 意 器 薬a
土 器 器 破片	
弥生土 器 破片	
5428	原 意 器 器4
弥生土 器 薬×直破片、薬瓶片	
5429	土 器 器 古式土師器 高坏脚×环、破片
弥生土 器 薬瓶片	
5431	土 器 器 古式土師器 小型特降器台脚
弥生土 器 器台1×2	
そ の 他 火山石?	
5432	弥生土 器 薬瓶片
5433	土 器 器 古式土師器 薬瓶片
弥生土 器 器台?	
5434	弥生土 器 直破片、鉢1、甕1×2
5436	弥生土 器 薬口1
5437	土 器 器 古式土師器 器7、高坏环?
5438	土 器 器 破片
5439 (-S-225d)	弥生土 器 高坏脚、破片
5441	弥生土 器 器(磁器、赤色顔料付)
5442	土 器 器 古式土師器 二重口降崙(山崎系?)
弥生土 器 薬×甕、薬口(中期)	
5443	弥生土 器 瓶1×支脚
5444	石 器 品 and-U?F
5446	弥生土 器 薬瓶片

5-447	弥生土 器 高1×支脚
5-448 (-S-215f)	土 器 器 破片
5-451	弥生土 器 破片
5-452	土 器 器 古式土師器 布留式系甕、破片
弥生土 器 薬瓶片	
5-453	土 器 器 古式土師器 高坏环
弥生土 器 破片	
5-454 (-S-245h)	弥生土 器 破片
5-456	土 器 器 古式土師器 破片
弥生土 器 器台	
5-457	弥生土 器 破片
5-458	弥生土 器 破片
5-459	弥生土 器 薬口×直口、破片
5-461	弥生土 器 鉢1×2、破片
5-462	原 意 器 甕(小田井~III A)
弥生土 器 薬×薬口	
5-463	弥生土 器 器? (赤色顔料付)、甕c17、薬口(中期、赤色顔料付)、器台脚、底1
5-464	原 意 器 小甕a1
土 器 器 破片	
弥生土 器 破片	
5-466	弥生土 器 破片
5-467	弥生土 器 破片
5-468	土 器 器 薬7、破片
5-469	弥生土 器 器×薬瓶片
5-471	土 器 器 破片
5-472	弥生土 器 破片
5-473 (-S-245f)	土 器 器 古式土師器 大薬瓶片(局部)、薬瓶片?
5-474	弥生土 器 破片
5-476	土 器 器 古式土師器 高坏脚?
5-477	弥生土 器 高27、破片
5-478 (-S-246h)	土 器 器 古式土師器 高坏×直口、高坏环
弥生土 器 薬口、高坏脚3×4	

S-478 浅茶灰色プロック土 (wS-240c)

土 師 器 古式土師器 二重口縁器、奥×張、坪?

S-479

弥 生 土 師 器? (赤色顔料付)、重口口、重破片?、高坏器?

S-481

弥 生 土 師 破片

S-482

弥 生 土 師 重口1、破片

S-483

土 師 器 破片

弥 生 土 師 器台

S-484

弥 生 土 師 重口 (中輪)、破片

S-485

弥 生 土 師 破片

S-487

土 師 器 古式土師器 小瓶丸底器、奥?、破片

S-488

土 師 器 古式土師器 高坏破片

弥 生 土 師 破片

S-489 暗灰色土

弥 生 土 師 奥×張

土 師 器 大重破片、破片

肥前系陶磁器 重口×張

S-491

弥 生 土 師 重2×3、破片

弥 生 土 師 奥破片

S-492

弥 生 土 師 器 系輪器器器?

弥 生 土 師 破片

S-493

土 師 器 高坏?

弥 生 土 師 重1×2

S-494

土 師 器 大重破片、破片

S-496

弥 生 土 師 破片

石 製 品 ans-AP

S-497

石 製 品 ans-F

S-498

弥 生 土 師 破片

土 師 器 破片

肥前系陶磁器 新淨器

S-501

弥 生 土 師 器 (内ナ字用し)

弥 生 土 師 破片

S-502

弥 生 土 師 破片

S-503

弥 生 土 師 破片

S-504 暗灰色土

弥 生 土 師 破片

弥 生 土 師 重口 (縁組)、重1、破片

S-506

石 製 品 ans-AP

S-506 暗灰色土

弥 生 土 師 重口×3

弥 生 土 師 重1×2、破片

S-507

弥 生 土 師 高坏?、破片

S-508

弥 生 土 師 器?

S-509

その 他 大山首

S-511

弥 生 土 師 破片

S-512

弥 生 土 師 奥×張

S-513

石 製 品 チャート RP×AP

弥 生 土 師 破片

S-514

弥 生 土 師 破片

S-515

弥 生 土 師 破片

S-517

弥 生 土 師 破片?

S-518

弥 生 土 師 奥破片

S-519

土 師 器 破片、古式土師器 高坏×坪

弥 生 土 師 破片

S-521

弥 生 土 師 破片

S-522

弥 生 土 師 破片

その 他 大山首

S-523

弥 生 土 師 高坏坏?

瓦 類 破片?

S-524

弥 生 土 師 奥×張、坏?、重1 (児尾産?)

土 師 器 坏 (6c-?)

石 製 品 ans-F

弥 生 土 師 器 奥×張 (縁輪陶器)

弥 生 土 師 器 (後期)、奥×張、器台、重1

S-526

弥 生 土 師 奥×張破片、坏

肥前系陶磁器 新淨器? (夕コ器事故?)

弥 生 土 師 重1、破片

S-527

土 師 器 破片

弥 生 土 師 器?、破片

S-528

瓦 類 平瓦 (近世-)

弥 生 土 師 破片

S-528 暗灰色土

弥 生 土 師 坏

瓦 質 土 師 器?

弥 生 土 師 器 (縁組)、破片

S-528 灰褐色土

弥 生 土 師 奥×張、破片

石 製 品 ans-F (児尾産?)

弥 生 土 師 器 奥×張 (赤色系の色顔)



5-529

類	土	器	葉鏡片
---	---	---	-----

5-532

土	器	器	古式土師器 器×葉
---	---	---	-----------

5-533

土	師	器	鏡片
---	---	---	----

5-534 (=5-240)

類	器	器	環 c3
土	師	器	古式土師器 器×葉
類	器	器	葉、葉 (後期)、葉 1

5-536

類	器	器	鏡片
土	師	器	葉鏡片
類	器	器	葉、葉、鏡片
其	の	物	火山岩 (標付書)

5-537

土	師	器	古式土師器 破片
---	---	---	----------

5-538

石	製	品	石炭塊
類	器	器	葉鏡片

5-539

類	器	器	器×葉
土	師	器	古式土師器 小型丸底皿、破片
類	器	器	器跡?

5-541

類	器	器	葉口 (前期)、高坏 7、器台脚、破片
---	---	---	---------------------

5-542

土	師	器	環 (6c-), 環 a? (高)
瓦	製	品	瓦瓦?
類	器	器	葉鏡片

5-543

類	器	器	葉×器
---	---	---	-----

5-546

類	器	器	器×葉
類	器	器	鏡片

5-547

類	器	器	高坏破片 7、破片
---	---	---	-----------

5-548

類	器	器	高坏脚 7、破片
---	---	---	----------

5-548 柱状

類	器	器	葉×器
---	---	---	-----

5-549

土	師	器	古式土師器 有管式系物
類	器	器	高坏脚、破片

5-551

類	器	器	器 c1 × 2
---	---	---	----------

5-552

類	器	器	高坏脚 1 × 2
---	---	---	-----------

5-553

類	器	器	器×葉、破片
---	---	---	--------

5-554 輪状彩色土

土	師	器	鏡片
---	---	---	----

5-556

類	器	器	器×葉
類	器	器	葉鏡片

表土

類	器	器	器 7、葉 (内ナテ消し)、葉 (内内心内)、坏 7、坏 c3、坏 c3、表 1、表 2、表 4
---	---	---	--

土	師	器	古式土師器 高坏×環、高坏破片、有管式系物 7、小型丸底皿、葉、葉脚、坏 c3?、小皿 a? (高)
---	---	---	--

瓦	製	品	平瓦 (瓦後-)、軒瓦?
---	---	---	--------------

石	製	品	and-スタイルバー (1)、砂器破片 7、不明石製品 7、op-F (2)、ob-AP (4)、and-AP (2)、ob-core (1)、and-core (1) 石造丁 (立派系) (1)、and-F (1)、円形磁磁率
---	---	---	--

類	器	器	器×葉
---	---	---	-----

類	器	器	葉付蓋口 (大明年脚)、葉付鏡片、葉付鏡×環、葉付環状脚?
---	---	---	-------------------------------

類	器	器	鏡 7、葉付鏡×小皿 (中器跡) 7、葉破片、葉付脚
---	---	---	----------------------------

類	器	器	輪軸陶器×葉、標跡 (標跡)、標跡 (赤漆系)、紅土、皿 7 (赤漆系)、家屋 7 破、輪破片、輪皿 7、三器土板、破片
---	---	---	--

類	器	器	白磁碗、白磁小皿×環、白磁皿 7、葉付蓋口
---	---	---	-----------------------

白	磁	器	品
類	器	器	器×皿、器 (後期)、葉 1、高坏 (中期)、高坏 1 × 2、表 1、表 4
金	製	品	不明銅製品 (1)、磁漆 (3)
上	製	品	磁石
其	の	物	磁石

表土 10ライン

土	師	器	古式土師器 高坏×環、破片
---	---	---	---------------

類	器	器	破片
---	---	---	----

金	製	品	磁漆 (1)
---	---	---	--------

其	の	物	標土塊
---	---	---	-----

表土 B3

類	器	器	環 (小田目-III)、葉 c3
---	---	---	------------------

土	師	器	古式土師器 有管式系物
---	---	---	-------------

瓦	製	品	葉鏡片
---	---	---	-----

類	器	器	器×葉
---	---	---	-----

類	器	器	破片
---	---	---	----

表土 B4

類	器	器	環 c 破片
---	---	---	--------

土	師	器	古式土師器 有管式系物 7、葉×葉
---	---	---	-------------------

類	器	器	器×葉 (後期)、葉 (後期)、高坏 7、器台破片、器台×支脚、高坏脚?
---	---	---	--------------------------------------

其	の	物	未詳
---	---	---	----

表土 B6

類	器	器	葉 (内ナテ消し)、坏 c3
---	---	---	----------------

土	師	器	古式土師器 有管式系物?
---	---	---	--------------

類	器	器	器×葉 (赤色顔料付)、器台
---	---	---	----------------

其	の	物	未詳
---	---	---	----

表土 B7

類	器	器	器×葉
---	---	---	-----

表土 C4

類	器	器	環?
---	---	---	----

土	師	器	古式土師器 山形系火燒破片 7、高坏×環
---	---	---	----------------------

類	器	器	器
---	---	---	---

類	器	器	有管系? 器×葉、輪軸陶器跡?
---	---	---	-----------------

類	器	器	器? (後期、赤色顔料付)、器台?
---	---	---	-------------------

表土 C5

類	器	器	器×葉、坏 c3、坏破片、表 2、表 3
---	---	---	----------------------

土	師	器	古式土師器 有管式系物、破片
---	---	---	----------------

表土 C7

類	器	器	器×葉、表 2、表 3、表 3 × 4
---	---	---	---------------------

土	師	器	古式土師器 有管式系物 7、葉×葉 (花地)
---	---	---	------------------------

類	器	器	輪軸陶器跡?
---	---	---	--------

類	器	器	器 (後期)、葉 A、葉 (後期)、高坏 7、鉢 1 × 2、表 1
---	---	---	------------------------------------

其	の	物	火口跡
---	---	---	-----

表土 C8

類	器	器	器×葉、坏 IV?、葉 IV?
---	---	---	-----------------

土	師	器	古式土師器 高坏×環、小型丸底皿
---	---	---	------------------

類	器	器	器×小皿 (赤銅器)
---	---	---	------------

類	器	器	器 (後期)、葉口 1、葉口 1 × 2、葉口 (中期)、高坏脚 1 × 2、高坏脚 3、器台
---	---	---	---

金	製	品	鉄塊 (1)、鉄釘 (1)、銅製品 (1)
---	---	---	-----------------------

表土 C10

類	器	器	環破片?
---	---	---	------

土	師	器	古式土師器 有管式系物?
---	---	---	--------------

類	器	器	器? (透明系)、白磁器
---	---	---	--------------

類	器	器	器 (後期) 器×葉、高坏脚 2 × 3、器台 2 × 3
---	---	---	-------------------------------

表土 D0
須 意 器 密×集、破片
土 脚 器 鉢?
瓦 類 平瓦 (近代~)
弥 生 土 器 鉢台、破片

表土 D4
須 意 器 密×集
土 脚 器 鉢台?
瓦 類 平瓦 (外周目)
弥 生 土 器 密×集、蓋 (飯器)

表土 D6
須 意 器 密×集、蓋1、破片
土 脚 器 古式土脚器 蓋
弥 生 土 器 鉢1、底1、破片
その 外 火山奇

表土 D8
須 意 器 集、環c2×3、蓋IV?
土 脚 器 古式土脚器 密×集、高年脚×蓋
石 製 品 P (肥石?)
弥 生 土 器 密×集、開口17、高年脚、高年脚4、鉢台、底1

表土 D10
須 意 器 環c3、環破片、蓋c (内周目~皿A)
土 脚 器 古式土脚器 小型九底台
肥 前 系 陶 磁 器 弥生小皿、小皿 (中趾)、坪、皿×集
陶 磁 製 品 破片
用 意 器 類 石製小皿、瑪瓦碗 (透明釉)
弥 生 土 器 蓋1、蓋 (飯器)、底1

表土 D11
須 意 器 密×集、年×集
土 脚 器 古式土脚器 高年?
瓦 類 平瓦破片
肥 前 系 陶 磁 器 弥生貯器類、弥生碗×小皿、碗×皿 (西澤系)
土 製 品 七輪?

表土 D12
須 意 器 集 (内十字消し)
土 脚 器 古式土脚器 布留式系集?

表土 D15
須 意 器 蓋1、破片
土 脚 器 古式土脚器 布留式系集
肥 前 系 陶 磁 器 弥生碗
陶 磁 製 品 天目茶碗 (瀬戸刀)、破片
弥 生 土 器 蓋 (飯器)、器A、器B、蓋×高年、蓋破片

表土 E3
弥 生 土 器 破片

表土 E5
須 意 器 蓋2×3、環破片
瓦 類 平瓦? (内吞目)
弥 生 土 器 蓋×高年 (赤色顔料付)

表土 E6
須 意 器 環c3、蓋2
土 脚 器 蓋破片
弥 生 土 器 蓋 (飯器)、鉢台?

表土 E7
弥 生 土 器 蓋c3、破片

表土 E8
須 意 器 集 (内十字消し)
土 脚 器 古式土脚器 布留式系集
弥 生 土 器 蓋4

表土 E9
土 脚 器 古式土脚器 密×集
弥 生 土 器 蓋A?、蓋口

表土 E10
弥 生 土 器 高年脚3?、高年脚2×3、底1、破片

表土 E11
須 意 器 鉢?
陶 磁 製 品 弥生小皿×集
弥 生 土 器 蓋口2

表土 E14
須 意 器 密×集、坪c2、蓋4
土 脚 器 古式土脚器 密×集
金 属 製 品 飯鉢 (I)

表土 E4
弥 生 土 器 破片

表土 F5
須 意 器 密×集、坪4×c、蓋3、蓋4
土 脚 器 古式土脚器 布留式系集?、高年脚
弥 生 土 器 密×集、蓋口1、鉢台、底3a
金 属 製 品 飯鉢 (I)

表土 F6
須 意 器 破片
土 脚 器 古式土脚器 高年破片
弥 生 土 器 鉢台、底1

表土 F7
須 意 器 破片
土 脚 器 古式土脚器 山陰系?、高年×小皿特殊鉢台
弥 生 土 器 蓋口、底1×2

表土 F8
須 意 器 破片
土 脚 器 古式土脚器 密×集
弥 生 土 器 蓋1、蓋口 (中期)

表土 F10
土 脚 器 古式土脚器 小型九底底 (厚手)、破片
陶 磁 製 品 肥前陶器

表土 F11
須 意 器 集 (内十字消し)、環c
弥 生 土 器 蓋 (赤色顔料付)、破片

表土 F12
須 意 器 鉢?
土 脚 器 古式土脚器 高年×蓋
弥 生 土 器 蓋 (飯器)

表土 F13
土 脚 器 古式土脚器 布留式系集、高年
石 製 品 amé-chip
弥 生 土 器 蓋 (飯器)、樽 (中趾)、鉢台?、底1

表土 F15
弥 生 土 器 破片

表土 G2
須 意 器 鉢?
肥 前 系 陶 磁 器 弥生貯器類、弥生碗
弥 生 土 器 破片

表土 G3
須 意 器 蓋口
土 脚 器 古式土脚器 小型九底底、高年、布留式系集?
弥 生 土 器 蓋破片
金 属 製 品 飯鉢製品 (I)

表土 G6
須 意 器 密×集、破片
土 脚 器 蓋口 (Se~)、古式土脚器 布留式系集、店內式系集?、高年?
肥 前 系 陶 磁 器 蓋×前
弥 生 土 器 蓋1
金 属 製 品 飯鉢 (I)

表土 G8
須 意 器 環c3
弥 生 土 器 蓋 (飯器)、蓋口 (中期)、底1×2

表土 G9
須 意 器 環c4、環破片
土 脚 器 古式土脚器 蓋破片、坪×高年
弥 生 土 器 蓋2×3

表土 G10
須 惠 器 香×壺
土 師 器 古式土師器 壺破片
弥生土 器 壺 (前期)、高坏×壺 (中期)

表土 G11
須 惠 器 环c2
弥生土 器 香 (赤色顔料付)、壺1、底1、破片

表土 G12
肥前系陶磁器 赤付品?
弥生土 器 香c3、壺口1、破片

表土 G13
土 師 器 古式土師器 布留式系壺、高坏筒
弥生土 器 破片

表土 G14
土 師 器 古式土師器 布留式系壺?、破片
瓦 質 土 器 榑鉢

表土 G15
須 惠 器 榑鉢片
肥前系陶磁器 高坏筒破片、榑鉢筒破片、土甕?
弥生土 器 榑鉢片、底1

表土 G16
弥生土 器 破片

表土 H2
須 惠 器 壺×壺、壺1、底2
土 師 器 壺×壺、高坏?
瓦 質 器 平瓦、平瓦 (近代)
瓦 質 品 香-AF、子ヤード-F
肥前系陶磁器 赤付碗、碗 (刷毛目唐津)
弥生土 器 榑鉢筒破片、高坏筒破片
弥生土 器 器台3

表土 H3
須 惠 器 环、底IV?
土 師 器 古式土師器 壺×壺
弥生土 器 壺 (後期)、高坏?

表土 H4
须 惠 器 古榑鉢筒破片 (底?)
弥生土 器 壺、底1

表土 H5
弥生土 器 壺口1、高坏?

表土 H7
須 惠 器 环c?
土 師 器 榑鉢手
弥生土 器 底4、底1×5、高坏 (中期、赤色顔料付)

表土 H9
須 惠 器 破片
土 師 器 古式土師器 布留式系壺?
弥生土 器 壺口 (後期)、底1、器台

表土 H10
須 惠 器 环c3
弥生土 器 壺破片、底1

表土 H11
須 惠 器 破片
弥生土 器 破片

表土 H12
須 惠 器 榑鉢片?
土 師 器 破片
肥前系陶磁器 缸皿、赤付碗? (能ノ目器台高台)、赤付伝車筒
弥生土 器 榑鉢破片 (唐津系?)
弥生土 器 器台筒、破片

表土 H15
弥生土 器 高坏?、破片

表土 E2
須 惠 器 壺
弥生土 器 壺? (唐津系?)
弥生土 器 破片

表土 E3
弥生土 器 底4?、破片

表土 E4
土 師 器 古式土師器 壺、高坏×坏
弥生土 器 壺 (後期)

表土 E5
須 惠 器 高坏c、底c?
土 師 器 环c2×3、古式土師器 布留式系壺?、小瓶丸底壺、高坏×坏
弥生土 器 壺A1、壺 (後期)、壺口1、破片

表土 E6
肥前系陶磁器 甕? (唐津?)
弥生土 器 甕?
弥生土 器 破片

表土 E8
肥前系陶磁器 赤付皿×碗
弥生土 器 破片

表土 E9
須 惠 器 破片
土 師 器 古式土師器 内式系壺?
弥生土 器 香×壺

表土 E10
須 惠 器 壺 (内子型同シ)
肥前系陶磁器 赤付破片
弥生土 器 破片 (唐津?)
弥生土 器 壺 (後期)、壺 (四脚式?)、底1?

表土 E11
須 惠 器 壺
土 師 器 古式土師器 高坏筒?
弥生土 器 壺2、钵×壺、高坏×底4

表土 E12
須 惠 器 壺
瓦 質 土 器 榑鉢?
弥生土 器 破片

表土 E13
須 惠 器 破片
肥前系陶磁器 赤付碗?
弥生土 器 破片

表土 E21
須 惠 器 香×壺
弥生土 器 壺A?

表土 E2
須 惠 器 壺 (小田目×皿A)
土 師 器 环×底a (赤)、古式土師器 壺×壺破片
弥生土 器 器台

表土 E4
須 惠 器 破片
土 師 器 古式土師器 壺、高坏筒
弥生土 器 壺、高坏?、器台、底1

表土 E5
須 惠 器 壺?
土 師 器 古式土師器 壺×壺
瓦 質 平瓦
石 製 品 sand-F
弥生土 器 壺×壺、壺口2、钵×高坏、底4

表土 E6
弥生土 器 破片

表土 E9
瓦 質 平瓦 (近代一)
弥生土 器 破片

## 表土 J10

須 惠 器	破片
土 師 器	飯把手
國 産 陶 器	樋口破片?
弥 生 土 器	釜、高坏×坏、高坏脚、底4、底1×2

## 表土 J11

須 惠 器	罍 (内ナテ消し)、坏破片
肥前系陶磁器	刺皿
弥 生 土 器	罍×受破片
金 属 製 品	鉄鍔

## 表土 J12

須 惠 器	罍、破片
土 師 器	箸?、破片
弥 生 土 器	破片

## 表土 J13

須 惠 器	罍破片 (内ナテ消し)、破片
瓦 質 土 器	漆器破片
弥 生 土 器	破片

## 表土 J15

土 師 器	古式土師器 二重口埴坛 (山形系?)
-------	--------------------

## 表土 J16

弥 生 土 器	破片
---------	----

## 表土 K2

須 惠 器	罍、坏c3
土 師 器	古式土師器 高坏?
弥 生 土 器	罍c1、罍×罍、樋口 (中期)

## 表土 K4

須 惠 器	罍4、破片
弥 生 土 器	破片

## 表土 K5

須 惠 器	罍17
弥 生 土 器	罍17、破片

## 表土 K7

須 惠 器	大罍c1、罍
土 師 器	古式土師器 布留式罍?
国 産 陶 器	破片
弥 生 土 器	罍1

## 表土 K8

弥 生 土 器	破片
---------	----

## 表土 K9

須 惠 器	罍 (内ナテ消し)、坏?
土 師 器	飯把手、古式土師器 罍
肥前系陶磁器	漆付鉄、漆付皿×罍
国 産 磁 器	合磁器×罍
弥 生 土 器	罍×罍、破片

## 表土 K10

須 惠 器	罍 (内ナテ消し)
土 師 器	古式土師器 罍坏×坏、高坏?
弥 生 土 器	罍1、罍2

## 表土 K11

弥 生 土 器	罍1、破片
---------	-------

## 表土 K13

須 惠 器	破片
弥 生 土 器	破片

## 表土 L2

須 惠 器	罍7、高坏
土 師 器	古式土師器 高坏脚
瓦 質 土 器	漆钵?
国 産 陶 器	(無縁) 罍?
弥 生 土 器	罍1、高坏、漆钵

## 表土 L3

弥 生 土 器	罍口17、破片
---------	---------

## 表土 L4

須 惠 器	坏c?
弥 生 土 器	罍×罍、高坏坏?、高坏脚4?、钵7、钵台破片、底1

## 表土 L5

須 惠 器	罍×罍、坏c3×4、罍4
弥 生 土 器	罍1

## 表土 L6

弥 生 土 器	破片
金 属 製 品	漆钵? (1)

## 表土 L7

弥 生 土 器	破片
---------	----

## 表土 L9

須 惠 器	罍 (内ナテ消し)
金 属 製 品	漆钵? (1)

## 表土 L10

須 惠 器	罍 (内ナテ消し)
弥 生 土 器	罍口1、破片

## 表土 L11

須 惠 器	罍 (内ナテ消し)、罍? (小田1罍)?
弥 生 土 器	破片

## 表土 L12

須 惠 器	罍c?、罍×高坏、坏IV
土 師 器	古式土師器 高坏脚、钵?
瓦	罍平定?
石 製 品	ash-p × AP
弥 生 土 器	破片

## 表土 L13

須 惠 器	坏IV、罍×坏
弥 生 土 器	罍4、破片

## 表土 L14

須 惠 器	坏a
弥 生 土 器	罍 (狭縁)、破片

## 表土 M3

瓦	罍平瓦破片 (透透?)
弥 生 土 器	罍口1

## 表土 M4

須 惠 器	罍
弥 生 土 器	钵台破片、底4、罍1、罍 (狭縁)、高坏脚4

## 表土 M5

須 惠 器	罍 (小田II~IIIA)
土 師 器	飯把手、破破片、古式土師器 高坏脚
弥 生 土 器	破片

## 表土 M6

須 惠 器	罍 (内ナテ消し)
石 製 品	sp-P
弥 生 土 器	罍L1

## 表土 M9

須 惠 器	坏?
土 師 器	古式土師器 高坏坏?
国 産 磁 器	罍 (狭縁~)
弥 生 土 器	钵台?

## 表土 M9

土 師 器	破片
-------	----

## 表土 M10

須 惠 器	坏破片、罍1
弥 生 土 器	破片

## 表土 M11

須 惠 器	罍 (内ナテ消し)、坏IVa?
土 師 器	飯把手
石 製 品	高坏石 (无草道?)
弥 生 土 器	罍口1、高坏?、破片

表土 M12

領 意 部	築 (内ナ字頭シ)、築c7、環×量 (ヘラ記号)、量IV?
領 意 部	破片 (青漆系?)
領 意 部	磁片 (磁付) 皿×磁
領 意 部	高年破片、底1、破片

表土 M13

領 意 部	環 IVb?, 量IV?
領 意 部	肥前系陶磁器 磁付破片
領 意 部	窯口1

表土 M14

領 意 部	築 (内ナ字頭シ)、環 (小田 III?) 破片
領 意 部	器台2×3

表土 M15

領 意 部	磁片
-------	----

表土 N0

領 意 部	環?
領 意 部	磁片
領 意 部	その他 火山岩

表土 N8

領 意 部	穿破片、環 (小田 III?)
領 意 部	古式土師器 高年環 (磁片)
領 意 部	器台?

表土 N9

領 意 部	古式土師器 高年環、破片
-------	--------------

表土 N11

領 意 部	築×量、高年?、環IV、量IV?、小量ca2
領 意 部	高年環、破片

表土 N12

領 意 部	築 (内ナ字頭シ有?)、環 IVA?, 破片、量IV?
領 意 部	青漆系? 破片
領 意 部	磁片?
領 意 部	築×量、高年環?、破片

表土 N13

領 意 部	築 (内ナ字頭シ)、環 IVA、環c7、量 (小田 II ~ IIIA)
領 意 部	古式土師器 高年環、高年破片
領 意 部	肥前系陶磁器 皿 (青漆)
領 意 部	磁片
領 意 部	底c3、築 (後期)、底1

表土 N14

領 意 部	環 (小田 II ~ IIIA 類)
領 意 部	磁片

表土 N15

領 意 部	破片
領 意 部	器台破片

表土 O10

領 意 部	築×量、量?
領 意 部	古式土師器 布留式系環、高年環、高年環、環?
領 意 部	磁片
領 意 部	焼土塊

表土 O11

領 意 部	築 (内ナ字頭シ)、環c7、量3
領 意 部	築 (後期)?、高年破片?

表土 O14

領 意 部	小量c2
領 意 部	古式土師器 高年環

表土 O14

領 意 部	小量c2
領 意 部	古式土師器 高年環
領 意 部	厚瓦破片

表土 P10

領 意 部	築×量、量1
領 意 部	環a (赤)
領 意 部	高年石 (天草産?)

表土 P13

領 意 部	築、環×量、環?、環c、量IV
領 意 部	古式土師器 高年環 (磁片)、小型特殊器台環、量×量
領 意 部	窯口1

表土 P14

領 意 部	破片
領 意 部	磁片

表土 Q14

領 意 部	破片
領 意 部	窯口1、窯口2、破片

褐色土

領 意 部	古式土師器 高年?
領 意 部	小型柱状石斧 (縄文系) AP (緑色片羽)、and-F (1)、 ob-F (1)、ob-A (2)、石器 (and)、石槍? (及着系)

褐色土 H4ライン

領 意 部	磁片
-------	----

褐色土 B4

領 意 部	古式土師器 高年環?、高年環 (内訳耐鉢1?年?)
領 意 部	量×量

褐色土 B5

領 意 部	量×量
-------	-----

褐色土 C4

領 意 部	古式土師器 量×量
領 意 部	築 (後期)、破片

褐色土 C7

領 意 部	築破片?
領 意 部	窯口1

褐色土 D7

領 意 部	環?
領 意 部	高年ap-F
領 意 部	破片、器台?

褐色土 D10

領 意 部	築×量
-------	-----

褐色土 E4

領 意 部	破片
領 意 部	古式土師器 量×量
領 意 部	磁片

褐色土 E10

領 意 部	磁片
-------	----

褐色土 E12

領 意 部	古式土師器 高年
領 意 部	磁片? (赤色原料?)

褐色土 E13

領 意 部	古式土師器 量×量破片
-------	-------------

褐色土 F3

領 意 部	古式土師器 布留式系環?
領 意 部	磁片

褐色土 F4

領 意 部	築破片
領 意 部	高年土師

褐色土 F5

領 意 部	環×量
領 意 部	古式土師器 布留式系環?
領 意 部	磁片

褐色土 F6

領 意 部	環×高年、器台2×3
-------	------------

褐色土 F7

領 意 部	築 (内ナ字頭シ)、環?
領 意 部	古式土師器 高年環?
領 意 部	磁片

褐色土 F10  
弥生土器 高坏×甕

褐色土 G3  
土 器 部 古式土器部 高坏×环、甕  
弥生土器 破片

褐色土 G7  
弥生土器 破片

褐色土 G11  
須 恵 部 坏c  
石 製 品 and-AP  
弥生土器 甕×甕、甕口、甕台、甕1  
縄文土器 钵  
金属製品 板状物品

褐色土 G15 ワイン  
弥生土器 甕口17、破片

褐色土 H5  
弥生土器 破片

褐色土 H7  
土 器 部 古式土器部 庄内式系类 (タタキ)  
弥生土器 甕、高坏破片

褐色土 H8  
弥生土器 破片

褐色土 H9  
弥生土器 甕 (赤色顔料付)、甕、甕台

褐色土 I3  
弥生土器 甕1×2、钵1×2

褐色土 I5  
須 恵 部 坏?  
弥生土器 甕×甕

褐色土 I7  
弥生土器 甕口17

褐色土 I8  
弥生土器 甕台

褐色土 I9  
弥生土器 钵1、破片

褐色土 J4  
土 器 部 古式土器部 高坏×坏  
弥生土器 甕?

褐色土 J5  
土 器 部 古式土器部 甕?  
弥生土器 破片

褐色土 J9  
弥生土器 破片

褐色土 J11  
弥生土器 破片

褐色土 K5  
弥生土器 破片

褐色土 K7  
須 恵 部 甕 (内ナテ消し)  
弥生土器 甕? (赤色顔料付)

褐色土 K9  
須 恵 部 甕 (内ナテ消し)  
土 器 部 坏a (高)、古式土器部 甕?、坏?  
肥前系陶磁器 钵?  
国産磁器 钵? (国産系?)

褐色土 K10  
土 器 部 高坏?

褐色土 K11  
土 器 部 甕口 (Se~)

褐色土 K11 ~12  
弥生土器 甕破片

褐色土 K12  
土 器 部 小皿a7  
弥生土器 甕台7、甕5a、破片

褐色土 L5  
須 恵 部 甕×甕  
弥生土器 破片

褐色土 L9  
須 恵 部 甕 (内ナテ消し)  
弥生土器 甕×甕、高坏破片

褐色土 L12  
須 恵 部 坏IV、甕IV?

褐色土 M3  
土 器 部 甕×甕

褐色土 M9  
土 器 部 古式土器部 甕×高坏  
弥生土器 破片

褐色土 N3  
弥生土器 破片  
その 他 青玉砂利 (白色)

褐色土 N9  
弥生土器 甕破片、高坏破片

褐色土 N12  
須 恵 部 甕 (ナテ消し)、坏IV (2)、坏? (ヘア記号)  
弥生土器 甕、破片

褐色土 N13  
石 製 品 不明石製品

褐色土 N14  
弥生土器 破片

褐色土 O9  
土 器 部 古式土器部 高坏、破片

縄沢系色土  
須 恵 部 大甕a、甕 (内ナテ消し)、坏c2×3、坏IV? (ヘア記号?)、甕17  
土 器 部 甕把手、甕破片、古式土器部 泡盛式甕?  
弥生土器 甕、甕×高坏、甕口17、高坏脚4、钵、支脚?  
土 製 品 土器

縄沢系色土 M4  
土 器 部 古式土器部 破片  
弥生土器 甕破片

縄沢系色土 M5  
須 恵 部 破片  
土 器 部 古式土器部 甕破片、丸底甕?  
弥生土器 甕口 (後期)、甕台、底4

縄沢系色土 M11  
須 恵 部 甕IV、甕 (内ナテ消し)、甕3、坏×甕  
土 器 部 古式土器部 高坏×坏  
弥生土器 大甕 (西新式?)、高坏脚、高坏脚2×3  
土 製 品 土器×粘結帯

縄沢系色土 M14  
弥生土器 甕台、底9?

縄沢系色土 N10  
須 恵 部 甕 (内ナテ消し)、坏IV、坏a×c、甕 (小田II~IIIa)  
弥生土器 甕台、破片  
その 他 火山岩

縄沢系色土 N11  
須 恵 部 坏IV?  
弥生土器 甕破片

種別	茶色土 N12
調査	環 IV7、蓋 IVB、破片
土層	破片 (青漆灰?)
出土	惣 (後期)、燧石片、高環脚 1×2、器台×高環、底 5a7、底 2×3

種別	茶色土 N13
調査	葉 a7 (漆灰状あり)、環 IVA7、蓋 IVA、蓋 IVB7
土層	手づくね環 3、蓋 IV7 (漆器器の残骸?)
出土	破片

種別	茶色土 Oライン
調査	葉 (内ナテ無し)
出土	蓋 A2b

種別	茶色土 O10
調査	蓋×器、蓋 (小田原?)
土層	小皿 a7
出土	蓋×鉢、蓋 (後期) 破片、高環破片、器台?

種別	茶色土 O11
出土	燧石片、高環脚

種別	茶色土 O12
調査	葉 (内ナテ無し)、環破片
土層	轆把手、壺口 (Se~)、古式土器器 高環?
石製	高 op-F
出土	器 c37、高環脚 2×3

種別	茶色土 O13
調査	蓋×器、蓋 (内ナテ無し)、環?、環 IV×B、環 (小田原~HIA)
土層	古式土器器 環、環?、蓋?
出土	蓋×鉢、燧石片、壺口 2、高環破片、高環脚 3、蓋?

種別	茶色土 O14
調査	蓋 (内ナテ無し)、蓋 a7、環 c 破片?
土層	燧石片
出土	器台、底 5a

種別	茶色土 F10
調査	葉 (内ナテ無し)
出土	破片

種別	茶色土 F12
調査	蓋×器、蓋 (内ナテ無し)、環×蓋、蓋 4
土層	古式土器器 器蓋式器、天蓋 (在軸?)、蓋×器
出土	器?、蓋 B×高環、蓋 (後期)、高環破片、器台脚?

種別	茶色土 F13
調査	蓋×器、蓋 (内ナテ無し)、環?
出土	蓋 (後期)、高環、器台、底 1、底 2×3、底 4

種別	茶色土 F14
調査	環×蓋 (IV)
土層	轆把手
出土	器 (後期)、底 1、底 4

種別	茶色土 F.Q-12.13
調査	葉 (内ナテ無し)、環×蓋
土層	古式土器器 高環脚、蓋×燧石片、手づくね環、高環脚 (轆手) 小皿瓦器器
出土	器 c1、蓋 c2 (赤色原料付)、蓋×高環、高環脚、高環脚 1、 高環脚 4、器台 2×3、底 1、底 8

種別	茶色土 Q13
出土	破片

種別	茶色土 Q14
調査	燧石片
土層	手づくね環?
出土	壺口 (後期)、高環破片、器台、底 17、底 4

殿城戸7次遺物観察表凡例

R番号とは遺物に付与された整理番号で、収蔵後の検索にはこの番号を用いる。  
土器以外の法量は口径・高さ・底径を、長さ・幅・厚みに読み変える。  
数値後の+は欠損状況での数値、\*は復元状況での数値で表記している。

石器観察表について

観察表中の略号は次のとおり。

ob (黒曜石)、and (安山岩)、F (剥片)、RF (二次加工のある剥片)、

UF (微細剥離など使用痕のある剥片)、AP (石鏝)

殿城戸7次石器観察表凡例

石器の設置方向は、剥片の場合は剥離面の打点部分を上とし、リングの広がり  
の中心部分を下としている。石核の場合は最終剥離面ないし最も明確な剥離面を正面  
としている。

長さの測定はノギスを、重量の測定には0.1桁表示の電子測りを使用した。

+は欠損値、\*は復元値、-は測定不能の状況を示している。

石材の内、安山岩には青黒味を帯びる灰色系のもと白味を帯びる灰色系のもの  
があり、白味のものには備考欄にその旨を記載している。

殿城戸7次遺物観察表(1)

遺物	No.	部 種	図録番号	写真番号	R番号	口 径		底 径	外 面				内 面				備 考 (+は欠損、*は復元値)
						cm	cm		円口径	なで	はげ	けずり	みがき	なで	はげ	けずり	
75B095f	(S-95 f)	1 環 坏c	31	25-52	001	-	1.5+	-		○				○			
75B210c	(S-210 c)	1 古土師 坏×高坏	32	25-52	001	12.2*	3.3+	-		○	○	○	○			○	
75B240 b	(S-240 b)	1 陶土 蓋	32	25-53	001	-	-	-		○	○			○	○		
*	(S-240 b)	2 陶土 底1	32	25-52	002	-	4.3+	-						○			
75B240 e	(S-240 e)	3 陶土 底1	32	-	001	-	2.8+	-									
*	(S-240 e)	1 古土師 高坏	32	25-52	002	-	1.2+	-						○		○	内面 放射状みがき
*	(S-240 e)	2 古土師 高坏脚	32	25-52	003	-	0.9+	-						○	○		放射状みがき
75B240 f	(S-249)	1 古土師 蓋(布留式系)	32	25-52	001	-	2.6+	-		○				○			
*	(S-249)	2 古土師 二重口縁蓋(山形底)	32	25-52	002	14.8*	3.5+	-		○				○			
75L155 茶褐色土	(S-155 茶褐色土①)	1 土師 蓋	33	25-54	001	13.0*	5.9+	-		○	○			○			
*	(S-155 茶褐色土②)	2 土師 小胆丸底蓋	33	25-54	001	8.4*	10.1	3.0*		○	○			○			
*	(S-155 茶褐色土③)	3 土師 坏	33	25-54	001	14.8*	5.4	6.0*		○				○			
*	(S-155 茶褐色土④)	4 土師 瓶	33	25-54	001	23.8*	24.7	8.6*		○	○	○		○	○		備付書
75L155 赤褐色土	(S-155 カマド赤褐色土①)	1 土師 広口煎	33	25-54	001	11.8*	13.0+	-		○	○			○	○		工具状なで
75L160	(S-160 ①)	3 古土師 蓋(布留式系)	33	26-57	011	18.4*	6.9+	-		○	○			○	○		縁はけ底、横はけ
*	(S-160 ②)	2 古土師 蓋(布留式系)	33	25-55	004	18.6*	4.5+	-		○				○	○		
*	(S-160 ③)	1 古土師 蓋(布留式系)	33	25-56	008	15.6*	5.2+	-		○				○	○		
*	(S-160 ④)	4 古土師 高脚煎(布留式系)	33	26-59	006	13.4	6.3	5.0			○	○		○			摩子



殿城戸7次遺物観察表(2)

遺 物	No.	器 種	国産番号	写真番号	尺番号	口 径	高 寸	底 径	外 面				内 面				備 考 (○は欠損、*は複製品)			
									明き目	なで	はけ	けずり	みがき	なで	はけ	けずり		みがき		
75I160	(S-160①)	5	六十脚 二重口縁蓋 (山陰系)	33	26-58	019	-	7.7+	-	○				○	○			大型品 75D100黒灰色上出土と同じか		
	(S-160②)	6	古土脚 高坪	33	26-61	009	21.0	11.2	12.4*											
	(S-160③)	7	古土脚 高坪 坪	33	26-61	007	17.8	5.0+	-	○										
	(S-160 24)	8	古土脚 高坪 脚	33	27-42	003	-	5.1+	-			○							打ちかき痕あり	
	(S-160④)	9	養生 高坪 脚	33	27-42	005	-	9.5+	-										打ちかき痕あり	
	(S-160⑤)	10	古土脚 小型丸底蓋	33	27-63	001	13.6	6.3	5.0			○			○					
	(S-160⑥)	11	古土脚 坪	33	26-60	002	12.4*	3.45	5.2*			○			○					
	75I160 黒灰色土	(S-160 黒灰色土)	1	古土脚 壺(有蓋式系)	34	27-64	003	-	3.3+	-			○							
	*	(S-160 黒灰色土)	2	古土脚 二重口縁蓋 (山内式系)	34	27-64	002	-	3.3+	-			○							
	*	(S-160 黒灰色土)	3	古土脚 二重口縁蓋 (山内式系)	34	-	009	-	6.1+	-										
*	(S-160 黒灰色土)	4	古土脚 仏門蓋 Y 様式系	34	27-64	001	-	4.0+	-			○			○					
*	(S-160 黒灰色土)	5	古土脚 高坪 脚	34	27-64	008	-	2.9+	-			○			○					
*	(S-160 黒灰色土)	7	古土脚 小型丸底蓋	34	27-64	007	-	4.5+	-			○			○					
*	(S-160 黒灰色土)	8	古土脚 小型丸底蓋	34	27-63	006	9.8	6.5+	-			○			○					
*	(S-160 黒灰色土)	9	古土脚 小型丸底蓋	34	27-64	005	-	3.4+	-					○	○	○			工具状などで、黒色を呈す。	
*	(S-160 黒灰色土)	6	古土脚 高坪 坪	34	27-64	004	18.4	2.5+	-											
*	(S-160 黒灰色土)	10	古土脚 高台付鉢	34	-	019	-	4.4+	6.9*			○			○				工具状などで 赤田田田～田田	
75I170	(S-170①)	1	茶 杯蓋	34	28-65	001	12.4*	4.9	-			○			○					
75I175 茶色土	(S-175 茶色土)	1	茶 杯身	34	-	001	-	3.0+	-						○					
*	(S-175 茶色土)	2	土脚 壺	34	-	002	13.7*	2.8+	-			○								
75I175 暗灰色土	(S-175 暗灰色土①)	1	土脚 坪	34	28-66	001	15.6*	5.8	5.6*			○			○					
75I175 黄灰色ブロック土	(S-175 黄灰色ブロック土①)	1	養生 鉢	34	28-67	001	8.0*	6.1	4.0						○				丹塗り	
75I175d	(S-175 d)	1	養生 皿 1	34	28-67	001	-	2.2+	6.2*			○								
75I180 茶灰色土	(S-180 茶灰色土)	1	茶 壺	34	28-68	001	-	1.75+	-						○					
*	(S-180 茶灰色土)	2	土脚 坪	34	28-68	002	-	2.7+	-											
*	(S-180 茶灰色土①)	3	土脚 壺	34	28-68	003	-	6.1+	-			○								
75I185 茶灰色土	(S-185 茶灰色土)	1	古土脚 壺(有蓋式系)	34	28-68	002	-	4.3+	-			○								
*	(S-185 茶灰色土)	2	古土脚 小型丸底蓋×坪	34	28-68	001	-	2.5+	-			○			○					
*	(S-185 茶灰色土)	3	養生 加工土器片	34	28-68	003	4.4	6.7	1.5										(縦・横・厚さ)	
75I185h	(S-185 h)	1	古土脚 小型丸底蓋	34	28-68	001	-	3.8+	-			○			○					
75I190 暗茶色土	(S-190 暗茶色土)	1	古土脚 高坪 坪	34	29-72	001	-	3.0+	-			○			○					
*	(S-190 暗茶色土)	2	古土脚 小型丸底蓋	34	29-72	002	-	3.9+	-			○								
75I190	(S-190①)	1	古土脚 二重口縁蓋	34	29-72	002	-	3.9+	-						○					
*	(S-190②)	2	古土脚 高坪 脚	34	29-70	004	-	6.6+	-						○	○	○			打ちかき痕あり
75I190	(S-190③)	3	古土脚 小型丸底蓋	34	29-72	003	13.0*	4.7+	-			○			○	○	○			
*	(S-190④)	4	古土脚 小段付縁蓋台	34	29-71	005	10.2*	8.4	5.2*			○			○	○	○			
*	(S-190⑤)	5	古土脚 坪	34	28-69	001	13.4*	4.1	5.2*	○					○	○	○			

殿城戸7次遺物観察表(3)

遺 物	No.	部 種	図版番号	写真番号	寸 法	口 径	高 さ	底 径	外 径				内 径				備 考 (※は欠損、●は埋戻)	
									印目目	なで	はけ	けずり	みがき	なで	はけ	けずり		みがき
78I195 黒灰色土	(S-195 黒灰色土)	1	傾	坏蓋	34	29-73	002	12.8*	3.5+	-	○							
○	(S-195 黒灰色土)	4	土師	甕	34	29-73	003	16.8*	7.9+	-	○	○						
○	(S-195 黒灰色土)	3	土師	坏a	34	29-73	001	-	3.1+	7.2*	○		○	○				底部へらけずり
○	(S-195 黒灰色土①)	2	土師	坏	34	29-74	001	13.2	6.1	5.0	○	○						手持ちへらけずり
○	(S-195 黒灰色土②)	3	土師	平づくね坏	34	29-74	001	3.2	3.8	-	○							
78I205 茶灰色土	(S-205 茶灰色土①)	4	弥生	甕1	35	-	001	-	2.6+	-								風化の為調査不明
○	(S-205 茶灰色土①)	5	弥生	甕1	35	-	002	-	3.0+	-	○	○						
○	(S-205 茶灰色土①)	3	弥生	甕口1	35	-	003	-	2.3+	-								風化の為調査不明
○	(S-205 茶灰色土①)	3	弥生	甕口1	35	-	004	-	2.6+	-	○							
○	(S-205 茶灰色土①)	1	古土師	甕 Y 腫式系	35	29-73	001	13.2*	28	6.7	○		○	○	○	○		
78I215 黄褐色土	(S-215 黄褐色土①)	1	弥生	須磨器 (須磨日式)	35	30-77	001	13.0*	8.8+	-	○	○		○	○			赤色顔料塗布
○	(S-215 黄褐色土②)	2	弥生	須磨1	35	30-76	001	-	9.5+	6.2								一部赤色顔料が残る。
○	(S-215 黄褐色土③)	3	弥生	須磨器	35	30-76	001	-	8.8+	12*	○							
78I215 淡黄褐色土	(S-215 淡黄褐色土)	1	弥生	須磨器 (須磨日式)	35	30-77	001	12.6*	4.8+	-			○	○				口縁部に穿孔。赤色顔料塗布
○	(S-215 淡黄褐色土)	3	弥生	甕	35	30-77	002	-	5.3+	-	○							赤色顔料付着 003 と同一層の中
○	(S-215 淡黄褐色土)	2	弥生	袋状口縁器 (須磨日式系)	35	30-77	003	9.8*	2.4+	-								赤色顔料付着
78I215 b	(S-215 b)	3	弥生	高坪 坏蓋	35	-	001	-	3.8+	-	○			○	○			
○	(S-215 b)	2	弥生	袋×甕蓋1	35	-	002	-	5.4+	-			○	○				風化の為調査不明
○	(S-215 b)	1	弥生	甕口1	35	-	003	-	2.3+	-								
78I210 暗灰青色粘質土	(S-10 暗灰青色粘質土)	1	土師	小皿 b	36	31-78	001	7.4*	1.7	5.0	○							赤切り
○	(S-10 暗灰青色粘質土)	2	土師	坏	36	-	002	-	2.15+	-	○							
78I210 灰黒色砂質土	(S-10 灰黒色砂質土)	1	瓦質	大鉢	36	31-78	001	-	8.3+	-	○				○			
○	(S-10 灰黒色砂質土 12a ①)	2	木製品	柄	36	31-79-80	001	-	4.0+	-								外面は黒漆 内面は赤漆
○	(S-10 灰黒色砂質土 12a ②)	3	木製品	柄	36	31-79-80	001	-	3.5+	-								外面は黒漆 内面は赤漆
○	(S-10 灰黒色砂質土 12a ③)	4	木製品	柄	36	31-79-80	002	-	1.2+	-								外面は黒漆 内面は赤漆
78I210 灰青色粘質土	(S-10 灰青色粘質土 ①)	1	土師	小皿 b	36	31-78	001	6.8*	1.8	4.7	○							赤切り
○	(S-10 灰青色粘質土 ②)	2	土師	小皿 b	36	31-78	001	7.4*	1.7	4.9*	○							赤切り
78I210 明灰色粘土	(S-10 明灰色粘土)	1	土師	坏a	36	31-78	001	-	0.8+	-	○							赤切り
78E230	(S-230)	1	瓦	平瓦	36	-	001	-	3.0+	1.55	○							粘土目付き
78E230 暗灰色土	(S-230 暗灰色土)	1	陶師	皿	36	31-78	001	-	1.4+	3.4*								鉄絵
78E230 灰青色粘質土	(S-230 灰青色粘質土)	1	青磁	碗	36	31-78	001	-	3.2+	-								上田口瀬
○	(S-230 灰青色粘質土)	2	木製品	下敷	36	32-41	002	18.2	8.3	2.3								縦目取り (粘土最層)
78D905	(S-5)	1	土師	種鉢	37	32-42	001	-	10.8+	-	○							
78D100 茶色土	(S-100 茶色土)	1	古土師	甕 (空内式系)	38	36-89	004	15.0*	10.2+	-	○	○	○	○	○			
○	(S-100 茶色土)	2	古土師	甕 (布留式系)	38	-	033	16.4*	5.9+	-	○							
○	(S-100 茶色土①)	3	古土師	甕 (布留式系)	38	23-83	022	18.6	9.5+	-	○							
○	(S-100 茶色土②)	4	古土師	甕 (布留式系)	38	33-83	024	18.2	10.5+	-	○	○	○	○	○			



殿城戸7次遺物観察表(5)

遺 跡	No.	器 種	国新番号	写真番号	J番号	口 径			外 面				内 面				備 考 (※は欠損、●は復原品)
						cm	cm	cm	印目	なで	ほけ	けずり	みがき	なで	ほけ	けずり	
5-100 茶色土	(5-100 茶色土)	42	古土師	小段物唾跡台	39	37-94	014	-	2.2+	-	○		○	○	○		
*	(5-100 茶色土②)	43	古土師	坏	39	37-95	008	13.0	2.8+	-	○		○	○			
78D100 灰茶色土	(5-100 灰茶色土)	1	古土師	壺(布留式系)	39	-	001	-	2.8+	-						風化の為調整不明	白色
*	(5-100 灰茶色土)	2	古土師	坏	39	-	002	-	2.0+	-				○			
78D100 暗茶色土	(5-100 暗茶色土)	1	古土師	二重口鉢蓋 (注内式系)	39	35-88	001	-	5.4+	-	○			○	○		彫形跡あり
78D100 黒灰土	(5-100 黒灰土①)	1	古土師	壺(布留式系)	40	33-84	007	19.2*	17.0+	-	○	○		○	○		
*	(5-100 黒灰土②)	2	古土師	壺(布留式系)	40	33-84	003	14.8*	13.7+	-	○	○		○	○		
*	(5-100 黒灰土③)	3	古土師	壺(布留式系)	40	-	006	-	3.8+	-	○			○	○		
*	(5-100 黒灰土④)	4	古土師	壺(布留式系)	40	33-84	005	11.6*	4.8+	-				○	○		外面に波状文
*	(5-100 黒灰土⑤)	5	古土師	二重口鉢蓋(山形系)	40	36-92	002	28.4	52.6+	-	○	○		○	○		大型品、破損あり
*	(5-100 黒灰土⑥)	6	古土師	高坏	40	34-86-97	001	22.4	14.35	13.3	○	○	○	○	○		
*	(5-100 黒灰土⑦)	7	古土師	坏	40	37-95	004	12.0*	2.9+	-	○		○	○	○		高坏の坏部か
78D100 明茶色土	(5-100 明茶色土①)	1	古土師	高坏(在地系)	40	34-83-86	001	17.6*	10.9	11.0*	○	○	○	○	○		内 みがき痕跡状、内厚 へら切り、縦筋・内底ナゲ
78D111 灰白色土	(5-311 灰白色土)	1	土師	坏 d	37	-	001	-	10.5+	-	○			○	○		内面に磨目あり
78K020 暗灰土	(5-20 暗灰土)	1	瓦質	罐鉢	41	-	001	-	6.7+	-	○			○	○		
78K045 暗茶色土	(5-45 暗茶色土)	1	古土師	壺(布留式系)	41	38-99	006	-	5.1+	-	○	○		○	○		
*	(5-45 暗茶色土 P7)	2	古土師	壺(布留式系)	41	38-99	006	-	4.1+	-	○	○		○	○		
*	(5-45 暗茶色土 P7)	3	古土師	二重口鉢蓋 (山形系)	41	38-99	005	-	3.6+	-	○	○		○	○		磨目あり
*	(5-45 暗茶色土 P21)	4	古土師	高坏 脚	41	-	001	-	8.5+	13.7	○	○	○	○	○		打ちかき痕あり
*	(5-45 暗茶色土 P12)	5	古土師	高坏 脚	41	38-99	007	-	7.5+	-	○	○		○	○		打ちかき痕あり 風化の為調整不明
*	(5-45 暗茶色土 P13)	6	古土師	高坏 脚	41	-	004	-	7.5+	-	○	○		○	○		打ちかき痕あり
*	(5-45 暗茶色土 P19)	7	古土師	高坏	41	-	003	11.6	5.9+	-	○	○		○	○		
*	(5-45 暗茶色土 P7)	8	古土師	高坏 脚	41	-	011	-	1.7+	-	○	○		○	○		風化の為調整不明
*	(5-45 暗茶色土②・③)	9	古土師	小型丸底壺	41	38-99	009	12.4	4.4+	-	○			○	○		風化の為調整不明
*	(5-45 暗茶色土④)	10	古土師	小型特殊砂台 脚	41	-	010	-	2.6+	10.0*	○			○	○		外面は風化の為調整不明
*	(5-45 暗茶色土⑤)	11	古土師	小型特殊砂台 脚	41	-	012	-	4.1+	-	○			○	○		
*	(5-45 暗茶色土 P2)	12	古土師	坏	41	38-99	002	13.4*	3.5+	7.1*	○			○	○		
78K075 淡灰褐色砂質土	(5-75 淡灰褐色砂質土)	1	古土師	壺(布留式系)	41	38-100	003	-	4.5+	-	○	○		○	○		
*	(5-75 淡灰褐色砂質土)	2	古土師	二重口鉢蓋 (山形系)	41	38-100	002	-	5.5+	-	○			○	○		
*	(5-75 淡灰褐色砂質土)	3	古土師	高坏 坏 (布留式系)	41	38-100	004	20.0*	6.7+	-	○	○	○	○	○		
*	(5-75 淡灰褐色砂質土)	4	古土師	小型丸底壺	41	38-100	001	-	5.7+	-	○	○		○	○		
78K075 暗茶色土	(5-75 暗茶色土①)	1	古土師	壺(布留式系)	41	39-101	001	16.6*	8.6+	-	○	○		○	○		
*	(5-75 暗茶色土)	2	古土師	二重口鉢蓋 (山形系)	41	38-100	003	-	3.1+	-	○			○	○		
*	(5-75 暗茶色土②)	3	古土師	壺 V 様式系	41	39-102-103	005	-	3.7+	8.9*	○	○		○	○		

殿城戸7次遺物観察表(6)

遺 物	No.	器 種	採取番号	写真番号	R番号	口 径	高 さ	底 径	内 蓋				内 蓋				備 考 (○は欠損、*は復原品)			
									叩き目	なで	はけ	けずり	みがき	なで	はけ	けずり		みがき		
75K075 緑茶色土	(S-75 緑茶色土①)	4	古土師	高坏×小型特異器台	41	38-100	004	-	4.45+	8.1*										
*	(S-75 緑茶色土)	5	古土師	小型丸底器	41	38-100	002	-	4.1+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
75K150 淡茶色土	(S-150 淡茶色土①)	1	古土師	罍(庄内式系)	42	39-105	001	-	11.6+	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-150 淡茶色土②)	2	古土師	罍(庄内式系)	42	39-105	001	-	12.1+	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-150 淡茶色土③)	3	古土師	高坏×器台 脚	42	39-104	001	-	8.0+	-										
75K150 茶色土	(S-150 茶色土①)	1	古土師	高坏 罍	42	39-104	001	-	7.0+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	打ちかきの可能性あり 酸化の為調整不明
75K173 灰茶色土	(S-173 灰茶色土)	1	罍	坏	42	-	001	-	2.7+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	打ちかきの可能性あり
75K367 淡茶色土	(S-367 淡茶色土)	1	古土師	二重口罍被 内系)	42	39-106	001	5.0*	3.5+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
75K403 黒褐色土	(S-403 黒褐色土)	1	古土師	罍(布留式系)	43	40-107	006	17.8	6.7+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-403 黒褐色土)	2	古土師	罍(布留式系)	43	-	010	-	3.3+	-										酸化の為調整不明
*	(S-403 黒褐色土)	3	古土師	二重口罍被 内系)	43	-	008	-	4.7+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-403 黒褐色土)	4	古土師	罍	43	-	005	-	3.3+	-										
*	(S-403 黒褐色土)	5	古土師	二重口罍被 内系)	43	-	004	-	3.6+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-403 黒褐色土)	6	古土師	高坏 坏	43	40-108	007	19.0*	6.3+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	二次焼成を受ける。
*	(S-403 黒褐色土)	7	古土師	高坏 坏	43	40-109	001	15.0	7.0+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-403 黒褐色土)	8	古土師	高坏 脚	43	40-109	009	-	3.6+	10.4		○	○	○	○	○	○	○	○	打ちかき痕あり
*	(S-403 黒褐色土)	9	古土師	高坏(在地系)	43	40-109	002	-	6.3+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	打ちかきの可能性あり 酸化の為調整不明
*	(S-403 黒褐色土)	10	古土師	高坏 脚	43	40-109	003	-	6.9+	-										打ちかきの可能性あり 酸化の為調整不明
*	(S-403 黒褐色土)	11	古土師	小型特異器台	43	40-109	012	-	7.8+	12.2*		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-403 黒褐色土)	12	古土師	坏×高坏 坏	43	-	011	-	4.8+	-										酸化の為調整不明
75K403	(S-403)	1	古土師	小型丸底器	43	-	001	-	4.1+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
75K404 黒褐色土	(S-404 黒褐色土)	1	古土師	罍(布留式系)	43	41-111	003	19.2*	6.9+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-404 黒褐色土)	2	古土師	罍(布留式系)	43	41-111	004	-	7.8+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-404 黒褐色土)	3	古土師	罍(布留式系)	43	41-111	014	-	1.9+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-404 黒褐色土)	4	古土師	広口罍	43	41-111	015	18.2*	6.4+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-404 黒褐色土)	5	穴中師	高坏 脚(在地系)	43	40-110	008	-	4.7+	9.6*		○	○	○	○	○	○	○	○	酸化の為調整不明
*	(S-404 黒褐色土)	6	古土師	高坏 脚(在地系)	43	40-110	009	-	4.3+	-										酸化の為調整不明
*	(S-404 黒褐色土)	7	古土師	高坏 脚	43	-	006	-	1.1+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-404 黒褐色土)	8	古土師	高坏 脚	43	40-110	013	-	3.2+	20.0*			○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-404 黒褐色土)	9	古土師	高坏 坏	43	42-113	010	-	4.3+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
75K404 黒褐色土	(S-404 黒褐色土)	10	古土師	小型丸底器	43	41-111	011	16.4*	4.8+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-404 黒褐色土)	11	古土師	小型丸底器	43	41-112	002	15.0	4.0+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-404 黒褐色土)	12	古土師	小型丸底器	43	41-112	001	15.0	7.0+	-		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-404 黒褐色土)	13	古土師	小型特異器台 脚	43	41-112	007	-	6.3+	11.8		○	○	○	○	○	○	○	○	
*	(S-404 黒褐色土)	14	古土師	坏	43	42-113	012	10.2*	3.3+	-										

殿城戸7次遺物観察表(7)

遺 物		No.	器 種	四角番号	写真番号	J番号	口 径	高 さ	底 径	外 面				内 面				備 考				
							cm	cm	cm	叩き目	なで	ほけ	けずり	みがき	なで	ほけ	けずり	みがき	(○は欠損、●は数原值)			
75K404	黒褐色土	(S-404 黒褐色土)	15	古土郎	瓦×蓋	43	-	017	-	8.6+	-		○		○					工具状なで		
*		(S-404 黒褐色土)	16	弥生	鉢	43	-	005	-	8.2+	6.0*		○		○					内面も厚み調整		
*		(S-404 黒褐色土)	17	弥生	器台 脚	43	-	018	-	6.4+	-	○	○									
*		(S-404 黒褐色土)	18	弥生	器台 脚	43	-	016	-	5.0+	-	○	○									
75K404		(S-404)	1	古土郎	高坪 坏	43	42-113	001	18.0	5.7+	-			○		○		○				
*		(S-404)	2	古土郎	高坪 坏	43	42-113	002	-	5.8+	-				○		○		○			
75K130	緑茶灰色土	(S-130 緑茶灰色土)	1	須 罌	罌	44	-	001	-	7.0+	-	○			○					縁目叩き		
75K130	黒灰色土	(S-130 黒灰色土①)	1	須 罌	罌	44	-	001	-	4.0+	-	○			○					縁目叩き		
*		(S-131 黒灰色土①)	2	須 罌	罌	44	-	002	-	3.6+	-	○			○					縁目叩き		
75K130	浅黒灰色土	(S-130 浅黒灰色土)	1	須 坏蓋	坏蓋	44	-	001	-	3.1+	-		○		○							
75K182	黒灰色土	(S-182 黒灰色土)	1	須	長筒壺	44	-	001	-	9.3+	-		○			○		○				
75K238	灰茶色土	(S-238 灰茶色土)	1	土製品	洗土塊	44	-	001	6.4	3.6	2.4									(縦×横×厚)		
*		(S-238 灰茶色土)	2	土製品	洗土塊	44	-	002	7.0	6.3	2.55										(縦×横×厚)	
75K140	褐色土	(S-140 褐色土)	1	土製	坏 a	44	42-114	001	12.6*	2.85	9.5*		○			○				未切り 内底なで		
75K165		(S-165)	3	弥生	罌	44	43-115	001	-	18.0+	9.0		○	○		○					器壁が薄い	
*		(S-165)	1	弥生	罌口 1	44	-	002	-	2.7+	-		○			○						
75K202		(S-202)	1	青磁	罌	44	42-114	001	-	2.1+	5.6*										縦長赤青磁罌 1個	
75K299	黒灰色土	(S-299 黒灰色土①)	1	土製	坏 a	44	43-116	001	12.6	2.7	8.45		○			○					未切り 敷状圧痕 内底なで	
75K342		(S-342)	1	瓦	平瓦	44	-	001	-	2.1+	1.4										平行叩き	
75K351		(S-351)	1	粘土	壺 cl	44	-	001	-	7.7+	-		○	○								
褐色茶色土			1	須	坏 c	44	43-117	003	-	1.45+	-				○							
*			2	須	坏 c	44	43-117	004	-	1.3+	-				○							
○			3	須	坏 c	44	43-117	002	-	1.85+	-				○							産部へら切り接なで
○			4	須	坏 c	44	43-117	001	-	1.5+	8.2*				○							
○			5	瓦	平瓦	44	43-117	007	10.0+	8.6+	1.9											縁目叩き
○			6	土製品	土脚	44	43-117	005	3.9	3.6	2.7											(縦×横×厚)
○			7	土製品	結縁草	44	43-117	006	7.1	7.7	2.8											(縦×横×厚)
褐色土			1	縄文	深鉢	44	43-118	001	-	3.6+	-											外面に施文あり
灰土			1	弥生	器口 A1	44	43-118	004	-	4.8+	-											底面の表面磨き不明 貫通していない穿孔あり
○			3	陶師	灰目釉	44	43-118	001	-	3.3+	-											産地不明
○			2	瓦	丸瓦	44	43-118	003	7.1	4.9	1.8		○									縁目叩き小

殿城戸遺跡7次金属製品観察表

遺 跡	No.	種別	器種	出版番号	写真番号	尺番号	縦 cm	横 cm	厚さ cm	備 考 (※は欠損、◎は復原品)
75T160 灰茶褐色土	(S-160 灰茶褐色土)	1	鉄製品	釘	46	45-121	001	2.2+	0.7	0.6
75T170	(S-170 ②)	2	鉄製品	刀子	34	45-121	002	13.4	1.5	0.4
75K003 灰灰色土	(S-3 灰灰色土)	1	鉄製品	用途不明製品	46	45-121	001	2.1	3.7	0.8
75K045 暗茶灰色土	(S-45 暗茶灰色土)	13	鉄製品	板状鉄製品	41	45-121	013	2.0+	1.8	0.25
75T200	(S-200 (2))	1	鉄製品	釘	45	44-120	001	1.4+	1.6	0.8
75T200	(S-200 (3))	2	鉄製品	釘	45	44-120	002	3.6+	0.7	0.7
75T200	(S-200 (4))	3	鉄製品	釘	45	44-120	003	2.5+	0.7	0.7
75T200	(S-200 (5))	5	鉄製品	釘	45	44-120	004	3.0+	1.2	0.6
75T200	(S-200 (6))	4	鉄製品	釘	45	44-120	005	1.5+	0.3	0.2
75T200	(S-200 (8))	6	鉄製品	釘	45	44-120	006	1.3+	0.8	0.5
75T200	(S-200 (8))	8	鉄製品	釘	45	44-120	007	1.3+	0.8	0.3
75T200	(S-200 (9))	9	鉄製品	釘	45	44-120	008	3.4+	0.6	0.5
75T200	(S-200 (10))	10	鉄製品	釘	45	44-120	009	2.8+	1.5	0.4
75T200	(S-200 (11))	11	鉄製品	釘	45	44-120	010	1.6+	1.8	0.4
75T200	(S-200 (12))	12	鉄製品	釘	45	44-120	011	2.2+	1.0	0.4
75T200	(S-200 (13))	13	鉄製品	釘	45	44-120	012	1.9+	1.3	0.4
75T200	(S-200 (15))	17	鉄製品	釘	45	44-120	013	1.8+	1.1	0.6
75T200	(S-200 (20))	20	鉄製品	釘	45	44-120	014	2.5+	1.3	0.6
75T200	(S-200 (22))	19	鉄製品	釘	45	44-120	015	4.8+	0.9	0.6
75T200	(S-200 (25))	14	鉄製品	釘?	45	44-120	016	3.7+	2.0	1.0
75T200	(S-200 (1))	18	鉄製品	釘	45	44-120	017	1.9+	1.2	0.5
75T200	(S-200 (11))	16	鉄製品	釘	45	44-120	018	1.8+	0.5	0.4
75T200	(S-200 (27))	24	鉄製品	刀子	45	44-119	019	3.7+	1.0	0.4
75T200	(S-200 (26))	15	鉄製品	釘	45	44-120	020	3.2+	1.4	0.8
75T200	(S-200 (33))	7	鉄製品	釘	45	44-120	021	1.8+	0.5	0.5
75T200	(S-200 (17))	22	鉄製品	ハサミ	45	44-119	022	3.1+	0.6	0.25
75T200	(S-200 (19))	21	鉄製品	釘	45	44-120	023	4.6+	0.8	0.3
75T200	(S-200 (18))	25	鉄製品	刀子	45	44-119	024	24.6+	1.4	1.0
75T200	(S-200 (28))	23	鉄製品	鉄線	45	44-119	025	8.9+	1.1	1.1
75T200 暗茶褐色土	(S-200 暗茶褐色土)	1	鉄製品	釘	45	44-120	001	1.5+	1.5	0.5
75X142	(S-142)	1	鉄製品	鉄線	46	45-121	001	5.2+	1.5	0.4
75X307	(S-307)	2	鉄製品	釘	46	45-121	001	2.4+	0.7	0.6
75X307	(S-307)	4	鉄製品	釘	46	45-121	002	2.5+	1.8	1.1
75X307	(S-307)	5	鉄製品	釘	46	45-121	003	1.6+	0.7	0.6
75X307	(S-307)	3	鋼製品	釘	46	45-121	004	2.6+	0.5	0.6
75X307	(S-307)	7	鉄製品	釘	46	45-121	005	2.0+	0.4	0.4
75X307	(S-307)	6	鉄製品	釘	46	45-121	006	1.7+	0.5	0.5
75X307	(S-307)	1	鉄製品	釘	46	45-121	007	1.2+	0.6	0.5
75X307	(S-307)	8	鉄製品	棒状鉄製品	46	45-121	008	3.1	0.6	0.4
75X307 灰色砂質土	(S-307 灰色砂質土)	1	鉄製品	棒状鉄製品	46	45-121	001	3.3+	1.0	0.5
褐色土	褐色土	1	鉄製品	板状鉄製品	46	45-122	002	2.6	7.2+	0.4
褐色土	褐色土	2	鉄製品	釘	46	45-122	003	2.5+	0.6	0.5
黄土	黄土	5	鉄製品	鉄線	46	45-122	005	4.9+	11.5	0.7
黄土	黄土	6	鋼製品	用途不明製品	46	45-122	006	2.7+	1.5	0.1
黄土	黄土	1	鉄製品	釘	46	45-122	007	4.3+	1.0	0.8
黄土	黄土	2	鉄製品	釘	46	45-122	008	3.6	0.6	0.6
黄土	黄土	4	鉄製品	用途不明製品	46	45-122	009	2.4	2.1	1.0
黄土	黄土	3	鉄製品	棒状鉄製品	46	45-122	010	3.7	1.4	0.8

殿城戸7次石器観察表

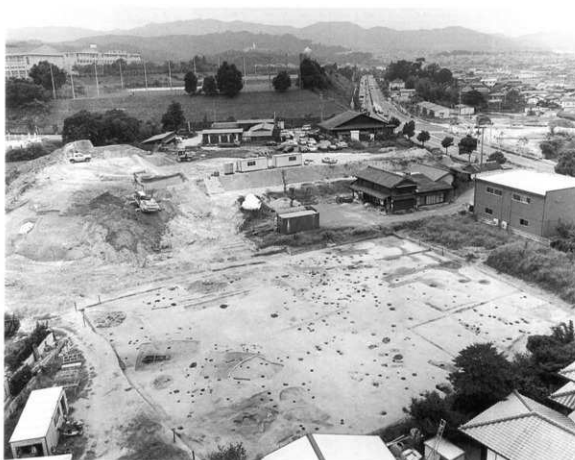
産 所	No.	石材	器種	図面番号	写真番号	J番号	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	備 考 (=は欠損、●は修理済)
78I155 茶褐色土 (S-155 茶褐色土)	1	褐色	鏡石鏡石	47	46-124	001	9.8	4.9	2.2	147.8	天幕鏡石か
78I175 褐色土 (S-175 褐色土)	1	緑色片岩	碧玉	47	46-124	002	2.3	0.7	0.5	2.0	(長×幅×厚)
78I190 灰褐色土 (S-190 灰褐色土)	1	and	AP	47	46-123	001	2.15+	1.3	0.35	0.6	
78I215 灰黄褐色土 (S-215 灰黄褐色土)	1	緑色片岩	打製打刺	47	46-124	004	5.7+	4.1+	0.6	19.1	
78I230 褐色土 (S-230 褐色土)	1	花岩	不明円形製品	47	46-124	002	3.9+	4.8	0.3	9.3	
78I400 褐色土 (S-100 茶色土)	2	砂岩	鏡石	47	46-124	044	9.0+	5.8	1.2	135.2	
○ (S-100 茶色土)	1	砂岩	鏡石	47	46-124	043	9.8+	7.8+	2.0	157.3	
78I037 灰色土 (S-337 灰色土)	1	ゴラス	小玉	47	46-124	001	0.7	0.8	0.8	0.5	(長×幅×厚)
78I075 暗茶褐色土 (S-75 暗茶褐色土)	1	泥岩	鏡石	47	46-124	006	4.8+	2.5+	0.8	10.3	
78I013 淡灰色土 (S-13 淡灰色土)	1	and	AP	47	46-123	001	2.85	1.9	0.4	1.9	
78I140 褐色土 (S-140 褐色土)	1	輝緑凝灰岩	石籠丁	47	47-125	002	5.2	9.15+	0.6	45.1	立刃産
78I097 灰色砂質土 (S-97 灰色砂質土)	1	and	AP	47	46-123	002	2.45+	1.7	0.45	2.1	褐色
78I406 (S-406)	1	op	UF	47	46-124	001	2.5	1.1	0.4	0.6	
78I496 (S-496)	1	and	AP	47	46-123	001	2.7+	1.8	0.4	1.0	白色
78I506 (S-506)	1	op	AP	47	46-123	001	1.7+	2.0	0.4	0.6	
78I513 (S-513)	1	シャート	AP	47	46-123	001	3.45	2.2	0.9	6.4	R.P.の可能性あり
褐色土 (褐色土)	1	op	AP	48	47-125	008	1.65+	1.0	0.2	0.4	
○ (褐色土)	2	op	AP	48	47-125	010	2.5+	3.0	0.5	2.3	
○ (褐色土)	3	輝緑凝灰岩	石籠丁	48	47-125	009	4.6+	7.2+	0.7	42.4	立刃産
褐色土 (褐色土)	1	op	AP	48	47-125	006	1.85+	1.2	0.4	0.6	
○ (褐色土)	2	and	石籠	48	47-125	007	3.2+	7.8	0.9	18.0	
○ (褐色土)	5	緑色片岩	鏡石製品	48	47-125	005	3.05+	1.2+	0.5	4.6	
○ (褐色土)	4	緑色片岩	扁平両刃石等	48	47-125	004	6.85	3.8	1.1	28.9	
○ (褐色土)	3	緑色片岩	石籠	48	47-125	008	11.9	5.6	1.0	92.7	
黄土 (黄土)	7	op	AP	48	47-126	011	2.3	1.6	0.2	1.1	
○ (黄土)	6	シャート	AP	48	47-126	012	2.65	2.3	0.5	2.1	
○ (黄土)	4	and	AP	48	47-126	013	2.7+	1.5+	0.4	0.9	
○ (黄土)	8	and	AP	48	47-126	014	3.1+	1.6+	0.4	1.5	白色
○ (黄土)	1	op	AP	48	47-126	013	1.6+	1.3+	0.3	0.4	
○ (黄土)	9	and	ステンレバー	48	47-126	016	3.5	2.4	0.9	8.6	白色
○ (黄土)	16	砂岩	鏡石	48	47-126	017	5.7+	5.5+	1.6	79.9	
○ (黄土)	5	op	AP	48	47-126	018	1.5+	1.5+	0.4	0.7	
○ (黄土)	11	and	石籠	48	47-126	019	4.7	2.7	1.4	17.4	白色
○ (黄土)	3	op	AP	48	47-126	020	1.6+	1.5	0.35	0.8	
○ (黄土)	15	泥岩	鏡石	48	47-126	021	4.2+	1.2+	0.5+	3.2	打製打刺か
○ (黄土)	2	op	AP	48	47-126	023	1.65+	1.2	0.4	0.7	
○ (黄土)	10	op	石籠	48	47-126	024	4.4	2.3	1.9	18.0	打製打刺か
○ (黄土)	12	and	UF	48	47-126	023	6.1	3.1+	1.2	24.8	
○ (黄土)	14	輝緑凝灰岩	石籠丁	48	47-126	022	4.1	11.3+	0.7	49.8	立刃産
○ (黄土)	13	砂岩	石籠結核車	48	47-126	026	4.5	6.6		16.8	(短×厚)
○ (黄土)	17	砂岩	鏡石	48	47-126	002	8.0	4.9	1.8	71.7	



## 写真図版



1 1面目全景（合成写真、上が北）



2 1面目遠景（下が北）



3 2面目全景 (空中写真、上が北)



4 2面目遠景 (空中写真、上が北)



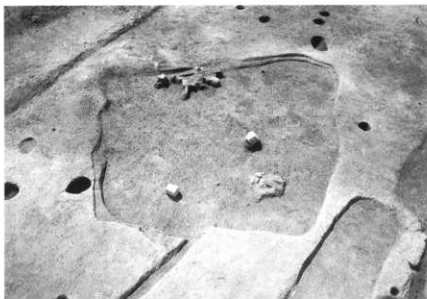
5 暗灰茶色土下層遺構完掘状況（南より）



6 7SB095完掘状況（南より）



7 7SB210完掘状況（空中写真、上が北）



8 7SI155生活面検出時（東より）



9 7SI155完掘状況（東より）



10 7SI160遺物出土状況（北東より）



11 7SI160完掘状況（北東より）



12 7SI170完掘状況（西より）



13 7SI175完掘状況（北東より）

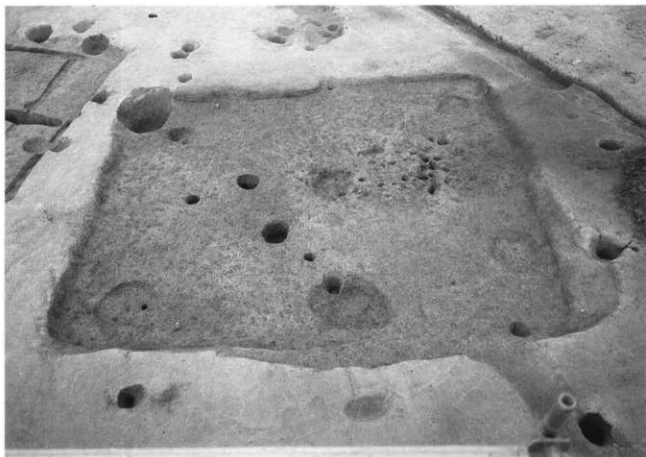


14 7SI180完掘状況（北東より）



15 7SI185完掘状況（北東より）





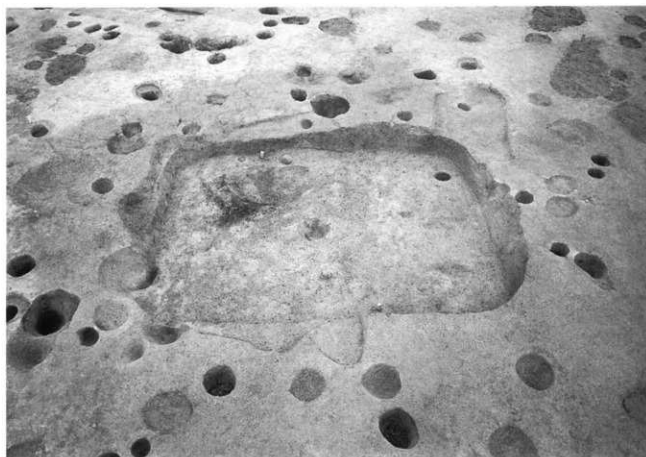
16 7SI190完掘状況（南より）



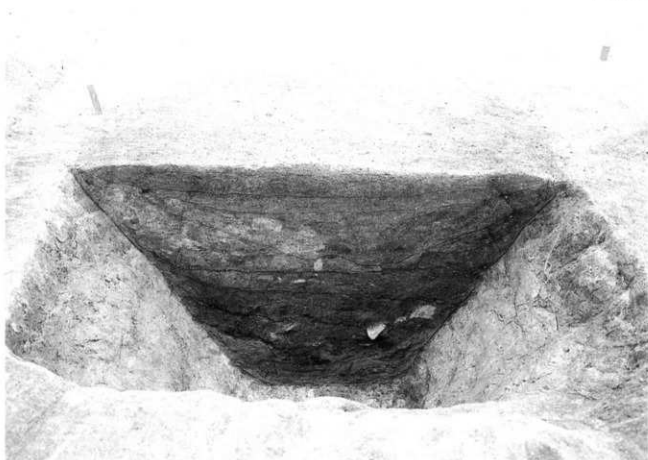
17 7SI195完掘状況（東より）



18 7SI205完掘状況 (北より)



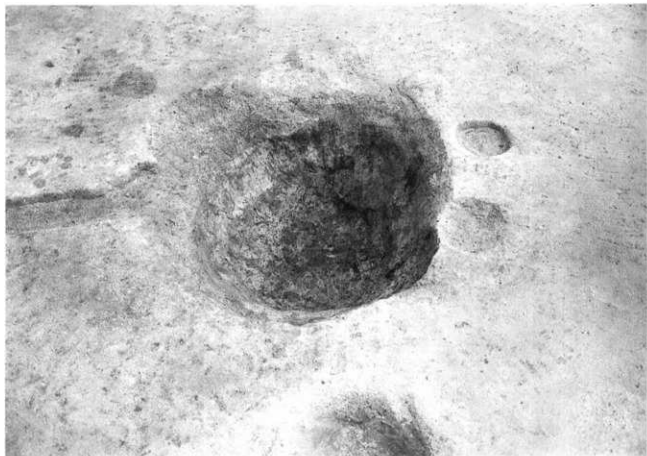
19 7SI235完掘状況 (南より)



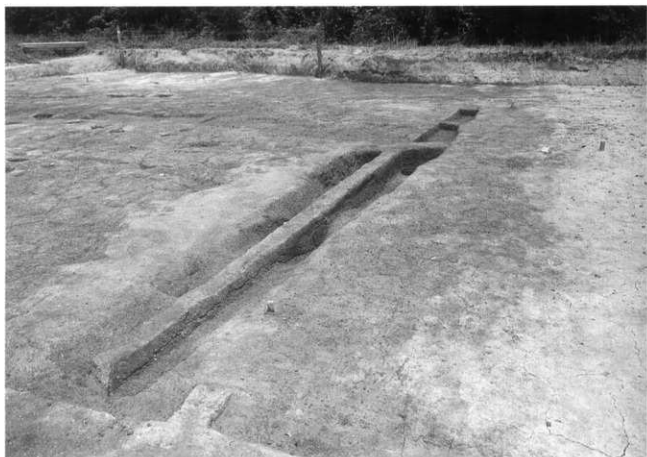
20 7SE010土層観察時（南より）



21 7SE010完掘状況（南より）



22 7SE230完掘状況（南より）



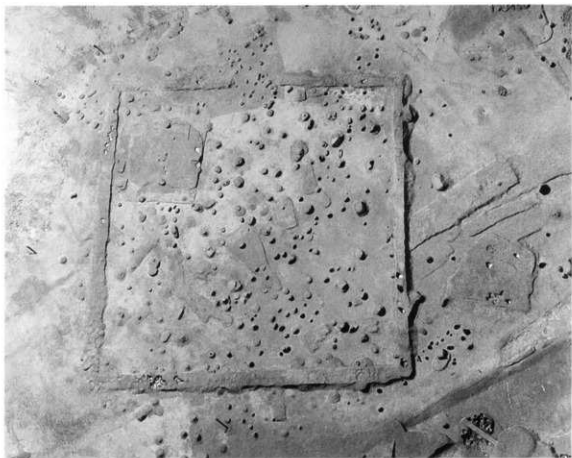
23 7SD080土層観察時（南東より）



24 7SD161・162合流部土層観察時（西より）



25 7SD162土層観察時（東より）



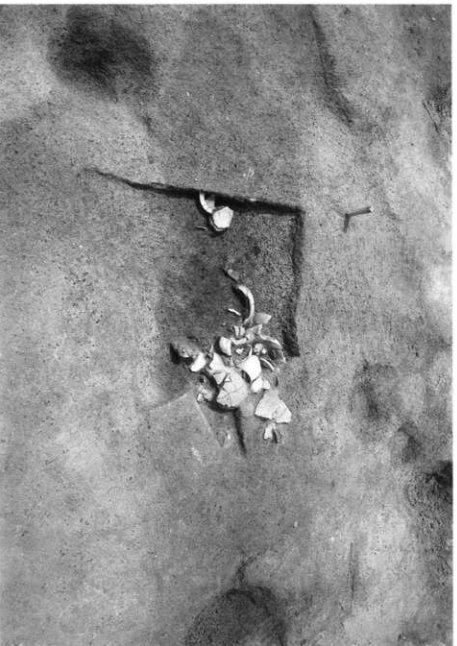
26 7SD100全景 (空中写真、上が北)



27 7SD100全景 (空中写真、下が北)



28 7SD100西側北辺溝先端部土層観察時(南より)



29 7SD100南辺溝黒灰色土遺物出土状況(北より)



30 7SD100東辺溝遺物出土状況（北より）

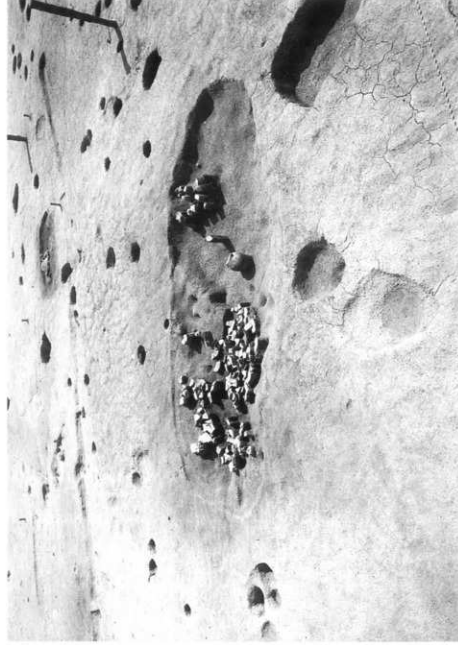


31 7SD100南辺溝遺物出土状況（西より）

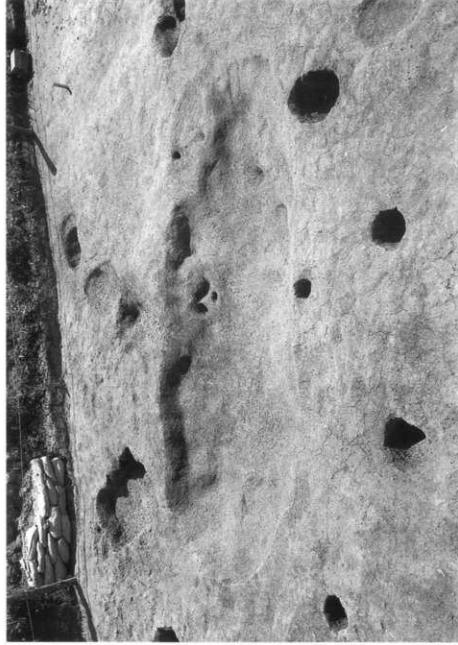


32 7SD100南辺溝遺物出土状況詳細（西より）





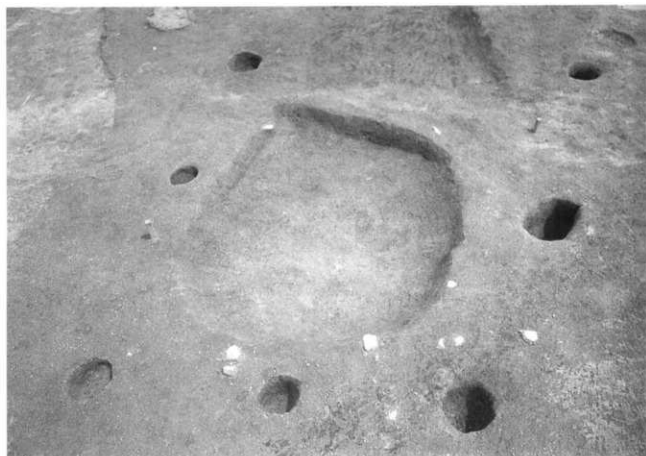
33 7SK045・075遺物出土状況（南西より）



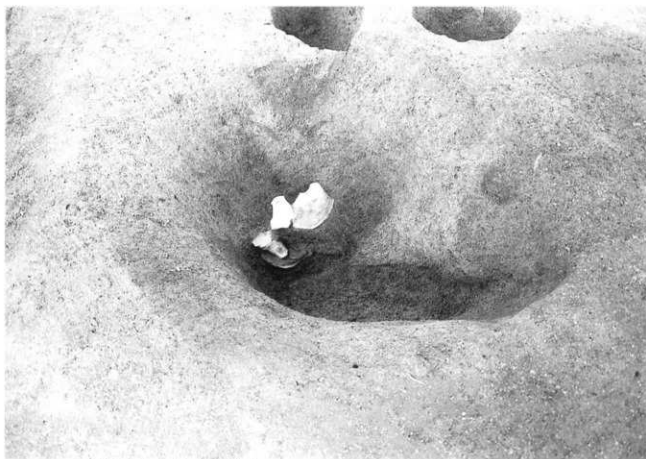
34 7SK045・075完掘状況（北より）



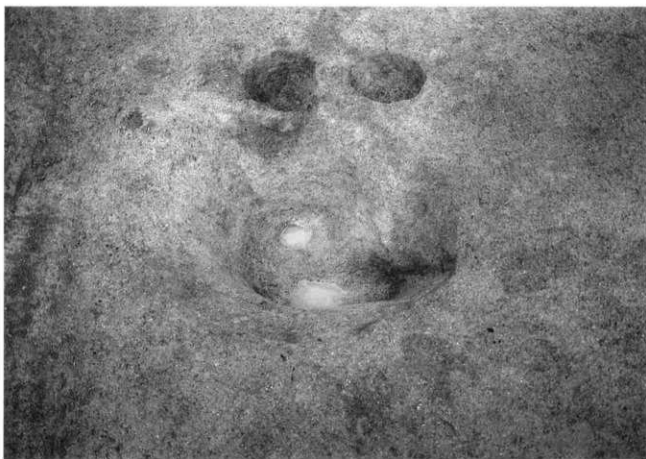
35 7SK145土層観察時（西より）



36 7SK145完掘状況（西より）



37 7SK150遺物出土状況（東より）



38 7SK150完掘状況（東より）



39 7SK403・404遺物出土状況（東より）



40 7SK403・404完掘状況（東より）



41 7SK130土層観察時（南より）



42 7SK130完掘状況（北より）



43 7SK238土層観察時（北より）



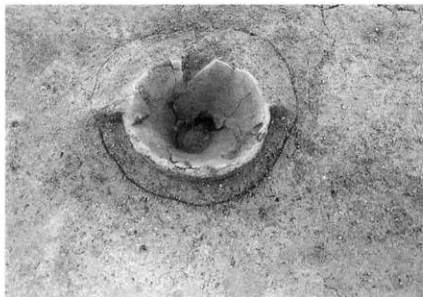
44 7SK238完掘状況（南より）



45 7ST200鉄製品出土状況（西より）



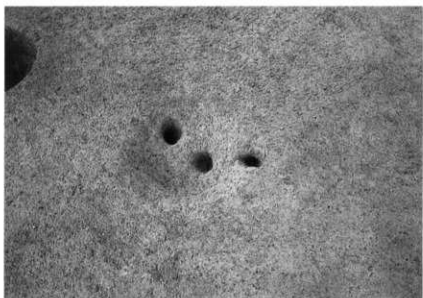
46 7ST200完掘状況（西より）



47 7SX165土器内状況（北より）



48 7SX165土層観察時（北より）



49 7SX165完掘状況（北より）

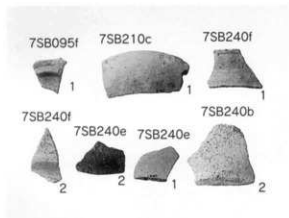




50 7SX259遺物出土状況（北より）



51 7SX259完掘状況（北より）



52 掘立柱建物出土土器



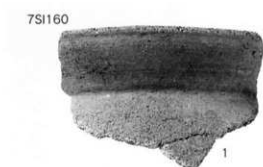
53 7SB240b出土土器



54 7SI155出土土器



55 7SI160出土土器



56 7SI160出土土器

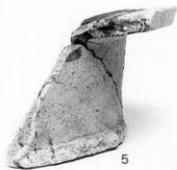
7SI160



3

57 7SI160出土土器

7SI160



5

58 7SI160出土土器

7SI160



4

59 7SI160出土土器

7SI160



11

60 7SI160出土土器

7SI160



7

61 7SI160出土土器



6

7SI160



8



9

62 7SI160出土土器

7SI160



10

7SI160黑灰色土



8

63 7SI160出土土器

7SI160黑灰色土



1



2



7



9



6



4

64 7SI160出土土器

7SI170



65 7SI170出土土器

7SI175焼灰色土



66 7SI175出土土器

7SI175黄灰色ブロック土



7SI175d



67 7SI175出土土器

7SI185黄灰色土 7SI185黄灰色土 7SI180黄灰色土 7SI180黄灰色土



68 7SI180・185出土土器

7SI190



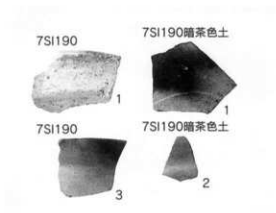
69 7SI190出土土器



70 7SI190出土土器



71 7SI190出土土器



72 7SI190出土土器



73 7SI195出土土器



74 7SI195出土土器



75 7SI205出土土器

7SI235黄褐色土



2



3

76 7SI235出土土器

7SI235淡黄褐色土



1



2

7SI235黄褐色土

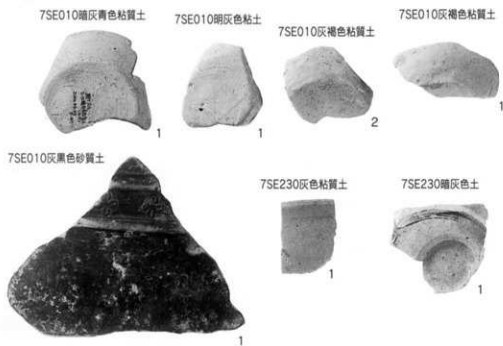


1

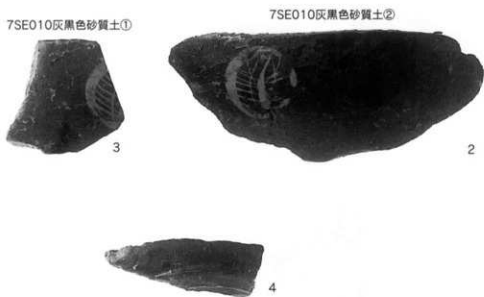


3

77 7SI235出土土器



78 7SE010·230出土土器



79 7SE010出土木製品 (外面)



7SE010灰黑色砂質土



3



2



4

80 7SE010出土木製品 (内面)

7SE230灰色粘質土



2

7SD005



1

82 7SD005出土土器

81 7SE010出土木製品 (内面)



83 7SD100出土土器



84 7SD100出土土器

7SD100明茶色土



1

7SD100茶色土



23

85 7SD100出土土器

7SD100茶色土



24

7SD100黑灰色土



6

86 7SD100出土土器

7SD100茶色土

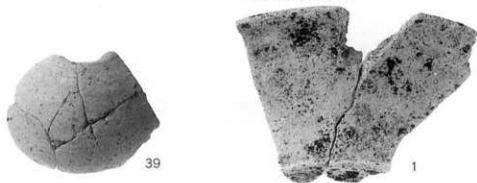


87 7SD100出土土器

7SD100茶色土



7SD100暗灰茶色土



88 7SD100出土土器

7SD100茶色土



1

89 7SD100出土土器

7SD100茶色土



17

90 7SD100出土土器

7SD100茶色土



19

91 7SD100出土土器

7SD100茶色土



40

93 7SD100出土土器

7SD100黑灰色土



5

92 7SD100出土土器

7SD100茶色土



7SD100黒灰色土



7SD100茶色土



94 7SD100出土土器

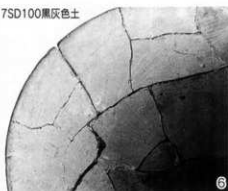
7SD100明茶色土



96 7SD100出土高坏脚部裏面

95 7SD100出土土器

7SD100黒灰色土



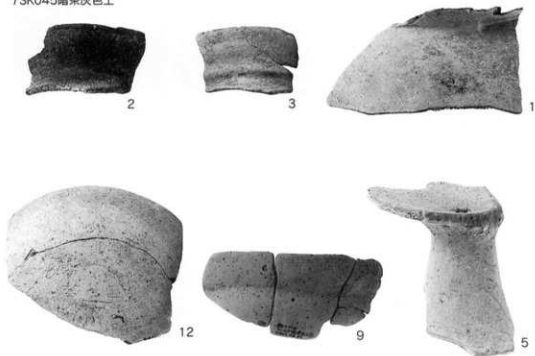
97 7SD100出土高坏内面ミガキ

7SK045暗茶灰色土



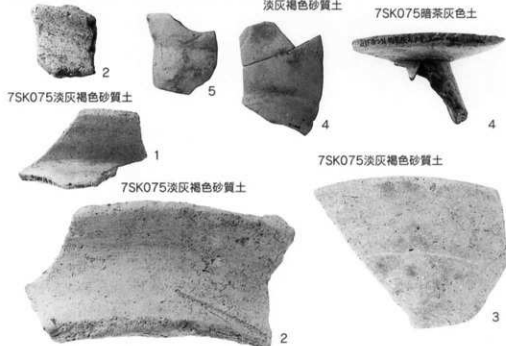
98 7SK045出土土器

7SK045暗茶灰色土



99 7SK045出土土器

7SK075暗茶灰色土 7SK075暗茶灰色土 7SK075淡灰褐色砂質土 7SK075暗茶灰色土



100 7SK075出土土器

7SK075暗茶灰色土



101 7SK075出土土器

7SK075暗茶灰色土



102 7SK075出土土器

7SK150茶色土



7SK150淡茶色土



104 7SK150出土土器

7SK075暗茶灰色土



103 7SK075出土土器底部外面

7SK150淡茶色土



105 7SK150出土土器

7SK367淡茶色土



106 7SK367出土土器



7SK403黑褐色土



107 7SK403出土土器

7SK403黑褐色土



108 7SK403出土土器

7SK403黑褐色土



7



12



9



8



10

109 7SK403出土土器

7SK404黑褐色土



8



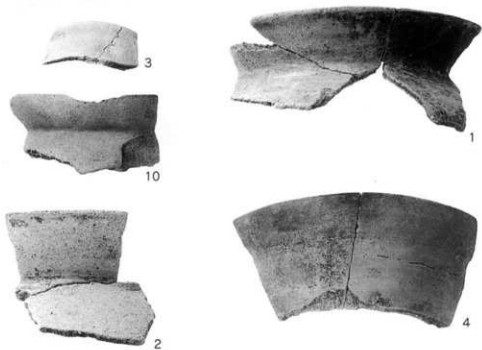
5



6

110 7SK404出土土器

7SK404黑褐色土

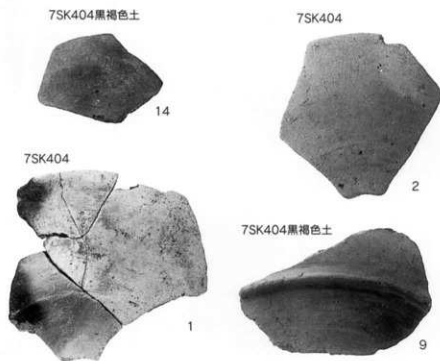


111 7SK404出土土器

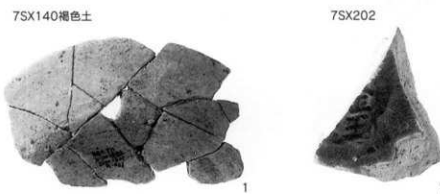
7SK404黑褐色土



112 7SK404出土土器



113 7SK404出土土器



114 7SX140·202出土土器

7SX165



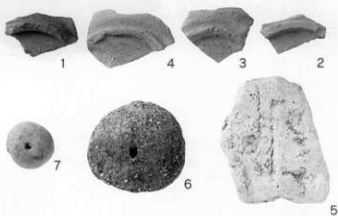
115 7SX165出土土器

7SX259黒灰色土



116 7SX259出土土器

暗灰茶色土

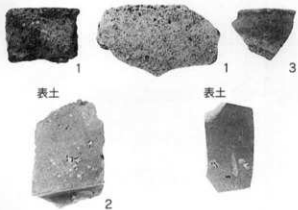


117 暗灰茶色土出土土器

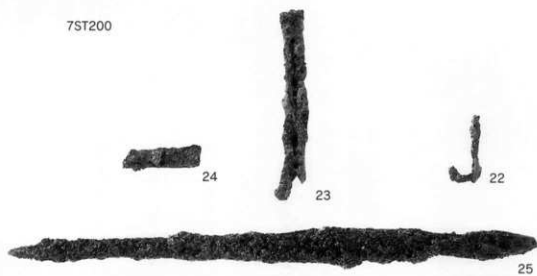
褐色土

表土

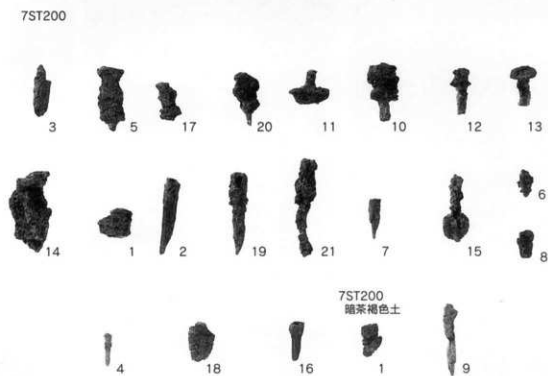
表土



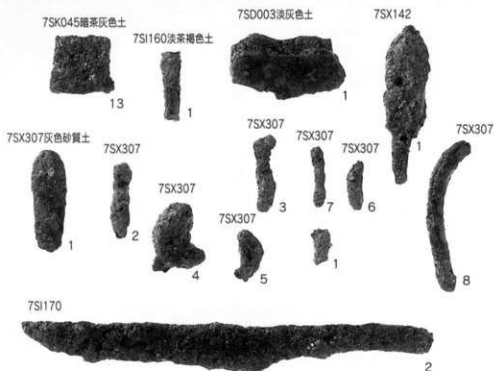
118 褐色土・表土出土土器



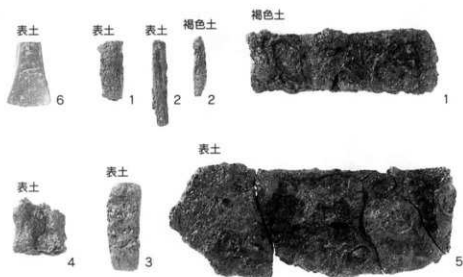
119 7ST200出土鉄製品



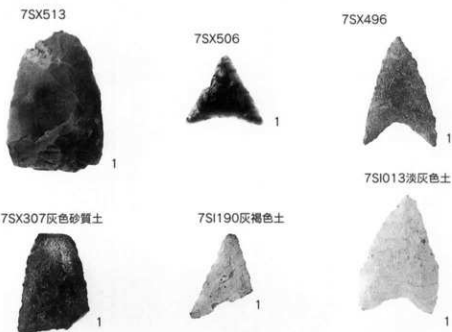
120 7ST200出土鉄製品



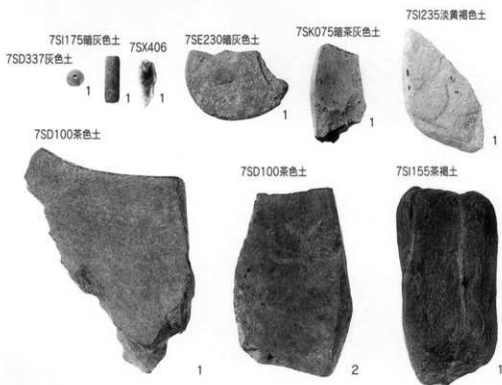
121 7SI160・170・SD003・SK045・SX142・307出土鉄製品



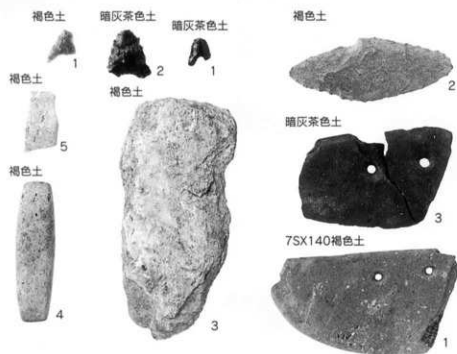
122 褐色土・表土出土鉄製品



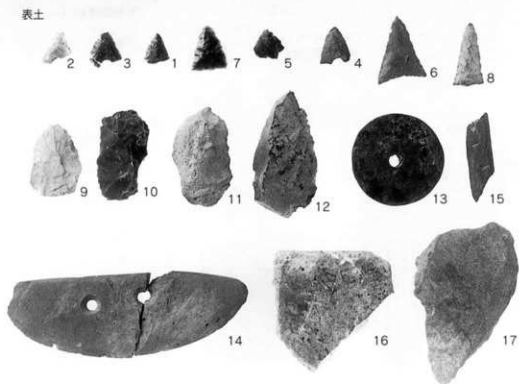
123 7SI190 · SX013 · 307 · 496 · 506 · 513出土石製品



124 7SI155 · 175 · 235 · SE230 · SD100 · 337 · SK075出土石製品



125 SX140·褐色土·暗灰茶色土出土石制品



126 表土出土石制品



## 報告書抄録

ふりがな	だだいふ・さのちくいせきぐん									
題名	太宰府・佐野地区遺跡群13									
副題名	殿城戸遺跡第7次調査									
シリーズ名	太宰府市の文化財									
シリーズ番号	62集									
編著者	佐藤道文									
編成機関	太宰府市教育委員会									
所在地	福岡県太宰府市観世音寺1丁目1番1号									
発行年月日	2002(平成14)年3月31日									
ふりがな	ふりがな	コード		座標		調査期間		調査面積	調査原因	
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	X	Y	開始	終了	m <sup>2</sup>		
とのきといせき 殿城戸遺跡 第7次	太宰府市 大佐野183,184-1	402214		55407.510	-46449.430	20000403	20001023	2052	区画整理事業	
所収遺跡名	遺跡種別	時代	主要遺構		主要遺物		特記事項			
殿城戸遺跡 第7次	溝塔	弥生、古墳、奈良、	独立柱建物、	要穴住居	弥生土器	古式土師器	土師器			
		中世、近世	井戸、溝、	方形区画遺	須恵器	石鏡				

太宰府市の文化財 第62集

太宰府・佐野地区遺跡群13  
殿城戸7次調査

平成14年(2002)年3月

編集 太宰府市教育委員会  
発行 〒818-0198  
福岡県太宰府市観世音寺1丁目1-1  
印刷 株式会社 三光  
〒812-0015  
福岡市博多区山王1丁目14-4

印刷仕様：  
画像スクリーン線数 250線  
アルミPs版使用  
CD-ROM仕様：  
Macintosh/Windowsハイブリット版  
画像データ書き込みはAcrobat Reader 4.0を使用